

日時：平成 30 年 12 月 18 日(火) 13:00~16:00

場所：旭川地場産業振興センター 会議室

平成 30 年度 大雪山国立公園 表大雪地域 登山道関係者による冬季情報交換会

次 第

1. 開会

2. 挨拶

3. 情報交換

(1) 各団体の平成 30 年度活動内容報告及び課題について

(13:10~14:00)

(2) 登山道維持管理作業実施手順マニュアル試行結果及び実施報告について

(14:00~14:20)

4. 閉会

5. 大雪山国立公園の新たな協働型管理運営体制の構築に向けた

ワークショップ（第 3 回）

(14:30~16:00)

目次

出席者名簿	3
席次表	5
資料 1	7
資料 2	9
資料 3	6 3
資料 4	6 7
資料 5	6 9
資料 6	7 3
資料 7	8 5
資料 8	8 7
資料 9	1 0 3
資料 1 0	1 8 7

大雪山国立公園 表大雪地域 登山道関係者による冬季報交換会
登山道作業・活動内容

所属	平成30年度活動場所・内容
環境省 上川自然保護官事務所 東川自然保護官事務所 上士幌自然保護官事務所	別紙の通り ※資料2
上川中部森林管理署	高原温泉から緑岳を中心に簡易な補修を実施。
上川南部森林管理署	<p>内容:グリーンサポートスタッフによる巡視及び啓蒙活動等 場所:十勝岳・富良野岳・原始ヶ原方面 期間:平成30年6月1日～9月30日 以下、GSSの報告から(参考)</p> <p>■作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道確保・安全確保・植生踏み荒らし対策で、ハイマツ等歩道上支障枝の枝切り(手ハサミ) ・植生踏み荒らし防止・ルート明示のための、杭+ロープ・ビニルテープ等の設置 ・岩場の視界不良時の安全対策、植生保護として、岩へのマーキング(○・×等の簡易最小限) <p>■登山道状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壌浸食、植生の減少、ハイマツ等の枯現象(原因は様々考えられる) ・水たまり箇所点在、歩道確保のため植生踏みつけが見られる <p>■登山者利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に軽装備の外国人が目立つ ・犬同伴の登山者が見られるようになった(どこかの事例で、近くに潜むクマに吠えかかることにより、登山者がクマと鉢合わせ等) ・トレイルラン者を見かけるようになった ・入り込みの多いシーズン、歩道外、立入り禁止区域に入り込んで休憩する人が多い ・ルート明示等に効果あるピンクテープ等だが、冬季に付けられたと思われるテープが放置のままで、夏季には迷う要因にもなっている場合あり ・ゴミのポイ捨てあり
上川総合振興局 環境生活課	別紙の通り ※資料3
上川総合振興局 南部森林室	<ul style="list-style-type: none"> ・旭岳地区の高山植物巡視及び普及啓発活動 7月～9月 全12回(主に日曜日) ・すがたみ駅～裾合平～中岳分岐～間宮岳～旭岳～すがたみ駅(～天女ヶ原～旭岳温泉) ・愛山溪地区は7月大雨災害による道道愛山溪上川線通行止めのため巡視を中止
上川町	
美瑛町	
上富良野町	
公益社団法人 日本山岳会北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> ・「大雪山国立公園高山植物盗掘防止パトロール」 →6月～9月に支部の会員・会友23名が延べ114日間のパトロールを実施。(道委託による公益事業) ・美瑛富士避難小屋携帯トイレブース点検清掃活動 8月19日～20日3名参加
旭川山岳会	8月 美瑛富士避難小屋 携帯トイレブース周辺清掃活動
美瑛山岳会	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝岳登山道保護、規制ロープ着脱 ・美瑛岳登山道ポンピ沢周辺刈り払い(L=500m) ・美瑛富士登山道協働型施工箇所メンテナンス
富良野山岳会	別紙の通り ※資料4
大雪山国立公園自然公園 指導員連絡協議会	
大雪山国立公園 パークボランティア連絡会	別紙の通り ※資料2-4
山岳レクリエーション 管理研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・7月初めの間宮城登山道周辺の大規模崩落に関して、元北大教授の長澤先生への聞き取り調査に参加。 ・「たまには山へ恩返し」黒岳と旭岳に参加。
山のトイレを考える会	別紙の通り ※資料5
株式会社りんゆう観光	
(有)風の便り工房	

所属	平成30年度活動場所・内容
北海道山岳整備	別紙の通り ※資料6
大雪山・山守隊	別紙の通り
旭岳ビジターセンター	別紙の通り ※資料7
東川エコツーリズム 推進協議会	別紙の通り ※資料7
層雲峡ビジターセンター	インターン2名が「たまには山へ恩返しin黒岳」に参加
山樂舎BEAR	「たまには山へ恩返しin旭岳」に参加
山岳ガイド協会 表大雪地区連絡調整室	
大雪山倶楽部	大雪山・山守隊等の登山道整備イベントに積極的に参加
大雪と石狩の 自然を守る会	
大雪山自然学校	
NPO法人 かむい	
NPOアースウインド	5月25日から9月20日 黒岳石室周辺、風衝地、赤岳コマクサ平、第4雪渓周辺の4地点で温暖化データ収集。高山植物開花情報調査実施。172枚調査結果収集。

平成 30 年度 環境省における登山道関係の取組について

1. 国立公園の公園計画の点検（年度内完了予定）

2. 大雪山国立公園協働型管理運営体制の構築

3. グリーンワーカー事業

- 清掃活動事業（層雲峡、勇駒別、天人峡、糠平、十勝三股の各集団施設地区等利用拠点の美化清掃）
- 美瑛富士携帯トイレブース利用状況調査【平成 30 年度結果 資料 2 - 2】
- 登山者カウンターを設置による登山道利用者数調査【資料 2 - 3】
- 高原温泉・銀泉台自動車利用適正化対策業務
- スノーモビル乗入れ対策（普及啓発看板設置、パトロール）（12 月～3 月）
- 登山道補修イベント開催（トムラウシ山）
- 原始ヶ原における植生復元手法の評価検討業務（1～3 月）

4. 自然ふれあい

- パークボランティア活動（登山道維持管理、外来種対策、利用者指導、モニタリング等）【資料 2 - 4】
- 層雲峡ビジターセンター及びひがし大雪自然館を拠点とする自然観察講座
- 子どもパークレンジャー事業（然別湖）

5. 野生生物の保護管理

- 然別湖ウチダザリガニ対策事業
- 高原温泉ヒグマ情報センターの管理運営
- セイヨウオオマルハナバチ防除の考え方に基づくモニタリング【資料 2 - 5】
※緑岳地域において、セイヨウオオマルハナバチ 1 頭確認

6. 施設整備・維持管理

- 環境省が管理する沼ノ平～姿見の池登山道（※）、中岳温泉～間宮岳登山道（※）、沼ノ原木道及びトムラウシ登山道の巡視
※登山道維持管理データベースを試行的に作成【資料 2 - 6】。
- 松仙園地区の整備工事实施（7 月の豪雨により中断。2019 年施工、2020 年開通予定）、適正利用推進協議会の開催（1～3 月）
- 白雲岳避難小屋の建替え検討
- 銀河流星ノ滝線歩道の整備検討
- 旭岳ビジターセンター（勇駒別博物展示施設）整備（2019 年 6 月頃開館予定。）
- 糠平中央園地整備完成（平成 30 年 7 月）
- 天人峡園地橋梁整備（北海道への施工委任）完成（平成 30 年 6 月 11 日通行開始）

7. 大雪山国立公園における国立公園と国有林の連携推進会議

(大雪山国立公園連絡協議会関係)

- 大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言【資料2-7】
- 大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言パートナーシップ事業【資料2-8】
- 大雪山国立公園携帯トイレ普及キャンペーン
 - ※7月14～15日：白雲岳避難小屋（雨天により期間1日短縮）
 - ※9月15～17日：黒岳石室
- 大雪山オリジナルパッケージの携帯トイレの一括受注支援【資料2-9】
- 登山道の維持管理に係る講習会への協力
 - ※たまには山へ恩返し in 愛山溪（上川自然保護官事務所主催）※豪雨のため中止
 - ※たまには山へ恩返し in 旭岳（9月1日、上川総合振興局等主催）

<別紙資料一覧>

- 資料2-2 平成30年度美瑛富士における携帯トイレブース利用状況調査結果
- 資料2-3 平成30年度登山者カウンターの設置による登山道利用者数調査結果
- 資料2-4 平成30年度大雪山国立公園パークボランティア活動結果
- 資料2-5 セイヨウオオマルハナバチ防除の考え方に基づくモニタリング結果
- 資料2-6 登山道維持管理データベースについて
- 資料2-7 大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言
- 資料2-8 大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言パートナーシップ事業
- 資料2-9 大雪山オリジナルパッケージの携帯トイレの一括受注支援情報提供文書

平成 30 年度 美瑛富士携帯トイレブース利用状況調査

1. 調査結果のとりまとめ

美瑛富士避難小屋において登山者に対する対面式のアンケート調査を1回1泊2日の工程とし、5回行った。回収された回答件数は、101件であった。過去2年の調査と比較については、それぞれ季節や天候、回答件数などにバラつきがあることを考慮しなければならない。

	平成 30 年	平成 29 年	平成 28 年
調査期間	7月14日～8月12日	8月26日～9月30日	7月15日～8月28日
調査日数	10日	14日	14日
総回答件数	101件	61件	212件
備考	10日中5日降雨	14日中6日降雨	天候に関する記録なし

特筆すべきは、7月に宣言した「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」やこれまでの取り組みにより、アンケート結果より過去2年と比べて認知度や認知時期、携行率の向上が見られたことである。

(1) 携帯トイレ利用の呼びかけの認知度

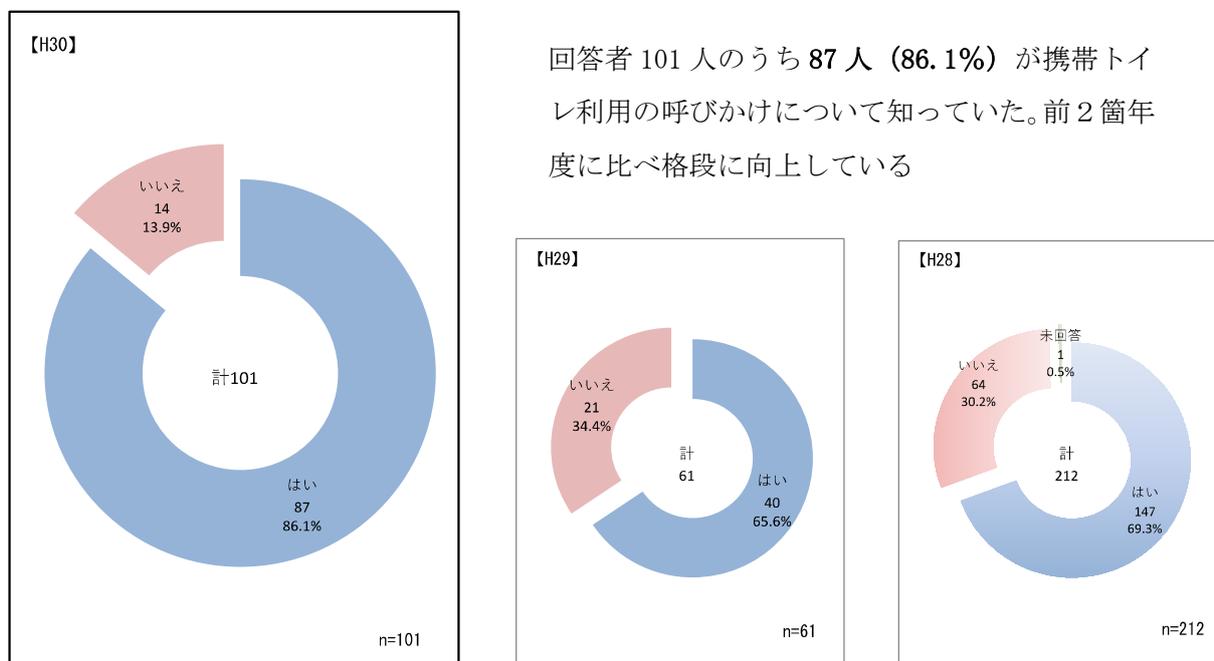
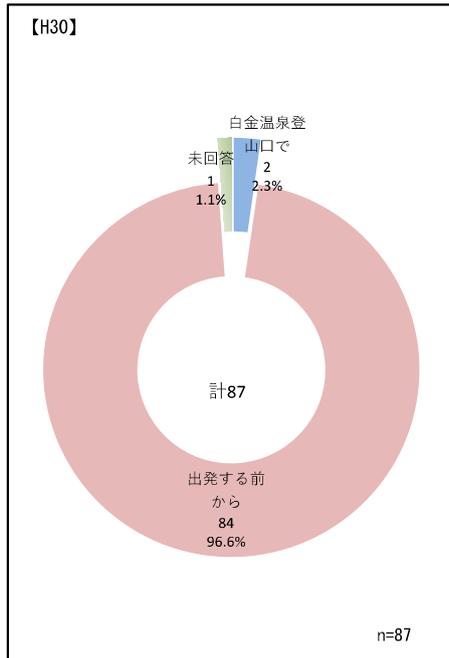
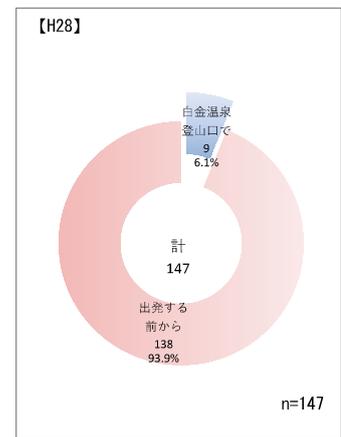
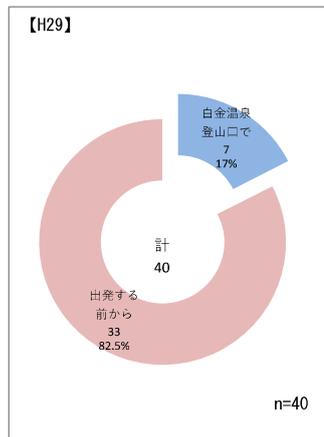


図 (1)

(2) 携帯トイレ認知時期

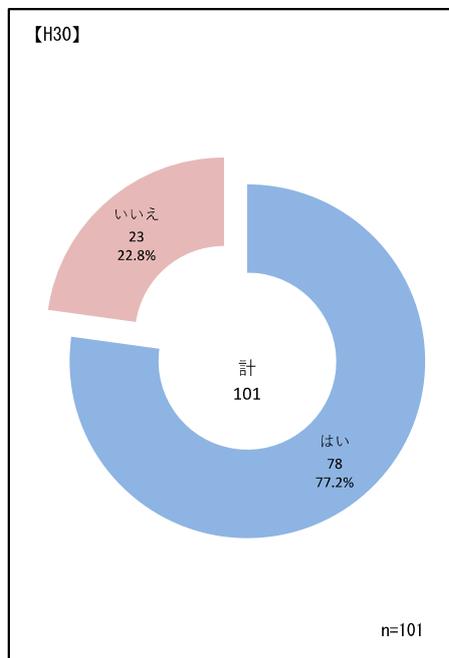


携帯トイレ利用の呼びかけについて知っていたと回答した87人のうち84人(96.6%)が出発前から知っていたと回答した。

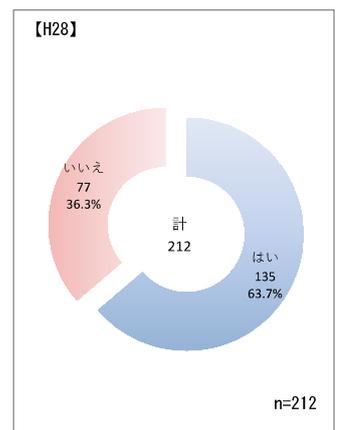
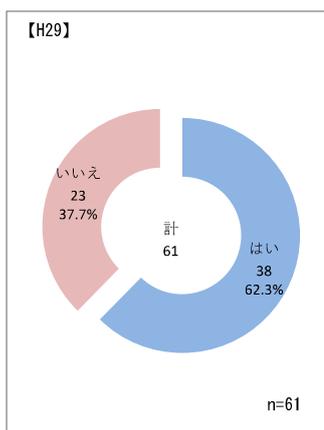


図(2)

(3) 携帯トイレ携行の有無

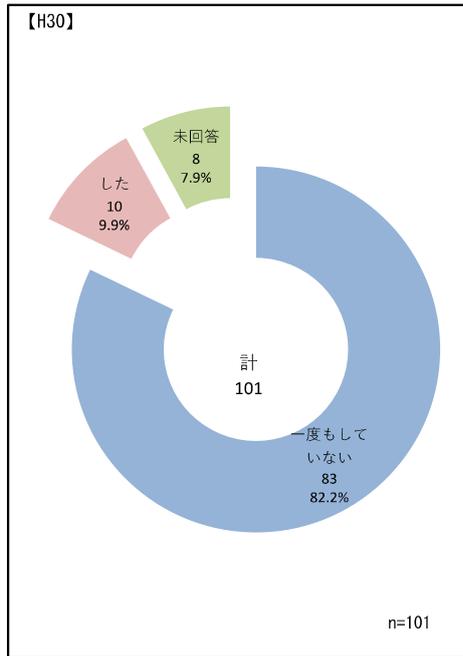


回答者101人のうち78人(77.2%)が携帯トイレを携行していた。認知度の問題だけでなく、実際に携帯トイレを携行する登山者が、過去2箇年度に比べ着実に増加している。



図(3)

(4) 今回の登山中に排便（大便）をしましたか？携帯トイレブースを使用しましたか？



今回の登山中に排便した登山者は 101 人中 10 人 (9.9%) だった。そのうち、8 人はトイレブースを使用、1 人はブース以外で携帯トイレを使用、使用せず野外は 0 人、他の避難小屋のトイレを使用は 1 人であった。

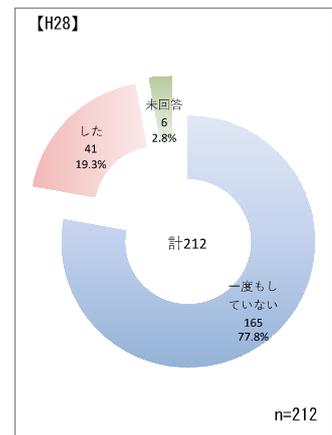
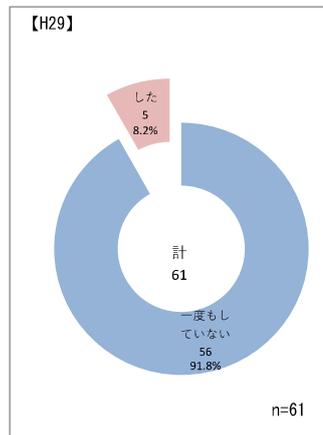
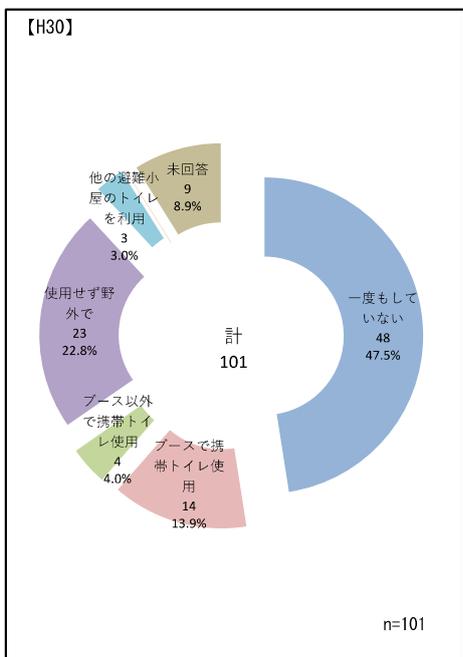


図 (4)

(5) 今回の登山中に排尿（小便）をしましたか？携帯トイレブースを使用しましたか？



登山中の排尿については、48 人 (47.5%) が「一度もしていない」と回答した。「携帯トイレを使用せず野外で」排尿した登山者の比率は H28 から順に 42.4%→32.8%→22.8%と着実に減少してきている。

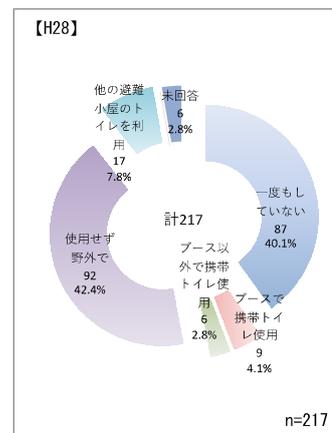
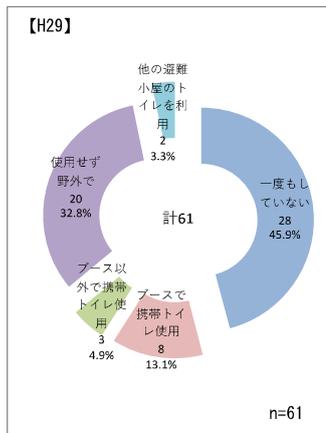
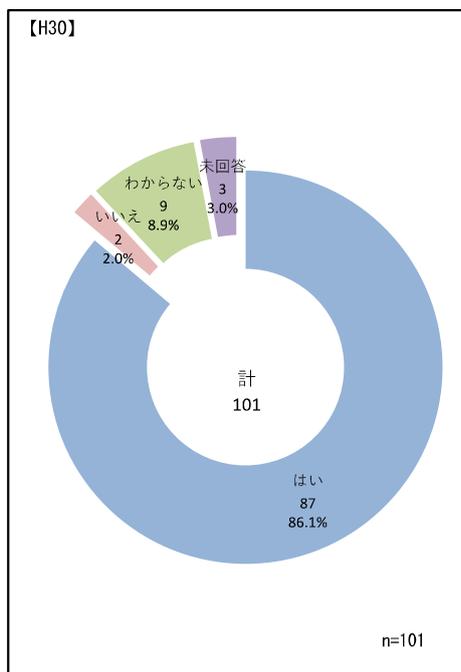


図 (5)

(6) 美瑛富士避難小屋で携帯トイレ用小屋型ブースが設置されたら、あなたは携帯トイレを使用しますか？



回答者 101 人中 87 人 (86.1%) が「携帯トイレを使用する」と回答した。H29、H30 と 90%前後の高い水準で推移している。

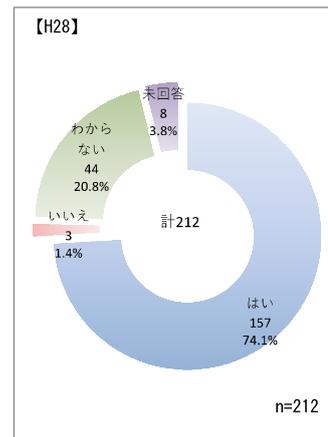
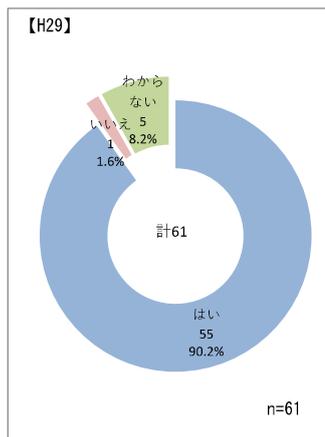


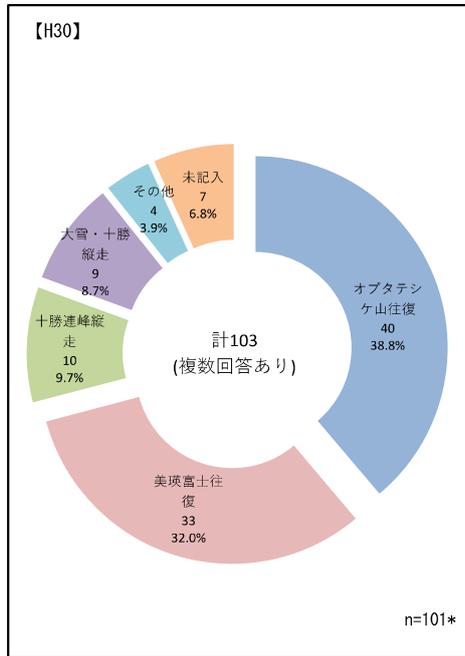
図 (6)

アンケート結果より、平成 27 年から試行的に美瑛富士避難小屋へのテント型携帯トイレブース設置の取組が開始され、常設の携帯トイレブースの設置の必要性及び有効性は明らかであると考えられる。また、回答内容からも携帯トイレブースを使用した回答者の意識の中に、携帯トイレブースを使用することの意義への理解が定着しつつあるような感触が得られてきている。

さらに、常設の携帯トイレブースを設置することの有効性は、し尿散乱が減少する等、環境改善の効果で判断する必要がある。美瑛富士避難小屋周辺の放置し尿、用を足すための踏み分け跡、裸地の現状について、平成 30 年は 7 月 15 日、8 月 4 日、11 日の 3 回調査を実施したところ、7 月 15 日に 4 箇所、8 月 4 日と 11 日に各 1 箇所、合計 6 箇所で大便の残留物を発見、そのうち 3 箇所にティッシュペーパーの残置があった。平成 28 年度調査時の 21 箇所（大便のみ）と比較すると、平成 29 年度の 2 箇所、今年度の 6 箇所と減少してきている。このことから、携帯トイレ普及活動による効果が現れつつあり、携帯トイレブースを設置することの有効性は認められるものと考えられる。

《参考》その他のアンケート結果

問1 今回利用された登山のコースはどこですか？



H28、H29 と同様「オプタテシケ山往復」が最も多かったが、「美瑛富士往復」が増加し、併せて、全体の約70%を占めていた。

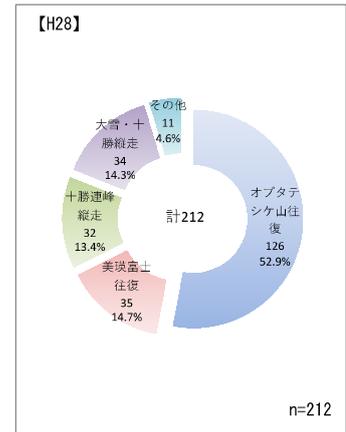
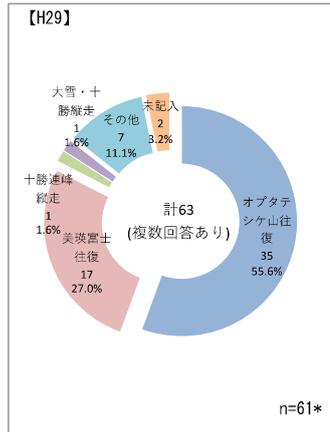
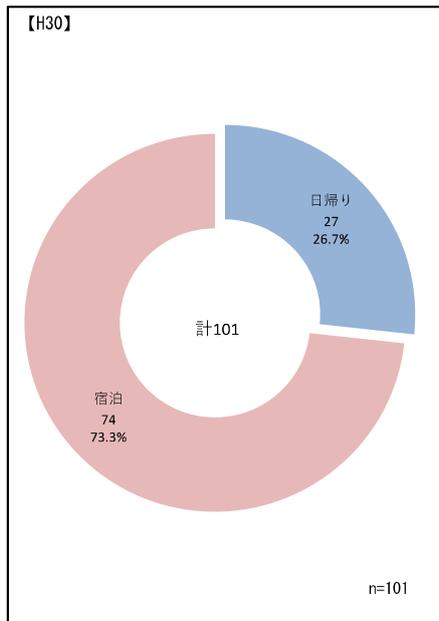


図1

問2 (1) 今回の登山は日帰りですか？



「日帰り」の登山者は27人で、全体の26.7%だった。過去2箇年度に比べて日帰り客が少なく、宿泊客が多い傾向がみられた。

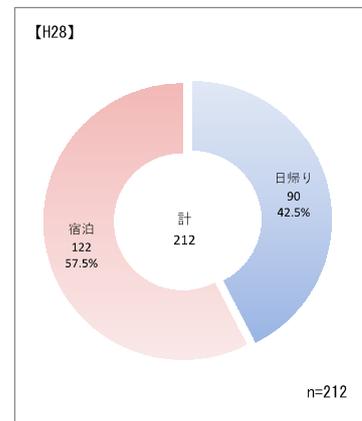
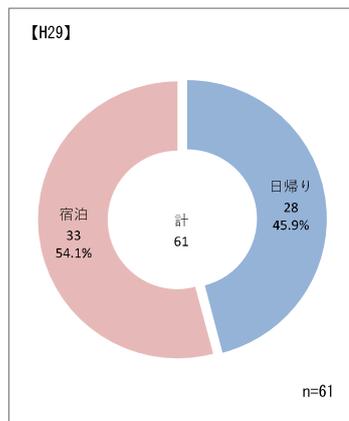
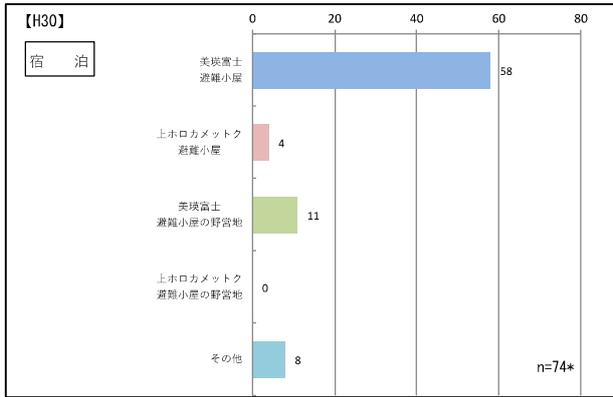


図2 (1)

(2) 「いいえ」と答えた方にお尋ねします。宿泊する(した)のはどちらですか？



「宿泊する(した)」登山者の78.4%が「美瑛富士避難小屋」を利用していた。

図2- (2)

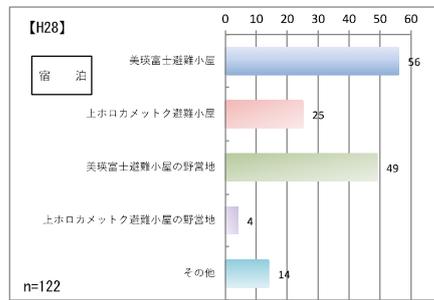
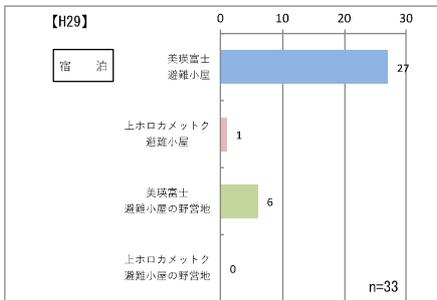
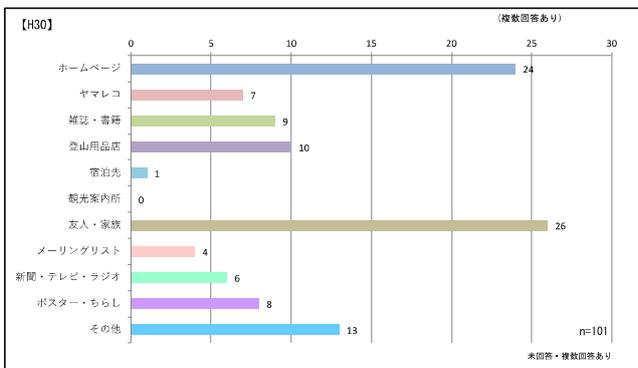


図2 (2)

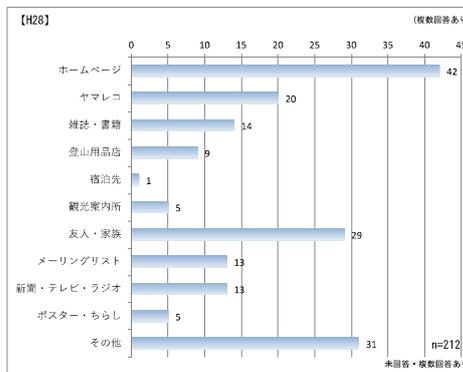
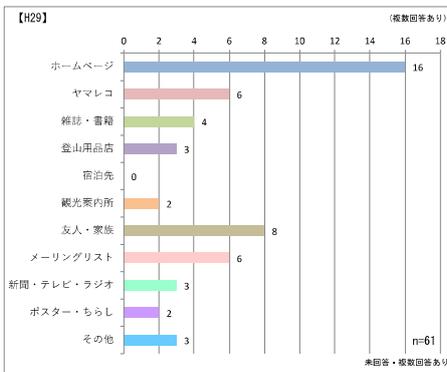
問3 美瑛富士避難小屋では携帯トイレの利用の認知した経緯



過去2箇年度は「ホームページ」との回答が最も多かったが、今回の調査では「友人・家族」から知らされたとの回答が26人(25.7%)と最多であった。

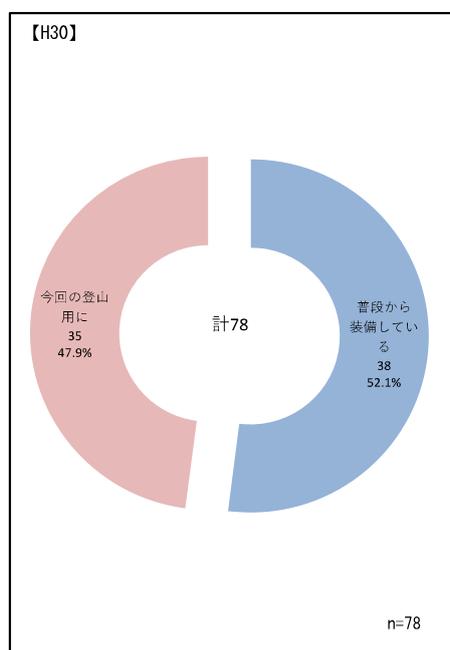
「ホームページ」の24人(23.8%)でさらに「その他」13人(12.9%)と続いた。

図3 (3)



問4 今回の登山に、携帯トイレを持ってきていますか？

(1) 携帯トイレ携行の携行頻度



携帯トイレを携行していた78人のうち38人(52.1%)が「普段から装備している」と回答。

携帯トイレ携行の携行頻度(普段から装備しているか否か)という点では過去2箇年度に比してやや後退。

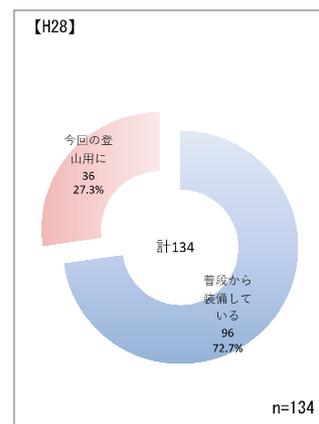
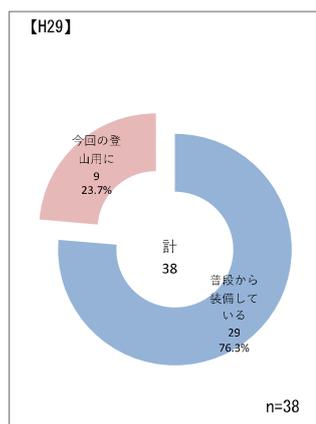


図4 (1)

(2) 携帯トイレを持ってきていない理由

- 「携帯トイレを持ってきていない理由」で最も多かった回答は「日帰りだから」で23人中9人(33.3%)。
- 次点で多かった回答は「処分が面倒」で5人(16.7%)。これに次いで3番目に多かったのは「どんなものか知らない」で4人(17.4%)。この回答はH28の調査では77人中6人(7.8%)、H29の調査では0件だったものである。

平成30年度大雪山国立公園入山者数の推計結果(登山者カウンター等カウント値結果)

● 対象とする登山口

平成30年度は、下表の登山口を対象とした。位置図は別紙のとおり。なお、現時点では利用者が少なく、登山者カウンターを設置して人数を計測しても、全体数の誤算の範囲に含まれてしまうと考えられる登山口は対象にしていない。

● 結果の概要

①月別の入山者数は、最も多い月が9月、その次が7月であると考えられる。

②入山者が多い上位3登山口は、黒岳登山口、十勝岳登山口(十勝岳方面)、姿見の池(裾合平方面)である(データが欠損した姿見の池(旭岳方面)を除く。)

なお、熱感知式カウンターの精度検証の結果から入山者数の実数はカウント値よりも一定程度少ないと考える必要がある。平成30年度6月～10月期の大雪山国立公園の年間のカウント数を単純に合計した値について、これまでに実施した精度検証の結果から、仮に誤差が約110%～148%と仮定すると、大雪山国立公園全体の入山者数は約7～10万人程度の間にあると考えられる。

登山口	年間	6月	7月	8月	9月	10月	推計方法	カウンター設置期間
1 黒岳登山口	約29000程度	約1200程度	約9500程度	約6600程度	約10000程度	約1300程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月29日～10月12日
2 銀泉台登山口(第一花園下)	約10000程度	約100程度	約2300程度	約1300程度	約6000程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月28日～10月4日
3 高原温泉登山口(緑岳コース)	約3100程度	約100程度	約1000程度	約700程度	約1200程度	約50～100程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月19日～10月10日
4 高原温泉登山口(沼巡りコース)	約6300程度	約200程度	約500程度	約400程度	約4800程度	約300程度	ヒグマ情報センター利用者数資料	—
5 クチャンベツ登山口	—	—	—	—	—	—	熱感知式カウンターからの推計	—
6 愛山渓温泉登山口	0～50程度	0～50程度	—	—	—	—	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月18日～10月3日
7 姿見の池(裾合平方面)	約10000程度	約800程度	約4900程度	約1400程度	約2800程度	約400程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月20日～10月17日
8 姿見の池(旭岳方面)	約23000程度	約800程度	約8500程度	約6600程度	約6000程度	約1000程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月20日～10月17日
9 美瑛富士登山口	約1000程度	約300程度	約300程度	約300程度	約200程度	約0～50程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月15日～10月10日
10 天人峽登山口	約700程度	40～60程度	約200程度	約200程度	約200程度	—	人感センサー式カメラからの推計	平成30年6月21日～9月25日
11 十勝岳登山口(美瑛岳方面)	約1900程度	約200程度	約700程度	約600程度	約400程度	約50～100程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月15日～10月10日
12 十勝岳登山口(十勝岳方面)	約11000程度	約1100程度	約5200程度	約1600程度	約2800程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月15日～10月10日
13 十勝岳温泉(安政火口)	約1900程度	—	—	0～50程度	約1700程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年8月29日～10月10日 ※カウンター故障のため6月15日～8月28日までデータ欠
14 原始ヶ原登山口	約400程度	約100程度	約50～100程度	約100程度	約50～100程度	約40～60程度	人感センサー式カメラからの推計	平成30年6月15日～10月9日
15 十勝岳新得側登山口	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	国有林入林簿からの推計	—
16 トムラウシ山(短縮コース)登山口	約2400程度	約200程度	約900程度	約800程度	約500程度	約0～50程度	赤外線式カウンターからの推計	平成30年6月1日～10月23日
17 トムラウシ山(温泉コース)登山口	約100程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	赤外線式カウンターからの推計	平成30年6月1日～10月23日
18 石狩岳登山口	約200程度	約0～50程度	約0～50程度	約50～100程度	約50～100程度	約0～50程度	赤外線式カウンターからの推計	平成30年6月14日～10月24日
19 ユニ石狩岳登山口	約400程度	約40～60程度	約0～50程度	約200程度	約100程度	約0～50程度	国有林入林簿からの推計	—
20 ニペツ山(幌加温泉コース)登山口	約1100程度	約100程度	約300程度	約300程度	約300程度	約100程度	熱感知式カウンターからの推計	平成30年6月4日～10月24日
21 白雲山土幌側登山口	約700程度	約200程度	約100程度	約100程度	約100程度	約200程度	国有林入林簿からの推計	—
22 白雲山鹿追側登山口	約2500程度	約500程度	約500程度	約500程度	約600程度	約500程度	国有林入林簿からの推計	—
23 東ヌプカウシヌプリ登山口	約1100程度	約200程度	約200程度	約200程度	約400程度	約200程度	国有林入林簿からの推計	—
24 南ペトウトル山登山口	約100程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	国有林入林簿からの推計	—

●計測手法ごとに実数に対して多い又は少ない傾向にあるといった計測値の特性が異なること、同じ計測手法であっても熱感知式カウンターの場合は場所により誤差が異なることも考慮に入れて、次のように取り扱った。

①登山口ごとに、月別にカウントした生データの値を記入した。登山口ごとの年間合計と、月別の合計値は、これらの値を単純に足し合わせた値である。

②明らかなエラー値については、除去した。

③上記①で求められた値のそれぞれについて、次のように表記した。

・1000以上の数値については、有効数字を左2桁として、3桁目を四捨五入した。

・100～999の数値については、10の位を四捨五入した。

・0～39の数値については「約0～50程度」、40～60の数値については「約40～60程度」、61～99の数値については「約50～100程度」と表記した。

●上記の操作を行ったため、次の点に注意が必要である。

①登山口ごとの各月別のカウント値の合計と登山口ごとの年間のカウント値の合計は一致しない。②各月の登山口ごとの人数の合計と、各月の合計の人数は一致しない。

●登山者カウンターは、雪解け後、できる限り早い時期に設置しようとしているため、設置以前に入山した登山者は把握できない。積雪により登山者カウンターが回収することができない可能性があるため、回収を急いだ登山口については、撤去後の登山者は把握できない。

●参考

銀泉台(第一花園上)でも計測をしており、その値は、年間約7,700程度、6月約100程度、7月2,800程度、8月約1,000程度、9月約3,700程度、10月0～50程度であった。銀泉台(第一花園下)の計測値との差は、銀泉台(第一花園)のみを採勝した人の数を意味する。

姿見の池周回コースのみを散策した者の数は、この表には含まれていない。

愛山溪温泉へ至る道道が平成30年7月初旬の大雨で通行止めとなったため、7月以降は同登山口から入山する登山者は把握していない。

クチャンベツ登山口に至る林道が平成28年7月31日の大雨で通行止めとなったため、同登山口から入山する登山者は把握していない。

ウペサンケ登山口に至る林道が平成28年8月から通行止めのため、これらの登山口から入山する登山者は把握していない。

雪解けの早い然別湖外輪山については4月から入山があり、国有林入林簿からの推計では、4月・5月合わせて、白雲山土幌側登山口が約300程度、白雲山鹿追側登山口が約200程度、東ヌブカウシヌブリ登山口が100程度、南ベウトル山登山口が0～50程度であった。

平成30年度登山者カウンター設置等箇所 位置図

大雪山グレード



■大雪山グレード (利用体験ランク)

- グレード5 『大雪山の極めて厳しい自然に挑む登山ルート』
- グレード4 『大雪山の厳しい自然に挑む登山ルート』
- グレード3 『大雪山の自然を体感する登山ルート』
- グレード2 『大雪山の自然とふれあう軽登山ルート』
- グレード1 『大雪山の自然とふれあう探勝ルート』
- 非適用 (登山道として供用していません)

注) グレード5のうち点線表示のルートは次のとおりですので、注意して下さい。
 ・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。
 所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
 ・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの軋轢を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。

■主なアクセス道

- 国道・道道 — 町道 - - - - - ロープウェイ・ペアリフト
- 林道 (G施錠ゲート) (●現在通行止)

①	黒岳登山口	熱感知式カウンター
②	銀泉台登山口(第一花園上・下)	熱感知式カウンター
③	高原温泉(緑岳コース)登山口	熱感知式カウンター
④	高原温泉(沼巡りコース)登山口	ヒグマ情報センター利用者数資料
⑤	クチャンベツ登山口	熱感知式カウンター
⑥	愛山溪温泉登山口	熱感知式カウンター
⑦	姿見の池(裾合平方面)	熱感知式カウンター
⑧	姿見の池(旭岳方面)	熱感知式カウンター
⑨	美瑛富士登山口	熱感知式カウンター
⑩	天人峡登山口	人感センサー式カメラ
⑪	十勝岳登山口(美瑛岳方面)	熱感知式カウンター
⑫	十勝岳登山口(十勝岳方面)	熱感知式カウンター
⑬	十勝岳温泉登山口	熱感知式カウンター
⑭	原始ヶ原登山口	人感センサー式カメラ
⑮	十勝岳新得側登山口	入林簿
⑯	トムラウシ山(短縮コース)登山口	赤外線式カウンター
⑰	トムラウシ山(温泉コース)登山口	赤外線式カウンター
⑱	石狩岳登山口	赤外線式カウンター
⑲	ユニ石狩岳登山口	入林簿
⑳	ニペソツ山(幌加温泉コース)登山口	熱感知式カウンター
㉑	白雲山士幌側登山口	入林簿
㉒	白雲山鹿追側登山口	入林簿
㉓	東ヌプカウシヌプリ登山口	入林簿
㉔	南ペトウトル山登山口	入林簿

平成30年度大雪山国立公園パークボランティア年間活動計画

日程	場所	行事	内容等
4月10日(火)	東川RH	4月役員会	18時～
5月8日(火)	士幌町	セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
5月11日(金)	上川町	運営協議会総会	
5/12(土)～13(日)	十勝岳温泉 凌雲閣	5月役員会、総会(十勝岳温泉凌雲閣) 春山研修	1日目:総会 2日目:春山研修
5月31日(木)	層雲峡温泉	自然公園クリーンデー	清掃活動
6月5日(火)	東川RH	6月役員会	18時～
6月7日(木)	東川町周辺	自然公園クリーンデー 旭岳温泉・天人峡温泉	清掃活動
6月8日(金)	層雲峡温泉	外来種防除活動(ルピナス等)	防除活動
6月13日(水)			
6月16日(土)	十勝岳周辺	登山道整備	ロープ補強、清掃
6月17日(日)	旭岳山頂～ 間宮岳		
6/22(金), 25(月)	赤岳	高山蝶パトロール週間(週2回程度) ※高山蝶の増減傾向把握のためのモニタリングも含む	密猟防止パトロール
6月24日(日)	赤岳、緑岳、富良野岳	高山蝶重点パトロール	密猟防止パトロール
7月3日(火)	東川RH	7月役員会	18時～
7/9(月)～13(金)	然別湖	ウチダザリガニ防除	ザリガニ防除
7月17日(火)	糠平源泉郷	自然公園クリーンデー	清掃活動
7月14日(土)	美瑛富士	携帯トイレブース点検パトロール	点検パトロール
7月23日(月)	愛山溪	登山道整備(永山岳方面ササ刈)	笹刈り
8月2(木), 21(火), 23(木), 29(水)	緑岳第二花畑 銀泉台入口～ コマクサ平	外来種防除活動(セイヨウオオマルハナバチ、 フランスギク、アラゲハンゴンソウ等)	防除活動
8月5日(日)	大雪山全域	自然公園クリーンデー 白金温泉・天人峡温泉・十勝岳温泉	清掃活動
8月7日(火)	東川RH	8月役員会	18時～
8/7(火)、9(木)、 13(月)、17(金)	旭岳周辺	セイヨウオオマルハナバチ防除活動週間	防除活動
8月10日(金)	十勝三股	植生復元活動	下草刈り
8月26日(日)	原始ヶ原	湿原植生復元モニタリング	モニタリング
8月27日(月)	沼ノ平	湿原植生復元モニタリング	モニタリング
9月4日(火)	東川RH	9月役員会	18時～
9/15(土)～24(月)	赤岳銀泉台	マイカー規制対応 ※土日祝日+月・水・金/週	利用者指導活動、 受付補助
9/21(金)～30(日)	高原温泉沼巡り コース	ヒグマパトロール対応 ※土日祝日+月・水・金/週	自然解説活動、 受付補助
9月22日(土)	十勝岳	登山道整備	ロープ緩め、清掃
9月23日(日)	旭岳周辺	登山道整備	ロープ緩め、清掃
10月2日(火)	東川RH	10月役員会	18時～
10/15(月)～19(金)	然別湖	ウチダザリガニ防除	防除活動
10/12(金), 13(土)	十勝三股	施設跡地植生復元	植樹及び保護柵設置
1月19日(土)	旭川市内	1月役員会	
2/2(土)～3(日)	日高町	冬期研修会	
1月～3月中旬(2 回程度)	旭川市ペーパ ン地区他	スノーモビル等乗入れ規制合同パトロール、 重点パトロール	
年間		事務所行事への協力(観察会・フォーラム・協働型維持 管理支援など) 層雲峡VCにおける来館者への自然解説等 一般活動	

平成30年度(2018年度)マルハナバチモニタリング実施状況

環境省 上川・東川・上士幌自然保護官事務所

2018マルハナバチモニタリングルート実施期

	山域名	ルート	7月	8月	
			後半	前半	後半
「セイヨウオオマルハナバチ防除の考え方」で示されている重要な山域	黒岳	黒岳7合目～黒岳石室			
	赤岳	銀泉台～(コマクサ平)～赤岳		8月2日実施	8月23日実施
	姿見・裾合平	旭岳姿見～裾合平		8月7日実施 8月13日実施 8月9日中止	8月17日中止
	美瑛岳	望岳台～雲の平			
	十勝岳	十勝岳温泉～富良野岳			8月22日中止
その他の山域	緑岳	高原温泉～緑岳第二花畑			8月21日実施

※この他、平地では士幌町国道沿い(5月7日、8日)、士幌町役場周辺(5月8日)、士幌町食肉公社(5月8日)、上士幌自然保護官事務所(5月8日)、士幌高原(6月7日)で実施。

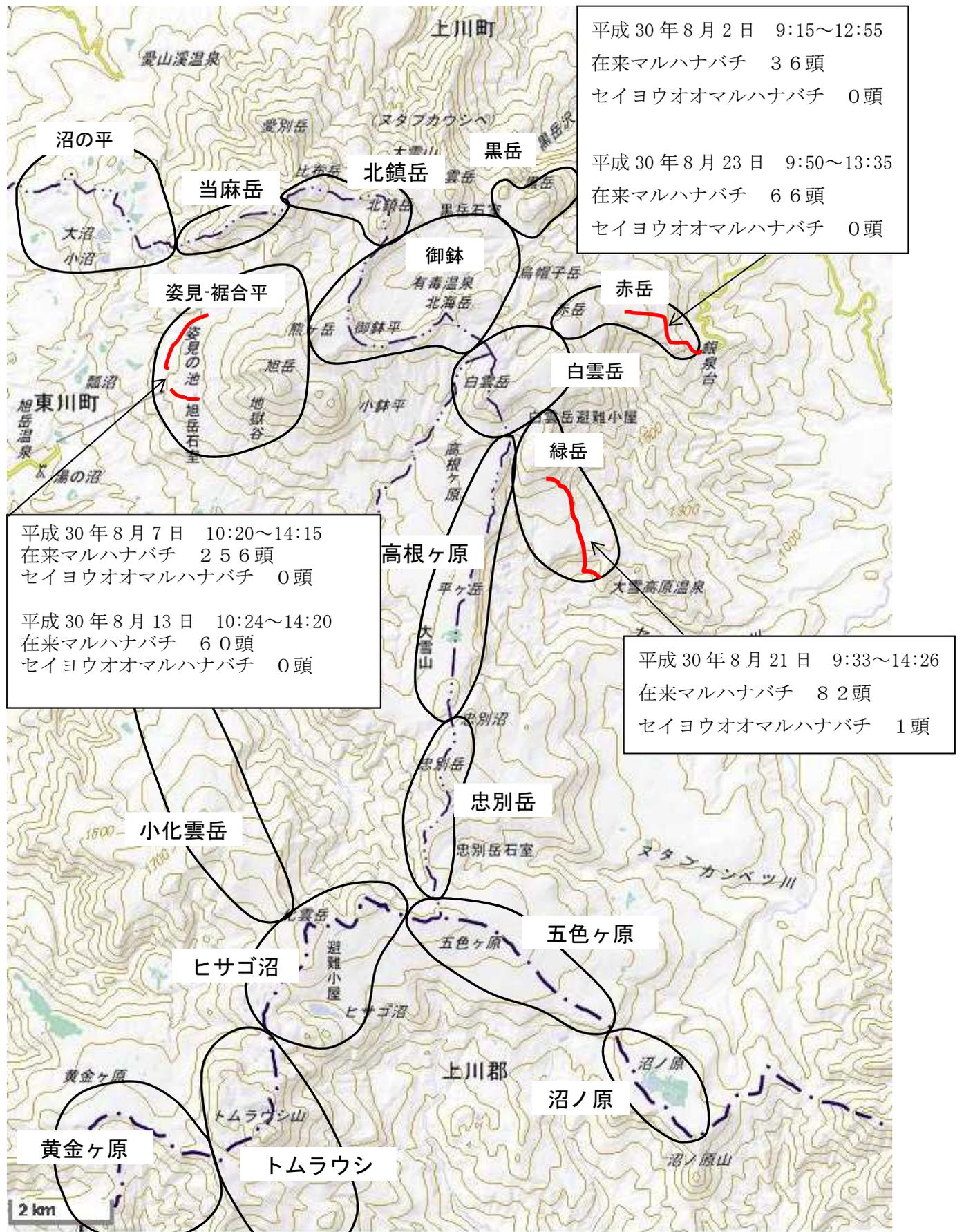


図. 平成30年度モニタリング実施場所1

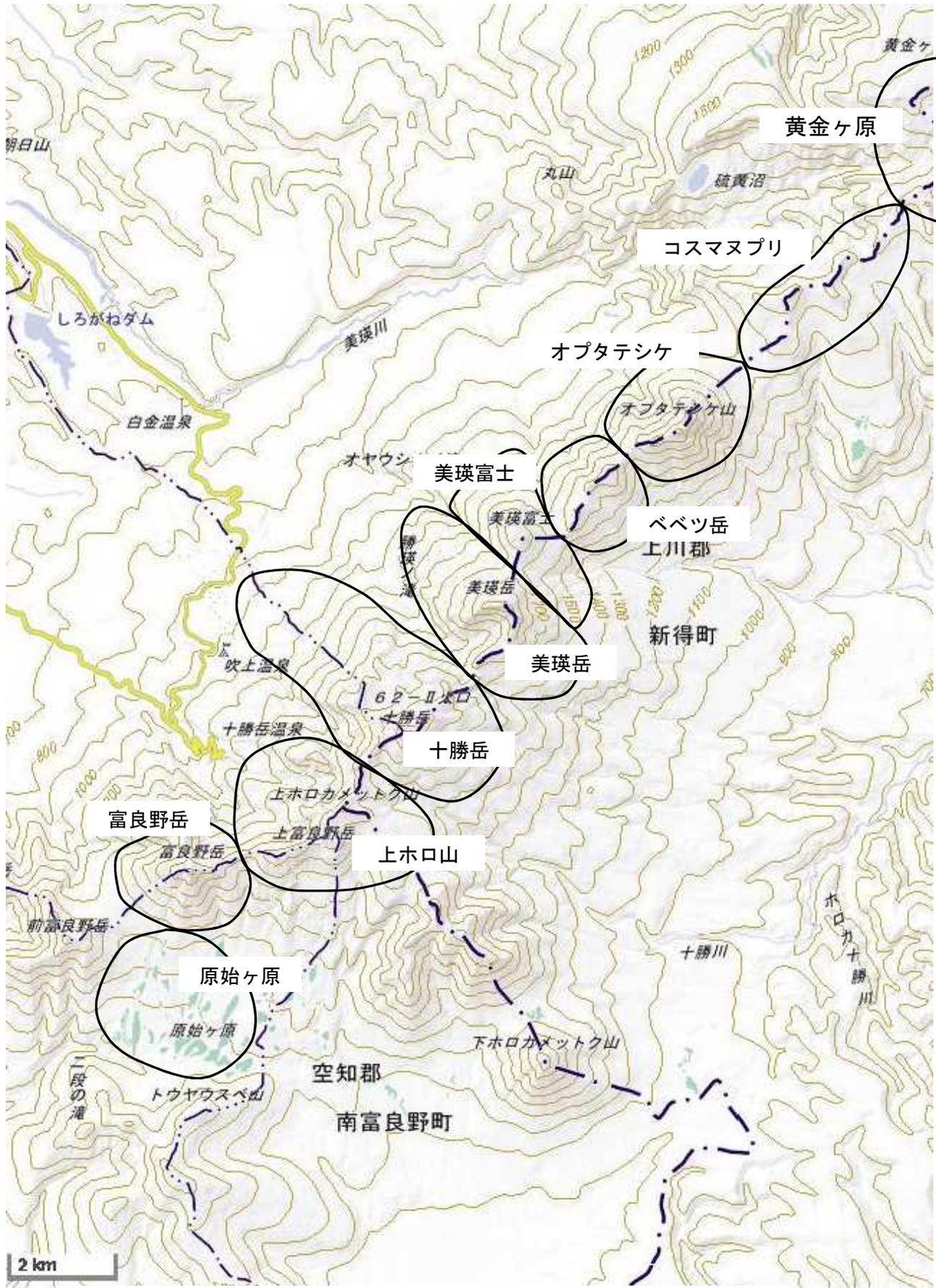


図. 平成30年度モニタリング実施場所2

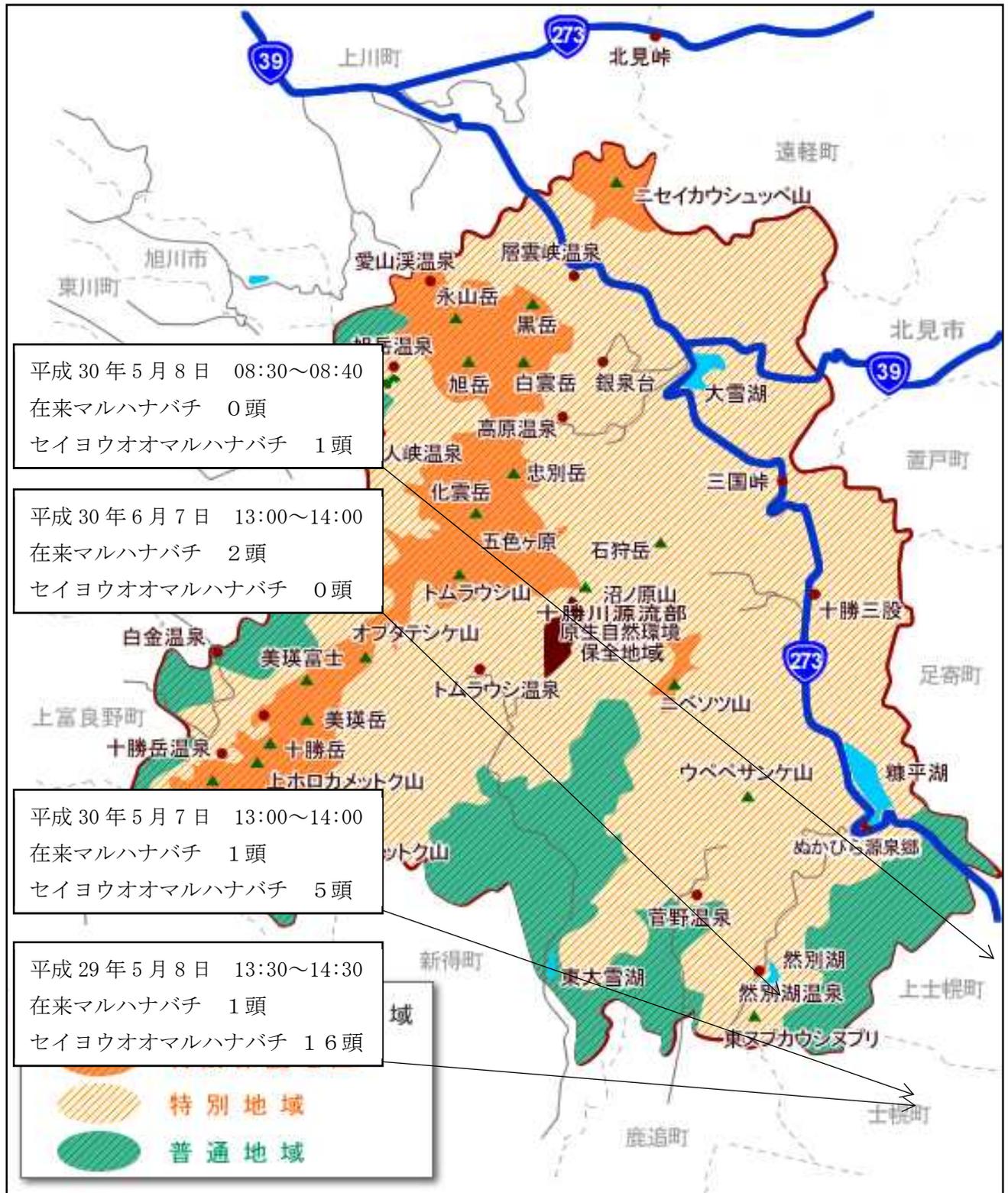


図. 平成30年度モニタリング実施場所3

平成30年度セイヨウオオマルハナバチモニタリング調査(大雪山国立公園パークボランティア、上川・東川・上士幌自然保護官事務所)

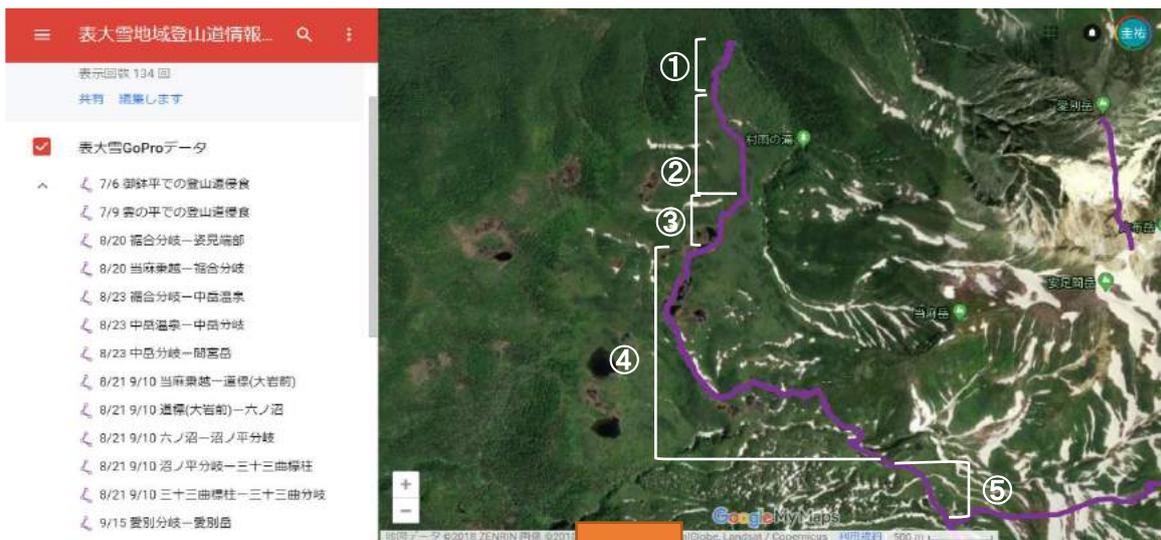
調査地		銀泉台～コマクサ平				銀泉台～第4雪渓				高原温泉～緑岳第二花畑				姿見の池園地				姿見の池園地～裾合分岐途中			
調査日		平成30年8月2日				平成30年8月23日				平成30年8月21日				平成30年8月7日				平成30年8月13日			
調査時間		9:15～12:55				9:50～13:35				9:33～14:26				10:20～14:15(235分)				10:24～14:20(244分)			
マルハナバチ種類	カースト	頭数	種別 小計	種別 割合	1時間あたり 確認頭数	頭数	種別 小計	種別 割合	1時間あたり 確認頭数	頭数	種別 小計	種別 割合	1時間あたり 確認頭数	頭数	種別 小計	種別 割合	1時間あたり 確認頭数	頭数	種別 小計	種別 割合	1時間あたり 確認頭数
エゾナガマルハナバチ	女王(Q)	7				0				0				0				0			
	働き蜂(w)	3	14	40%	3.8	3	3	4%	0.8	43	44	53%	9.0	45	45	18%	11.5	18	18	30%	4.4
	オス(♂)	4				0				0				0				0			
	不明(u)	1				0				1				0				0			
エゾオオマルハナバチ	女王(Q)	9				1				0				6				1			
	働き蜂(w)	4	13	37%	3.5	50	51	77%	13.6	28	28	34%	5.8	203	209	82%	53.4	34	35	58%	5.8
	オス(♂)	0				0				0				0				0			
	不明(u)	0				0				0				0				0			
エソトラマルハナバチ	女王(Q)	0				0				0				0				0			
	働き蜂(w)	0	0	0%	0.0	2	2	3%	0.5	1	1	1%	0.2	0	0	0%	0.0	0	0	0%	0.0
	オス(♂)	0				0				0				0				0			
	不明(u)	0				0				0				0				0			
エゾヒメマルハナバチ	女王(Q)	1				0				0				0				1			
	働き蜂(w)	1	2	6%	0.5	9	9	14%	2.4	5	5	6%	1.0	1	1	0%	0.3	6	7	12%	1.7
	オス(♂)	0				0				0				0				0			
	不明(u)	0				0				0				0				0			
アカマルハナバチ	女王(Q)	4				0				0				0				0			
	働き蜂(w)	1	5	14%	1.4	1	1	2%	0.3	3	3	4%	0.6	1	1	0%	0.3	0	0	0%	0.0
	オス(♂)	0				0				0				0				0			
	不明(u)	0				0				0				0				0			
(ニセ)ハイイロ	女王(Q)	0				0				0				0				0			
	働き蜂(w)	1	1	3%	0.3	0	0	0%	0.0	1	1	1%	0.2	0	0	0%	0.0	0	0	0%	0.0
	オス(♂)	0				0				0				0				0			
	不明(u)	0				0				0				0				0			
セイヨウオオマルハナバチ	女王(Q)	0				0				1				0				0			
	働き蜂(w)	0	0	0%	0.0	0	0	0%	0.0	0	1	1%	0.2	0	0	0%	0.0	0	0	0%	0.0
	オス(♂)	0				0				0				0				0			
	不明(u)	0				0				0				0				0			
合計		35	35	100%	16.8	66	66	99%	17.6	83	83	100%	17.0	256	256	100%	65.4	60	60	100%	14.8
		観察時間220分				観察時間225分				観察時間293分				観察時間235分				観察時間244分			

調査地		士幌町国道沿い				士幌町役場周辺				士幌町国道沿い				士幌町食肉公社				士幌高原				上士幌自然保護官事務所			
調査日		平成30年5月7日				平成30年5月8日																			
調査時間		13:00～14:00(60分)				13:30～14:30(60分)				13:30～14:30(60分)				13:30～14:30(60分)				13:00～14:00(60分)				08:30～08:40(10分)			
マルハナバチ種類	カースト	頭数	種別 小計	種別 割合	1時間あたり 確認頭数																				
エゾナガマルハナバチ	女王(Q)	0				0				0				0				0							
	働き蜂(w)	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0				
	オス(♂)	0				0				0				0				0							
	不明(u)	0				0				0				0				0							
エゾオオマルハナバチ	女王(Q)	1				1				0				0				0							
	働き蜂(w)	0	1	17%	1	0	1	17%	1	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0				
	オス(♂)	0				0				0				0				0							
	不明(u)	0				0				0				0				0							
エソトラマルハナバチ	女王(Q)	0				0				0				0				0							
	働き蜂(w)	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0				
	オス(♂)	0				0				0				0				0							
	不明(u)	0				0				0				0				0							
エゾヒメマルハナバチ	女王(Q)	0				0				0				0				1							
	働き蜂(w)	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	1	50%	1	0				
	オス(♂)	0				0				0				0				0							
	不明(u)	0				0				0				0				0							
アカマルハナバチ	女王(Q)	0				0				0				0				1							
	働き蜂(w)	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	1	50%	1	0				
	オス(♂)	0				0				0				0				0							
	不明(u)	0				0				0				0				0							
(ニセ)ハイイロ	女王(Q)	0				0				0				0				0							
	働き蜂(w)	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0	0	0	0%	0				
	オス(♂)	0				0				0				0				0							
	不明(u)	0				0				0				0				0							
セイヨウオオマルハナバチ	女王(Q)	5				5				1				10				0							
	働き蜂(w)	0	5	83%	5	0	5	83%	5	0	1	100%	1	0	10	100%	10	0	0	0%	0				
	オス(♂)	0				0				0				0				0							
	不明(u)	0				0				0				0				0							
合計		6	6	100%	6	6	100%	6	1	1	100%	1	10	10	100%	10	2	2	100%	2	1	100%	6		
		観察時間60分				観察時間60分				観察時間60分				観察時間60分				観察時間10分							

沼ノ平コース

<アクションカムの地上映像>

路線名	愛山溪北鎮岳線/沼ノ平姿見の池線
事業執行者	環境省



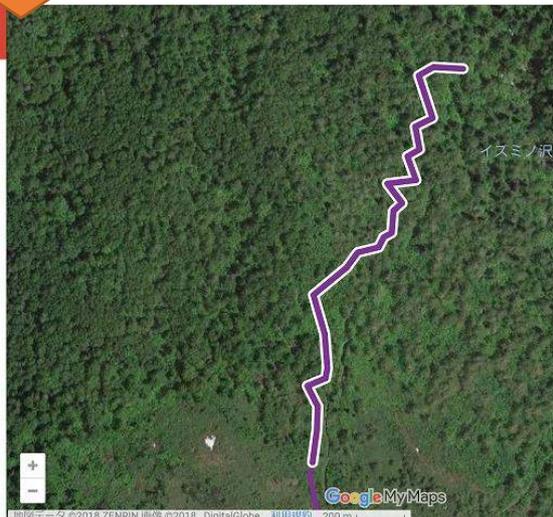
① 8/21 9/10 三十三曲標柱→三十三...

名前
8/21 9/10 三十三曲標柱→三十三曲分岐

説明
撮影日：8/21 三十三曲標柱→三十三曲分岐
9/10 三十三曲分岐→三十三曲標柱
撮影者：下條 典子
撮影機材：GoPro + OSMO Mobile2
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道
備考：
データ：
三十三曲標柱→三十三曲分岐
https://drive.google.com/file/d/1SrCocQJR8YFP_S2iNVw_xbGotYBWHCDN/view?usp=sharing
三十三曲分岐→三十三曲標柱
https://drive.google.com/file/d/1rUjkg7MjFBNk1XUjzhu_mXZ8xVHkyW9/view?usp=sharing

時間：11分07秒

時間：12分17秒



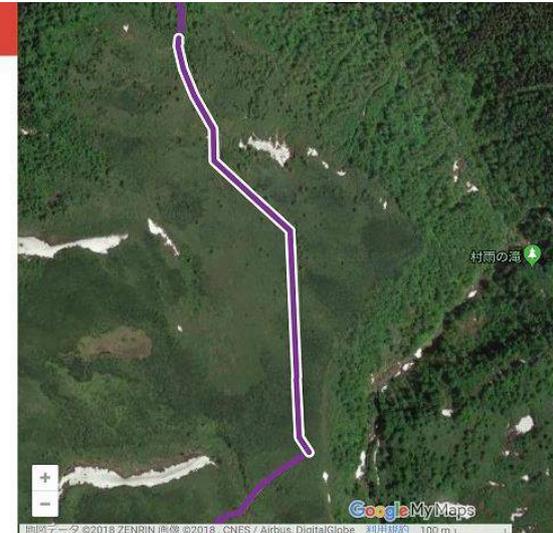
② 8/21 9/10 沼ノ平分岐→三十三曲...

名前
8/21 9/10 沼ノ平分岐→三十三曲標柱

説明
撮影日：8/21 沼ノ平分岐→三十三曲標柱
9/10 三十三曲標柱→沼ノ平分岐
撮影者：下條 典子
撮影機材：GoPro + OSMO Mobile2
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道
備考：
データ：
沼ノ平分岐→三十三曲標柱
<https://drive.google.com/file/d/1p6-rDtWxVMcSuxr4QswfZPGDuh3Bp4/view?usp=sharing>
三十三曲標柱→沼ノ平分岐
https://drive.google.com/file/d/1h6-21c-00zutYv2vw41qAjg3p10JW2L_/view?usp=sharing

時間：20分53秒

時間：21分29秒



③

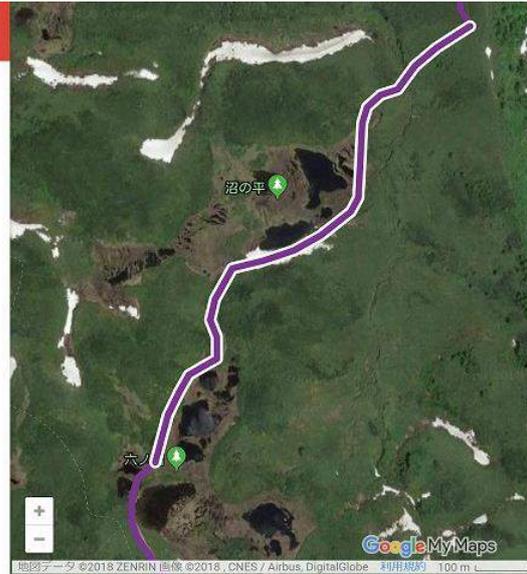
← 8/21 9/10 六ノ沼→沼ノ平分岐

名前
8/21 9/10 六ノ沼→沼ノ平分岐

説明
撮影日：8/21 六ノ沼→沼ノ平分岐
9/10 沼ノ平分岐→六ノ沼
撮影者：下條 典子
撮影機材：GoPro + OSMO Mobile2
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道
備考：
データ
六ノ沼→沼ノ平分岐
https://drive.google.com/file/d/1hioJtJWXKVQksWHYNW_Ty70E28jmgEFl/view?usp=sharing
沼ノ平分岐→六ノ沼
https://drive.google.com/file/d/1onddQa8mwa2pg1qC8n_v9JeQ7FQ3mKLP/view?usp=sharing

時間：16分32秒

時間：17分11秒



④

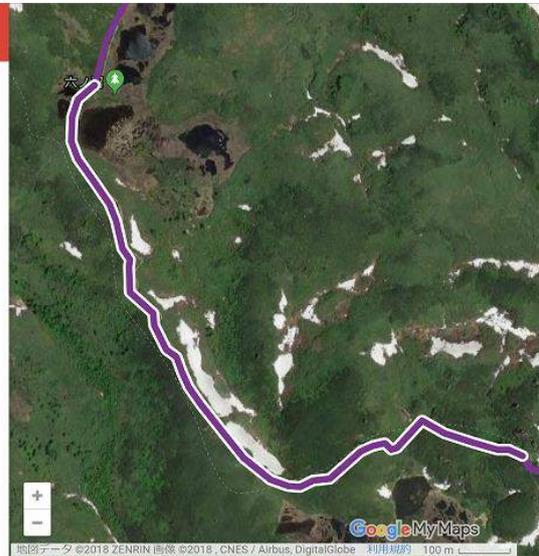
← 8/21 9/10 道標(大岩前)→六ノ沼

名前
8/21 9/10 道標(大岩前)→六ノ沼

説明
撮影日：8/21 道標(大岩前)→六ノ沼
9/10 六ノ沼→道標(大岩前)
撮影者：下條 典子
撮影機材：GoPro + OSMO Mobile2
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道
備考：
データ
道標(大岩)→六ノ沼
https://drive.google.com/file/d/1h_IA3w2D66fry2vzn16WpkZ0dpYEyCTE/view?usp=sharing
六ノ沼→道標(大岩)
https://drive.google.com/file/d/1V_7Dc9E1x4O1DKetmgHmFLu_6AKsPmP/view?usp=sharing

時間：18分33秒

時間：18分27秒



⑤

← 8/21 9/10 当麻乗越→道標(大岩前)

名前
8/21 9/10 当麻乗越→道標(大岩前)

説明
撮影日：8/21 当麻乗越→道標(大岩前)
9/10 道標(大岩前)→当麻乗越
撮影者：下條 典子
撮影機材：GoPro + OSMO Mobile2
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道
備考：
データ
当麻乗越→道標(大岩前)
https://drive.google.com/file/d/1mQXDF9-_1Y7WjN_MAAjNP0D6Tcl8p83/view?usp=sharing
道標(大岩前)→当麻乗越
<https://drive.google.com/file/d/14e9aKiebkWMAg0yG3o0Q0kRy9o3T1/view?usp=sharing>
道標(大岩前)→当麻乗越
<https://drive.google.com/file/d/1Wp97kolyqngg8Y-CF9WTLFEXEMdMn/view?usp=sharing>
当麻乗越→当麻乗越
https://drive.google.com/file/d/1XgbYU_LA759F8rxytU_PdL_mXZ9t41JdT/view?usp=sharing

時間：9分32秒

時間：8分16秒

時間：8分36秒

時間：9分52秒



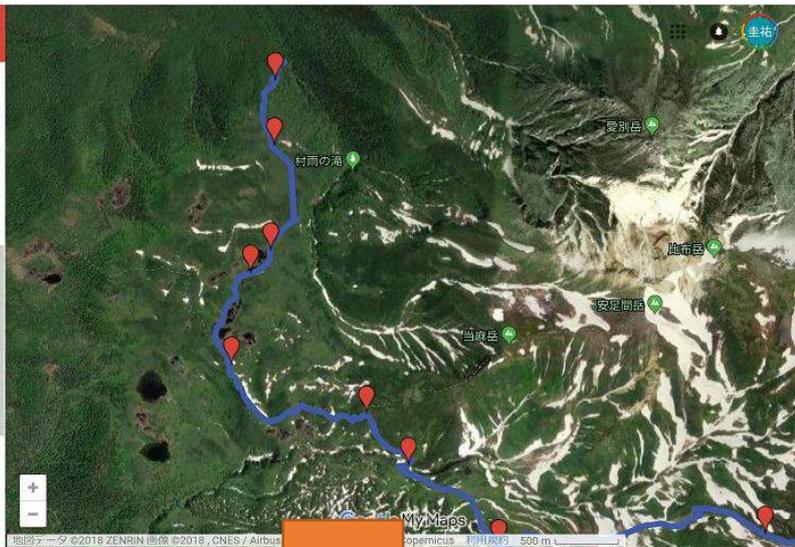
コース距離(往復)

約8.6km

<整備・補修報告書>

表大雪地域登山道情報...

- 沼ノ平姿見の池
- A区画
- B区画
- C区画
- D区画
- ...他 22 個
- 中岳総合線
 - A区画
 - B区画
 - C区画
 - D区画
 - ...他 5 個
- 層雲峡勇駒別線
 - A区画
 - B区画



愛山溪北鎮岳線

資料①
平成26年度
沼ノ平姿見の池歩道木道改修工
事業務実施報告書

資料②
平成29年度
大雪山国立公園上川地区登山道
補修報告書A

資料①
平成26年度
沼ノ平姿見の池歩道木道改修工
事業務実施報告書

資料②
平成29年度
大雪山国立公園上川地区登山道
補修報告書A

資料①
平成26年度
沼ノ平姿見の池歩道木道改修工
事業務実施報告書

資料③
平成29年度
大雪山国立公園上川地区登山道
補修報告書B

A区画

名称
A区画

説明
路線名：愛山溪北鎮岳線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：
H26年度報告書
<https://drive.google.com/file/d/10g4nF7IIP42VEuCivjJDeSVo5bCd1bS/view?usp=sharing>
H29年度報告書
<https://drive.google.com/file/d/1dm6QY13DUnbUy9xjZtd5KQDuTXg6YYq/view?usp=sharing>

B区画

名称
B区画

説明
路線名：愛山溪北鎮岳線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

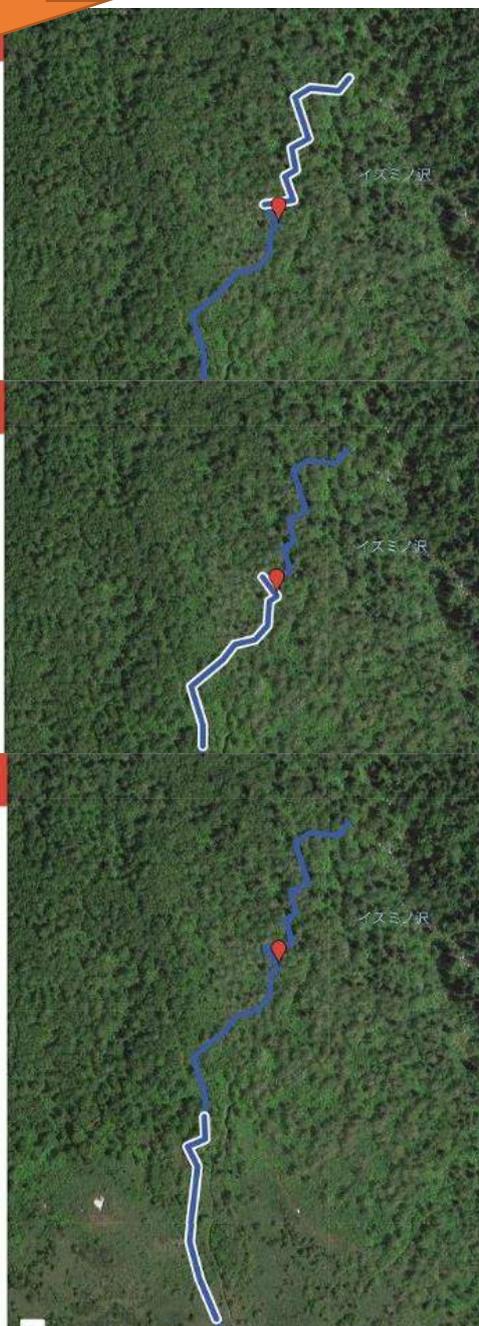
追加情報：
H26年度報告書
<https://drive.google.com/file/d/10g4nF7IIP42VEuCivjJDeSVo5bCd1bS/view?usp=sharing>
H29年度報告書
<https://drive.google.com/file/d/1dm6QY13DUnbUy9xjZtd5KQDuTXg6YYq/view?usp=sharing>

C区画

名称
C区画

説明
路線名：愛山溪北鎮岳線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：
H26年度報告書
<https://drive.google.com/file/d/10g4nF7IIP42VEuCivjJDeSVo5bCd1bS/view?usp=sharing>
H29年度報告書
https://drive.google.com/file/d/1IMW1dH0kO4Xw80yayShqx_4icXPu8NS/view?usp=sharing



資料①
平成26年度
沼ノ平姿見の池歩道木道改修工
事業務実施報告書

資料③
平成29年度
大雪山国立公園上川地区登山道
補修報告書B

資料①
平成26年度
沼ノ平姿見の池歩道木道改修工
事業務実施報告書

← D区画

名前
D区画

説明
路線名：愛山溪北線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：
H26年度報告書
https://drive.google.com/file/d/1Og4rrF7IIP42VEuClvyJD_eSVoSbCd1bS/view?usp=sharing
H29年度報告書
https://drive.google.com/file/d/1IMW1tDH0kO4Xw8Oyav_Snqx_4EcXPuBNS/view?usp=sharing



← E区画

名前
E区画

説明
路線名：愛山溪北線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：
H26年度報告書
https://drive.google.com/file/d/1Og4rrF7IIP42VEuClvyJD_eSVoSbCd1bS/view?usp=sharing



← F区画

名前
F区画

説明
路線名：愛山溪北線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：



← G区画

名前
G区画

説明
路線名：愛山溪北線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：



沼ノ平姿見の池線

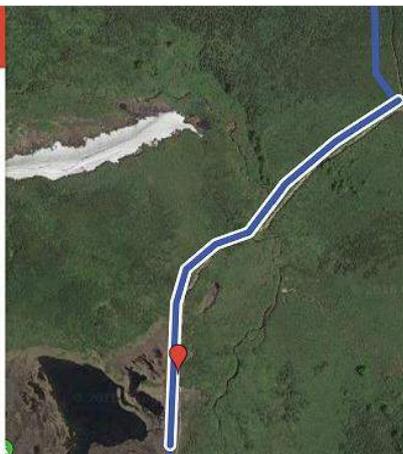
資料①
平成26年度
沼ノ平姿見の池歩道木道改修工
事業務実施報告書

← A区画

名前
A区画

説明
路線名：沼ノ平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：
H26年度報告書
<https://drive.google.com/file/d/1Og4rrF7IIP42VEuCivyJD eSVo5bCd1bS/view?usp=sharing>



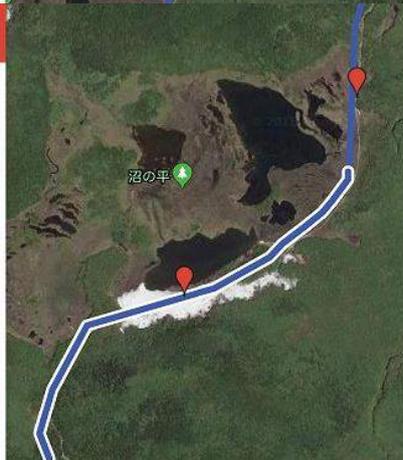
資料①
平成26年度
沼ノ平姿見の池歩道木道改修工
事業務実施報告書

← B区画

名前
B区画

説明
路線名：沼ノ平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：
H26年度報告書
<https://drive.google.com/file/d/1Og4rrF7IIP42VEuCivyJD eSVo5bCd1bS/view?usp=sharing>



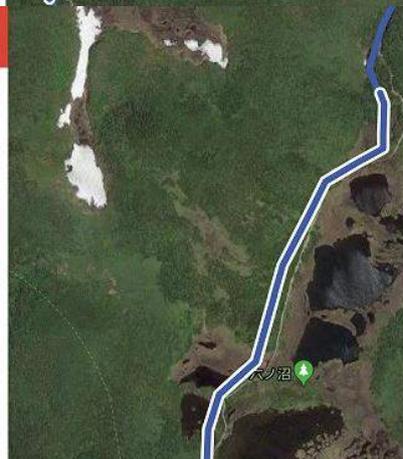
資料①
平成26年度
沼ノ平姿見の池歩道木道改修工
事業務実施報告書

← C区画

名前
C区画

説明
路線名：沼ノ平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：



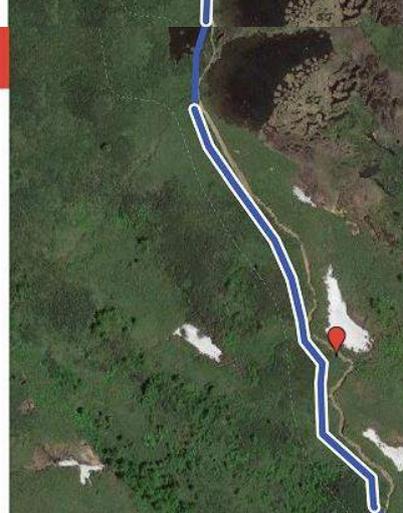
資料④
平成29年度
大雪山国立公園上川地区登山道
補修報告書C

← D区画

名前
D区画

説明
路線名：沼ノ平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：
H26年度報告書
<https://drive.google.com/file/d/1Og4rrF7IIP42VEuCivyJD eSVo5bCd1bS/view?usp=sharing>
H29年度報告書
<https://drive.google.com/file/d/1nQXwA9UOML8V1D4cG Kg3wqcOdflTnTfo/view?usp=sharing>

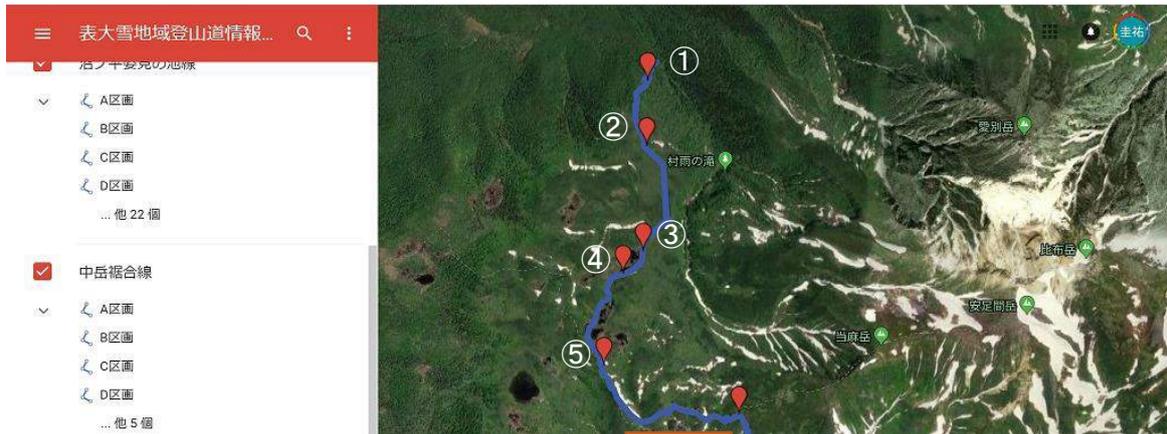


資料①
平成26年度
沼ノ平姿見の池歩道木道改修工
事業務実施報告書

<p>← E区画</p> <p>名前 E区画</p> <p>説明 路線名：沼の平姿見の池線 路線管理者：環境省 土地所有者：北海道</p> <p>追加情報： H26年度報告書 https://drive.google.com/file/d/1Og4rF7IIP42VeuCivvJD_eSVo5bCd1bS/view?usp=sharing</p>	
<p>← F区画</p> <p>名前 F区画</p> <p>説明 路線名：沼の平姿見の池線 路線管理者：環境省 土地所有者：北海道</p> <p>追加情報：</p>	
<p>← G区画</p> <p>名前 G区画</p> <p>説明 路線名：沼の平姿見の池線 路線管理者：環境省 土地所有者：北海道</p> <p>追加情報：</p>	
<p>← H区画</p> <p>名前 H区画</p> <p>説明 路線名：沼の平姿見の池線 路線管理者：環境省 土地所有者：北海道</p> <p>追加情報：</p>	

愛山溪北鎮岳線	7区画
沼ノ平姿見の池線	8区画

< 登山道追加情報 >



<p>登山道追加情報No.1</p>	<p>① < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者: 合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/1YFj8H8tGeNysHe98r2i5gOBghj-td8/view?usp=sharing</p>	
<p>登山道追加情報No.2</p>	<p>② < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者: 合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/1odJorT1UujbDr6-NniJHXcGeJ8sTabf-V/view?usp=sharing</p>	
<p>登山道追加情報No.3</p>	<p>③ < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者: 合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/11zYHomP-xu8C_p4e3VYpVp-dQUnSfPz_/view?usp=sharing</p>	
<p>登山道追加情報No.4</p>	<p>④ < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者: 合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/1lg6iSZNrov144jGxXCpS-ZcS7qMBAB6q/view?usp=sharing</p>	
<p>登山道追加情報No.5</p>	<p>⑤ < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者: 合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/1bDA3XT9ZXE9XshVQYHLZFv9_mkG2Ryav/view?usp=sharing</p>	

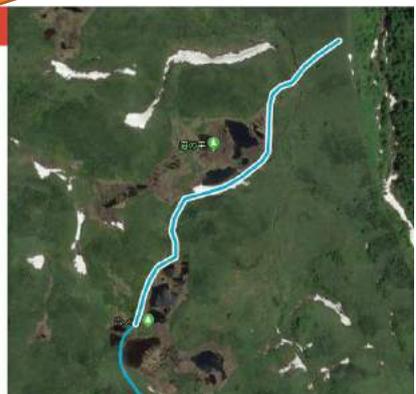
<ドローンの上空映像>



時間: 12分07秒

← 9/10 六の沼→沼の平景観

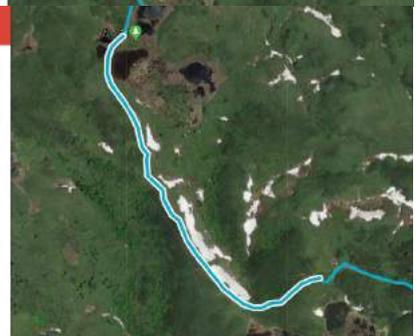
名前: 9/10 六の沼→沼の平景観
 説明: 六の沼→沼の平景観
 撮影者: 菅原 浩志
 下機: 両子
 機材: DJI Mavic Pro
 バッテリー: 3本
 DJI コントロール
 撮影高さ: 40m前後
 シェアURL: <https://www.google.com/maps/@16.7962280,141.5500400,25t/data=!3m1!1e3!1s0x602000000000000000:0x602000000000000000>



時間: 11分49秒

← 9/10 六の沼→当麻東越途中

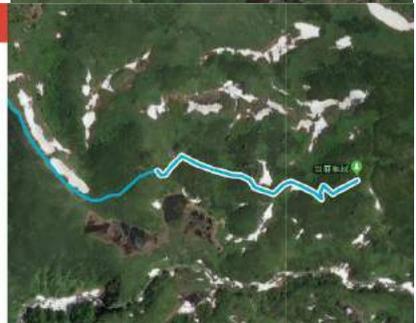
名前: 9/10 六の沼→当麻東越途中
 説明: 六の沼→当麻東越途中
 撮影者: 菅原 浩志
 下機: 両子
 機材: DJI Mavic Pro
 バッテリー: 3本
 DJI コントロール
 撮影高さ: 40m前後
 シェアURL: <https://www.google.com/maps/@16.7962280,141.5500400,25t/data=!3m1!1e3!1s0x602000000000000000:0x602000000000000000>



時間: 10分04秒

← 9/10 当麻東越→六の沼途中

名前: 9/10 当麻東越→六の沼途中
 説明: 当麻東越→六の沼途中
 撮影者: 菅原 浩志
 下機: 両子
 機材: DJI Mavic Pro
 バッテリー: 3本
 DJI コントロール
 撮影高さ: 40m前後 (両子)
 シェアURL: <https://www.google.com/maps/@16.7962280,141.5500400,25t/data=!3m1!1e3!1s0x602000000000000000:0x602000000000000000>



裾合分岐コース

<アクションカムの地上映像>

路線名	沼ノ平姿見の池線
事業執行者	環境省・北海道

表大雪地域登山道情報...

このマップでは、GoPro・ドローン・整備関連の報告書・現在の登山道状況を閲覧可能です。
表示回数 139 回
共有 編集します

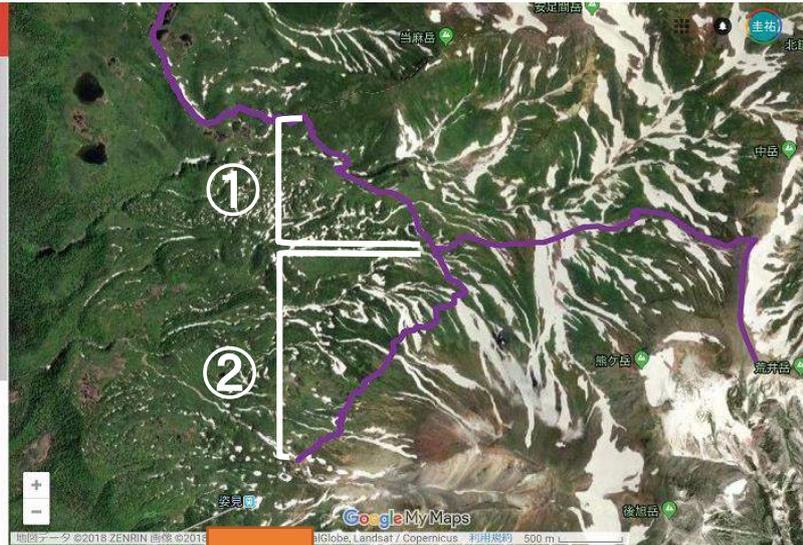
表大雪GoProデータ

- 7/6 御鉢平での登山道侵食
- 7/9 雲の平での登山道侵食
- 8/20 裾合分岐—姿見端部
- 8/20 当麻乗越—裾合分岐
- ... 他 9 個

ドローン飛行データ

雲山溪北鎮岳線

沼ノ平姿見の池線



①

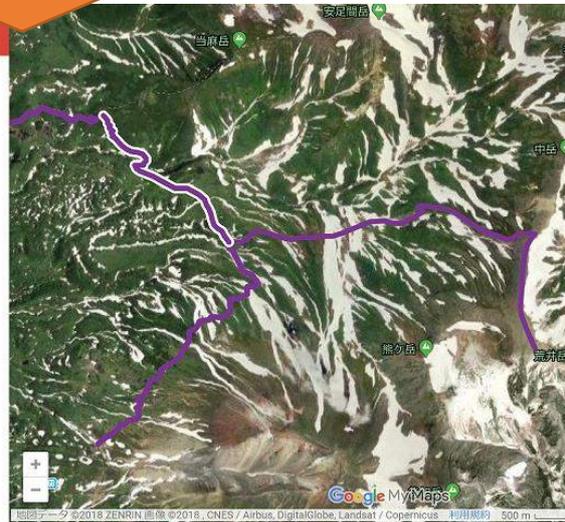
8/20 当麻乗越—裾合分岐

名前
8/20 当麻乗越—裾合分岐

説明
撮影日: 8/20
撮影者: 岡崎哲三
撮影機材: GoPro + OSMO Mobile2
撮影方向: 当麻乗越—裾合分岐
路線管理者: 環境省
土地所有者: 北海道
備考:
データリンク:
裾合分岐→当麻乗越
https://drive.google.com/file/d/16geEvEPXGEVET34fZYxyRxp9t9wmGx_j/view?usp=sharing
当麻乗越→裾合分岐
<https://drive.google.com/file/d/1darkfY2yYTK-nD8RWigvrohm7WNf0yju/view?usp=sharing>

時間: 28分15秒

時間: 25分41秒



②

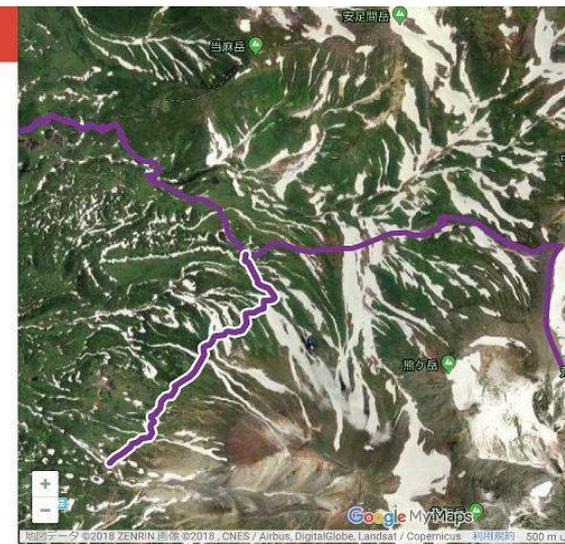
8/20 裾合分岐—姿見端部

名前
8/20 裾合分岐—姿見端部

説明
撮影日: 8/20
撮影者: 岡崎哲三
撮影機材: GoPro + OSMO Mobile2
路線管理者: 環境省
土地所有者: 北海道
備考:
データリンク:
裾合分岐→姿見端部
<https://drive.google.com/file/d/1pxkT8cceeR-ko1siyDgDNJoRcr9L1xk3n/view?usp=sharing>
姿見端部→裾合分岐
https://drive.google.com/file/d/1yv2FSePsJVlUEY1gzS7I-p4Xkwck8z9_a/view?usp=sharing

時間: 34分46秒

時間: 43分52秒



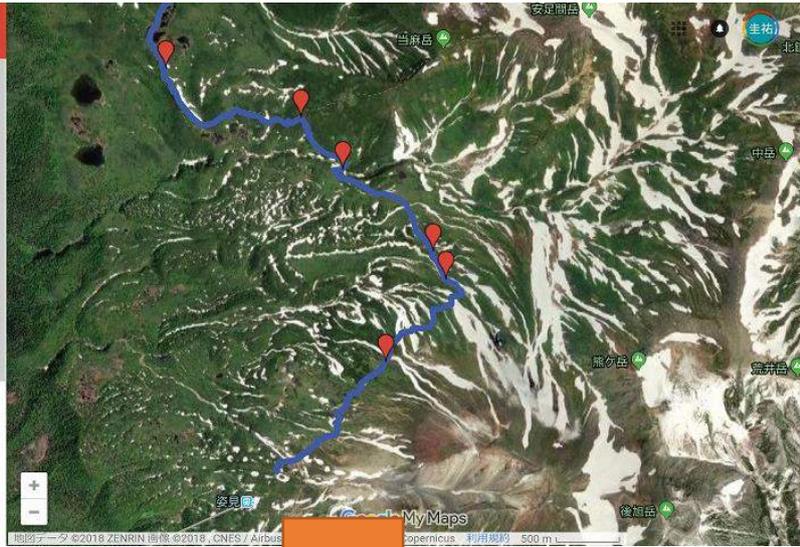
コース距離(往復)	約8.8km
-----------	--------

<整備・補修報告書>

≡ 表大雪地域登山道情報... 🔍 ⋮

このマップでは、GoPro・ドローン・整備関連の報告書・現在の登山道状況を閲覧可能です。
表示回数 139 回
共有 編集します

- 表大雪GoProデータ
- ドローン飛行データ
- 雲山溪北嶺岳線
- 沼ノ平姿見の池線
 - ↶ A区画
 - ↶ B区画
 - ↶ C区画
 - ↶ D区画
 - ... 他 22 個



沼ノ平姿見の池線

← H区画

名前
H区画

説明
路線名：沼ノ平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：

← I区画

名前
I区画

説明
路線名：沼ノ平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：

← K区画

名前
K区画

説明
路線名：沼ノ平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：

← L区画

名前
L区画

説明
路線名：沼ノ平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：

整備・補修報告書等無し

← M区画

名前

M区画

説明

路線名：沼の平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：



← N区画

名前

N区画

説明

路線名：沼の平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：



← O区画

名前

O区画

説明

路線名：沼の平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：



整備・補修報告書等無し

← P区画

名前

P区画

説明

路線名：沼の平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：



← Q区画

名前

Q区画

説明

路線名：沼の平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：



← R区画

名前

R区画

説明

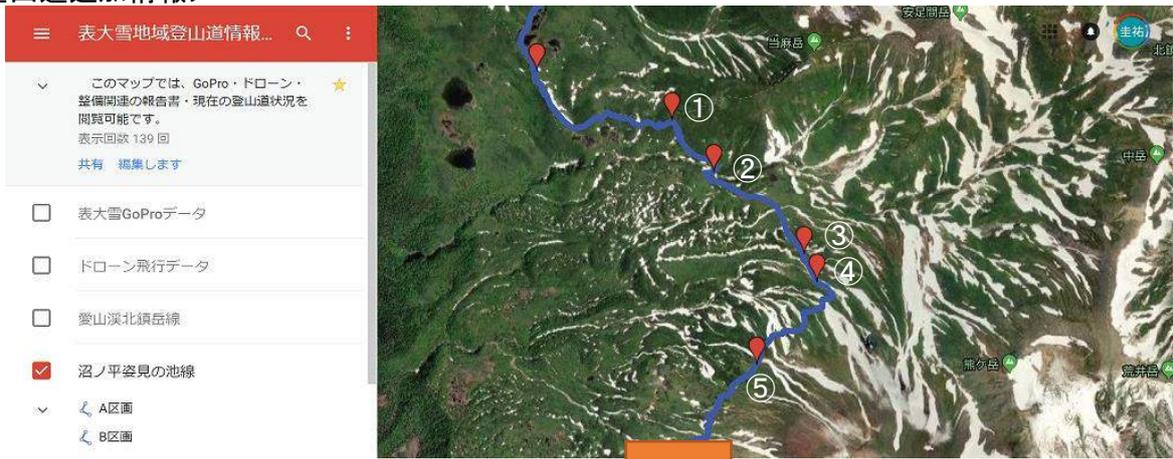
路線名：沼の平姿見の池線
路線管理者：環境省
土地所有者：北海道

追加情報：



沼ノ平姿見の池線 8区画

< 登山道追加情報 >



<p>登山道追加情報No.6</p>	<p>① < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供：合同会社 北海道山岳整備 PDF:https://drive.google.com/file/d/1kvsQhjuAqGw0XbAtq7puKjDnbkITOPz/view?usp=sharing</p>	
<p>登山道追加情報No.7</p>	<p>② < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者：合同会社 北海道山岳整備 PDF : https://drive.google.com/file/d/1ws64TKfAgKG23JorF44L3CAsx0HYiqSx/view?usp=sharing</p>	
<p>登山道追加情報No.8</p>	<p>③ < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者：大雪山・山守隊 PDF:https://drive.google.com/file/d/1m5SybofANIM5n2MWptOVHtLni3tN3k1o/view?usp=sharing</p>	
<p>登山道追加情報No.9</p>	<p>④ < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供：合同会社 北海道山岳整備 PDF : https://drive.google.com/file/d/19o0gjAdR2QvaSPy6-bo9jVlkKKxa5EEEx/view?usp=sharing</p>	
<p>登山道追加情報No.10</p>	<p>⑤ < 18年 登山道追加情報 ></p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供：合同会社 北海道山岳整備 PDF : https://drive.google.com/file/d/1mZqTWYcQ4U3Fdlst83vCMzpjDhBcHRS/view?usp=sharing</p>	

間宮岳～中岳温泉コース

<アクションカムの地上映像>

路線名	中岳裾合線/層雲峡勇駒別線
事業執行者	環境省・北海道

表大雪地域登山道情報...

このマップでは、GoPro・ドローン・整備関連の報告書・現在の登山道状況を閲覧可能です。
表示回数 141 回
共有 編集します

表大雪GoProデータ

- 7/6 御鉢平での登山道侵食
- 7/9 雲の平での登山道侵食
- 8/20 裾合分岐-姿見端部
- 8/20 当麻乗越-裾合分岐
- 8/23 裾合分岐-中岳温泉
- 8/23 中岳温泉-中岳分岐
- 8/23 中岳分岐-間宮岳
- 8/21 9/10 当麻乗越-遺標(大岩前)
- 8/21 9/10 遺標(大岩前)-六ノ沼
- 8/21 9/10 六ノ沼-沼ノ平分岐
- 8/21 9/10 沼ノ平分岐-三十三曲標柱

① ← 8/23 中岳温泉-中岳分岐

名前
8/23 中岳温泉-中岳分岐

説明
撮影日: 8/23
撮影者: 下條 典子
撮影機材: GoPro+OSMO Mobile2
路線管理者: 環境省
土地所有者: 北海道
備考:
データリンク:
中岳温泉->中岳分岐
<https://drive.google.com/file/d/1MS07Y1pXtNHlw8LaUf54qz6J7QYvqxM/view?usp=sharing>
中岳分岐->中岳温泉
<https://drive.google.com/file/d/10yZWuF6NB8NgBz0B53G0sFM0SZZJ4vJA/view?usp=sharing>

時間: 24分03秒

時間: 20分04秒

② ← 8/23 中岳分岐-間宮岳

名前
8/23 中岳分岐-間宮岳

説明
撮影日: 8/23
撮影者: 下條 典子
撮影機材: GoPro+OSMO Mobile2
路線管理者: 環境省
土地所有者: 北海道
備考:
データリンク:
中岳分岐->間宮岳
<https://drive.google.com/file/d/1yq5Lmd5mbuY-jYb7yb3hqZLMJgzu041/view?usp=sharing>
間宮岳->中岳分岐
<https://drive.google.com/file/d/1ygyf151GtHfV1eX4cJPNFnL9X6r1F9mY/view?usp=sharing>

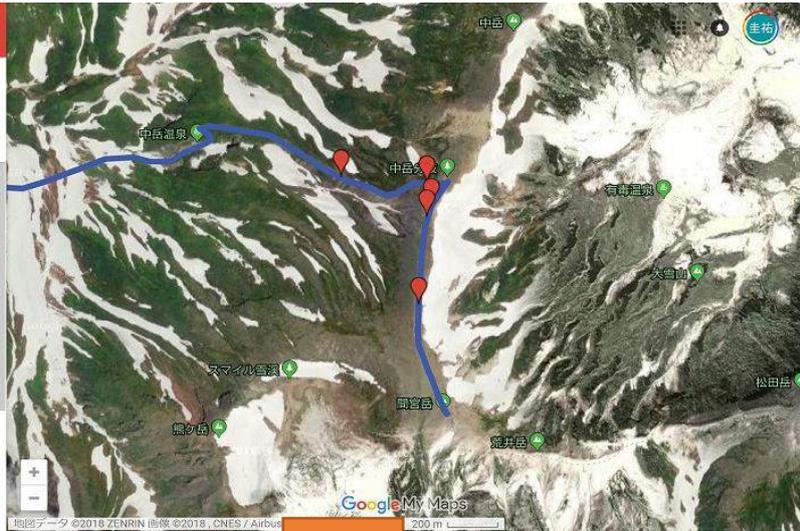
時間: 16分02秒

時間: 11分36秒

コース距離(往復)	約2.1km
-----------	--------

<整備・補修報告書>

- ☰ 表大雪地域登山道情報...
- ドローン飛行データ
- 愛山溪北嶺岳線
- 沼ノ平姿見の池線
- 中岳裾合線
 - ↶ A区画
 - ↶ B区画
 - ↶ C区画
 - ↶ D区画
 - ...他5個
- 層雲峡馬駒別線
 - ↶ A区画
 - ↶ B区画
 - ↶ C区画



中岳裾合平線

整備・補修報告書等無し

← F区画

名前
F区画

説明
路線名：中岳裾合線
路線管理者：北海道/環境省
土地所有者：北海道

追加情報：

← F区画

名前
F区画

説明
路線名：中岳裾合線
路線管理者：北海道/環境省
土地所有者：北海道

追加情報：

← G区画

名前
G区画

説明
路線名：中岳裾合線
路線管理者：北海道/環境省
土地所有者：北海道

追加情報：

層雲峡勇駒別線

整備・補修報告書等無し



中岳裾合線	3区画
層雲峡勇駒別線	3区画

< 登山道追加情報 >



<p>①</p> <p>登山道追加情報No.11</p>	<p>← 18年 登山道追加情報</p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者：合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/1RplKOFv4q2nHYLDC33mQjmbPY4mKNn/view?usp=sharing</p>	
<p>②</p> <p>登山道追加情報No.12</p>	<p>← 18年 登山道追加情報</p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者：合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/1ZzfWKIO7U05h4Jj_Ue5jgrcc8laVhvjo/view?usp=sharing</p>	
<p>③</p> <p>登山道追加情報No.13</p>	<p>← 18年 登山道追加情報</p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者：合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/1CmIxSbem1hKuUtweu7_6AAlyVWYzwc26/view?usp=sharing</p>	
<p>④</p> <p>登山道追加情報No.14</p>	<p>← 18年 登山道追加情報</p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者：合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/1M8y18QwqTUus6d2PqRkbv-JKRnQceqv5z/view?usp=sharing</p>	
<p>⑤</p> <p>登山道追加情報No.15</p>	<p>← 18年 登山道追加情報</p> <p>名前 18年 登山道追加情報</p> <p>説明 情報提供者：合同会社 北海道山岳整備 https://drive.google.com/file/d/1aNXcIFG0JhFn90XWPZ4J5xLholKPYjw/view?usp=sharing</p>	

登山道追加情報一覧

No.1

《追加情報》
 路線名: 登山道北嶺巻線 土地所有者: 北海道 事業執行者: 環境省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/09/10

GPS位置情報
 N 43°42'41.53"
 E 142°49'17.07"



データベース画像 2018/8/21


一般収集情報 2018/9/10


《過去の施工記録等》
 2018年は、シーズンを通して登山道が通行止めとなっていたため、高視時やイベント等での整備は行われていない。
 ※過去の施工に関する資料(報告書)は、マップ上で照録ごとにまとめられているので、そちらを参照
 《周辺状況写真》

《上記の記録・情報》
 2018/09/10
 上野が折れて落ちてきた倒木あり、このまを越した後の求春の様子を見て、危険があれば除去を行う必要がある。

通行にはあまり支障はない。

No.2

《追加情報》
 路線名: 沼の平夏見の池線 土地所有者: 北海道 事業執行者: 環境省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/07/24

GPS位置情報
 N 43°41'54.48"
 E 142°49'06.20"



データベース画像 2018/8/21


一般収集情報 2018/7/24


《過去の施工記録等》
 2018年は、シーズンを通して登山道が通行止めとなっていたため、高視時やイベント等での整備は行われていない。
 ※過去の施工に関する資料(報告書)は、マップ上で照録ごとにまとめられているので、そちらを参照
 《周辺状況写真》

《上記の記録・情報》
 2018/07/24
 量が少なく、登山道が出現している。7月頃くらいまでは降雪の上を歩く地点である。またここはめめるみらい地点でもある。雪が融けてくずくずするため、また積物は育ってきている。

この地点はシダ類が多い。今年は登山道方面への登山者が少なかったため、あまりぬかるんでいない。

No.3

《追加情報》
 路線名: 登山道北嶺巻線 土地所有者: 北海道 事業執行者: 環境省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/09/10

GPS位置情報
 N 43°42'28.78"
 E 142°49'17.33"



データベース画像 2018/8/21


一般収集情報 2018/9/10


《過去の施工記録等》
 2017年度調査整備のつた田には山へ登るための登山道にて施工済み(壊壊工)である。
 2018年はシーズンを通して登山道が通行止めとなっていたため、高視時やイベント等での整備は行われていない。
 《周辺状況写真》

《上記の記録・情報》
 2018/09/10
 木材を固定していた杭の方向がズレている。土砂の堆積は見られない。

施工前

施工後

No.4

《追加情報》
 路線名: 沼の平夏見の池線 土地所有者: 北海道 事業執行者: 環境省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/07/24

GPS位置情報
 N 43°42'03.03"
 E 142°49'16.38"



データベース画像 2018/9/10


一般収集情報 2018/7/24


《過去の施工記録等》
 2018年は、シーズンを通して登山道が通行止めとなっていたため、高視時やイベント等での整備は行われていない。
 ※過去の施工に関する資料(報告書)は、マップ上で照録ごとにまとめられているので、そちらを参照
 《周辺状況写真》

《上記の記録・情報》
 2018/07/24
 施工後に異常は見られない。周辺はエコザカが目立っている。

No.5

〈追加情報〉
 図録名: 志の平温泉の池原 土地所有者: 北海道 事業執行者: 釧路省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/09/10

GPS位置情報
 N 43°41'37.07"
 E 142°49'02.66"



データベース画像 2018/8/21
 (過去の竣工記録等)
 2018年は、シーズンを通して登山道が通行止めとなっていたため、遊歩道やイベント等の整備は行われていない。

※過去の竣工に関する資料(報告書)は、マップ上で掲載ごとにとまめられているので、そちらを参照



キノコ(過去秋の写真)
 フンは茶色で、シラネニンジンの類物を食べている筈ではない。



一般取巻画像 2018/9/10
 (上記の説明・情報)
 2018/09/10
 ヒゲマのフンを発見。

No.6

〈追加情報〉
 図録名: 志の平温泉の池原 土地所有者: 北海道 事業執行者: 釧路省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/10/06

GPS位置情報
 N 43°41'13.27"
 E 142°49'48.99"



データベース画像 2018/08/20
 (過去の竣工記録等)
 毎年、冬の早の紅葉を見ようと、多くの登山客が当山を訪れる。
 2016年以降 標高分岐にあるような、円柱に標長の看板が設置されたものが建てられていた。
 2016年 標柱が現在のものに建て替えられている。



看板の内容である。



一般取巻画像 2018/10/06
 (上記の説明・情報)
 2018/10/06
 今年は、7月の豪雨で登山道と温泉までの林道が使えなくなっていた。その影響により、登山道から下山で歩かなくてはならなかった。道案内の指示の元、9月に緊急的な看板を設置していた(下記に続く)



固定方法として、ビス2本で固定されていたのみであった。強度的に、冬場に吹き飛ばされる可能性が高いと判断し、10月6日の遊歩道にて回収済みである。

No.7

〈追加情報〉
 図録名: 志の平温泉の池原(ヒワケナイ) 土地所有者: 北海道 事業執行者: 釧路省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/09/07

GPS位置情報
 N 43°41'08.79"
 E 142°50'02.67"



データベース画像 2018/08/20
 (過去の竣工記録等)
 ヒワケナイ沢は、積雪方面から当山へ訪れる登山客が必ず通らなければならない川である。毎年渡渉可能かどうかチェックする。雷撃時期や雨天時は渡渉するため、高さがあり、しっかりと踏み石が必要である。



飛び石と飛び石の間が、深いと水音が響いて川幅が広がってしまう(川の取巻を指す)ことがある。それを防ぐために、飛び石の間の溝はなるべく深くする必要がある。



一般取巻画像 2018/09/07
 (上記の説明・情報)
 2018/09/07
 渡渉可能な石が壊れたため、飛び石橋を行った。今シーズン中は大丈夫だと思う。
 ※来シーズンも状況にあわせ、飛び石組みを行う。



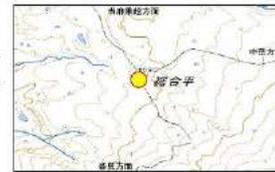
上記の写真の対岸側の写真である。飛び石から橋に上がる法面は、濡れやすくなっており、注意して上る必要がある。

No.8

〈追加情報〉
 図録名: 志の平温泉の池原 土地所有者: 北海道 事業執行者: 釧路省

施工者(報告者): 一般社団法人 大雪山・山守隊
 施工日(発見日): 2018/09/01

GPS位置情報
 N 43°40'45.67"
 E 142°50'33.65"



データベース画像 2018/08/20
 (過去の竣工記録等)
 パール橋(正確にはわづからない)に木道が設置されたようである。



歩行者の足跡は靴いもが使用した。これは既製のものが利用できようであったため、再利用している。既製の足跡は、危険な箇所が多いため、足跡をしっかりと削り、既存の橋と木道をどう繋ぎ合わせるかの検討が必要である。



一般取巻画像 2018/9/4
 (上記の説明・情報)
 2018/09/01
 民間団体による整備イベント(山へ感謝し、お礼)にて、木道を修繕した。木材の表面はすべりやすくなり、来季閉鎖を協議予定。



上記の写真より5mほど進んだ先の木道も修繕した。カスガのみで固定している。

No.9

〈追加情報〉
 図録名: 志の半蔵堂の跡地 土地所有者: 北海道 事業執行者: 道庁管

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳発掘
 施工日(発見日): 2018/10/06

GPS位置情報
N 43°40'43.74"
E 142°50'34.80"



〈過去の施工記録等〉
 この一帯は、雪解けが遅い。また雪解け時期は、登山道一帯が水溜りになってしまったため、登山客は水も枯れようとする。土道を削って行って、ロープを下げるのみにする。新しい時期からロープを撤去し、法面の崩れを防ぐことができないため、10月初旬にはロープ回収を行わなければならない。



〈上記の地図・情報〉
 2018/10/06
 粗糸ロープウェイで偶然お会いしたパークボランティアの方(1名)とロープ回収を実施した。回収したロープは設置している。



〈追加状況写真〉
 写真右側の法面が、登山者に踏まれやすい。植樹復元を目的とした施工を実施しているところであるため、早めのロープ張りが必要である。



回収したロープは左右で長さの違うため、分けて置いてある。赤い帯で囲んであるロープは、総合分岐方向を見て右側、青い帯で囲んであるロープは、左側のロープである。

No.10

〈追加情報〉
 図録名: 志の半蔵堂の跡地 土地所有者: 北海道 事業執行者: 道庁管

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳発掘
 施工日(発見日): 2018/10/06

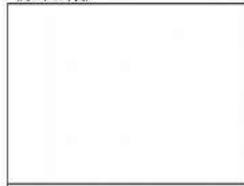
GPS位置情報
N 43°40'21.82"
E 142°50'18.48"



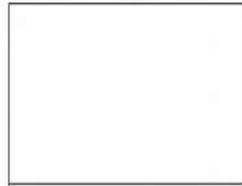
〈過去の施工記録等〉
 発見情報から報告分岐までの区間で、靴一の道標及び休憩地点である。ロープとベンチが設置されている。ロープは毎年外し、撤去する。ベンチは年によって壊す。



〈上記の地図・情報〉
 2018/10/06
 ロープを回収し、鉄杭に引っかけて置いている。ベンチは倒しておいた。



〈追加状況写真〉



〈追加状況写真〉

No.11

〈追加情報〉
 図録名: 中岳岩合線 土地所有者: 北海道 事業執行者: 道庁管

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳発掘
 施工日(発見日): 2018/09/25

GPS位置情報
N 43°40'49.42"
E 142°52'04.08"



〈過去の施工記録等〉
 2006年に道庁の巨額工事によって施工された石組みである。それ以降、月に一度定成植樹が行われている。



〈上記の地図・情報〉
 2018/09/25
 雨れ・グラツキ等の異状は見られない。



〈追加状況写真〉



〈追加状況写真〉

No.12

〈追加情報〉
 図録名: 中岳岩合線 土地所有者: 北海道 事業執行者: 道庁管

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳発掘
 施工日(発見日): 2018/09/25

GPS位置情報
N 43°40'48.57"
E 142°52'19.61"



〈過去の施工記録等〉
 この区間のロープ管理は道庁のパークボランティアが担当している。タイミングによっては遊視業務を請け負っている者がロープを上げ下げしている。



〈上記の地図・情報〉
 2018/09/25
 パークボランティアがロープ下げを実施してくれていた。



〈追加状況写真〉
 間富岳山頂までロープが下がっていた。



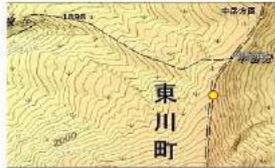
場所によっては鉄杭が使えなくなっているのので、対応すべきである。

No.13

〈追加情報〉
 路線名: 富樫浜美観別荘 土地所有者: 北海道 事業執行者: 環境省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/09/25

GPS位置情報
 N 43°40'42.76"
 E 142°52'18.41"

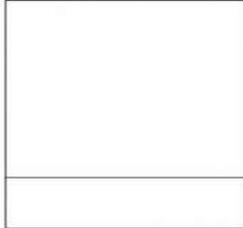
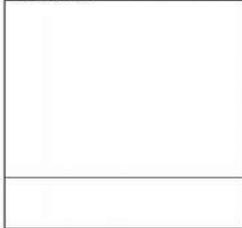


〈過去の施工記録等〉
 同箇所の石垣より上部は、環境省の公共事業により、石組みがされている(詳しい年月は現状不明) 以前崩れた石組みは、状況があった際に手直しされている(送致: 北海道山岳整備)



〈上記の地形・情報〉
 2018/09/25
 崩れ・グラつき等の異状は見られない。

〈周辺状況写真〉



No.14

〈追加情報〉
 路線名: 富樫浜美観別荘 土地所有者: 北海道 事業執行者: 環境省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/09/25

GPS位置情報
 N 43°40'48.32"
 E 142°52'18.82"



〈過去の施工記録等〉
 同箇所の石垣は、環境省の直轄工事にて施工されたところである。
 2018年7月の豪雨以外の大雨により、石垣下部に大規模な崩壊が起きた。雨水による侵食により、地中の土壌が流れてきて空洞ができたことによる、崩壊という見方が強い。



〈上記の地形・情報〉
 2018/09/25
 大規模崩壊に伴い、環境省による同箇所の増設事業が行われた(施工: 北海道山岳整備)
 この増設は目の細かい砂や砂利であるため、透水性のある素材を用いた資材が必要であった。そのためヤシ土嚢とセンサーを用いて施工している。



〈周辺状況写真〉
 データベース画像01_54地点の写真である。ここからの崩落が強い。施工前



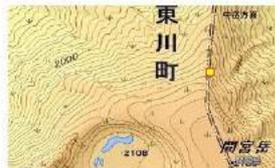
黒い網のようなものが「センサー」である。登山客にはセンサー上を歩いてもらうように、左が歩行道、右が水道と分けている。施工後

No.15

〈追加情報〉
 路線名: 富樫浜美観別荘 土地所有者: 北海道 事業執行者: 環境省

施工者(報告者): 合同会社 北海道山岳整備
 施工日(発見日): 2018/09/25

GPS位置情報
 N 43°40'32.12"
 E 142°52'17.06"

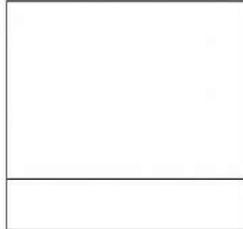
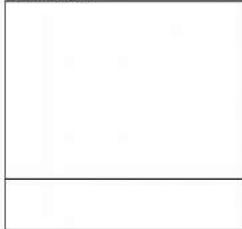


〈過去の施工記録等〉
 同箇所の石垣より上部は、環境省の公共事業により、石組みがされている(詳しい年月は現状不明) 以前崩れた石組みは、状況があった際に手直しされている(送致: 北海道山岳整備)



〈上記の地形・情報〉
 2018/09/25
 崖の下部に大きめの空洞ができていて、グラつきようであれば、急れめように対策する必要がある。

〈周辺状況写真〉



大雪山がいつまでも美しくあるために

大雪山国立公園

携帯トイレ普及宣言



私たちは大雪山の原生的な山岳景観を守るため、トイレ問題の解決に向けて、携帯トイレの普及に取り組んでいます！

登山者の
皆さまに
お願い

- 大雪山国立公園では、携帯トイレを常に持参しましょう。
- 携帯トイレは常設トイレがない箇所で使用しましょう。
- 美瑛富士やトムラウシ南沼では、し尿散乱が大きな問題となっています。避難小屋や野営指定地、水源地では、携帯トイレを必ず使用し、野外にし尿を排出しないようにしましょう。
- 登山道の途中など、問題となっていない場所でも、携帯トイレを使用し、し尿を持ち帰るよう努めましょう。

深刻なトイレ問題

大雪山では、トイレのない避難小屋や野営指定地を中心に、し尿散乱や高山植生の消失が大きな問題になっています。



野営指定地に
散乱するし尿や
ティッシュ



トイレのために
草花が踏まれ、
裸地化

大雪山国立公園 携帯トイレ普及宣言



大雪山国立公園連絡協議会、旭川勤労者山岳会、旭川山岳会、上川山岳会、上富良野十勝岳山岳会、新得山岳会、十勝山岳連盟、美瑛山岳会、富良野山岳会、札幌山岳連盟、日本山岳会北海道支部、日本ヒマラヤ協会北海道、HAT-J北海道支部、北海道勤労者山岳連盟、北海道山岳ガイド協会、北海道山岳連盟、北海道道央地区勤労者山岳連盟、山のトイレを考える会、大雪山国立公園パークボランティア連絡会

私たちは、

1 携帯トイレを適切に使用することで、雄大で原始的な景観と共存する登山を推進します。

【具体的目標】

野外し尿が周囲の自然環境へ大きな影響を与える水源や高山植生帯、または他の登山者に著しい不快感を与える野営指定地では、携帯トイレの使用により野外し尿ゼロを目指します。

2 登山者に快く携帯トイレを使ってもらえるような環境づくりを行います。

【具体的取組】

- ①携帯トイレブースの設置や維持管理を、関係団体が相互に連携、協力して検討します。
- ②携帯トイレの回収体制を維持、強化します。
- ③携帯トイレ回収BOXや販売箇所など、利用者向けの情報発信を行います。



携帯トイレの
販売場所は
こちら



山のトイレ
マップは
こちら

3 登山者に対して携帯トイレの利用を推進するための呼びかけを行います。 (表面をご覧ください)

4 携帯トイレの普及に協力してくれる人の輪を広げます。

【関係機関、団体、事業者のみなさまへのお願い】

- 携帯トイレの普及、利用者向けの情報発信に協力しましょう。
- 宣言の趣旨に賛同し、携帯トイレ普及パートナーになりましょう。
- 利用拠点や登山用品を扱う事業者は、携帯トイレの販売に協力しましょう。
※大雪山国立公園オリジナルパッケージの携帯トイレもあります。
仕入れに関するご連絡は【株式会社りんゆう観光 TEL.01658-5-3031】へ
- ガイド事業者は、自己の客に携帯トイレの使用を働きかけましょう。
- 携帯トイレやアウトドア製品を製作する事業者は、より使いやすい携帯トイレの開発や、携帯トイレを快適に使えるような登山用具を開発し、販売及び普及に努めましょう。



携帯トイレ普及パートナーにご登録ください！

携帯トイレの販売など、普及活動に協力する企業や団体等をパートナーとして登録します。
登録団体とその活動は、大雪山国立公園連絡協議会HP上に掲載し、PRさせていただきます。



登録方法の詳細はHPでご確認ください
<http://www.daisetsuzan.or.jp/toilet/>

様式第 1

大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナー登録申請書

大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナーシップ事業実施規約第 3 条に基づき、大雪山国立公園における携帯トイレの利用推進に係る取組（以下「取組」という。）の案を以下のとおり作成し、同パートナーシップの登録を申請します。

平成 年 月 日

団体等の住所、名称

代表者氏名

㊟

大雪山国立公園連絡協議会長 殿

すでに実施している取組の概要	
当年度末までに実施予定がある取組の概要	※ 2 月 1 日～ 3 月末日までの間に提案を行う場合は、翌年度末までの内容とする。
取組による効果の見込み	※ 可能な限り定量的に記載。
担当者氏名・連絡先	



目的

「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」に賛同し、携帯トイレの普及に協力する団体等を携帯トイレ普及パートナーとして登録。取組の輪を広げることで、トイレ問題の解決を目指します。

登録団体のメリット

大雪山の環境保全に協力することで知名度の向上や事業PRにつながる！



宣言発出団体のメリット

(大雪山国立公園連絡協議会+18団体)

トイレ問題に取り組む仲間が増える！
携帯トイレの一層の普及につながる！



携帯トイレ普及パートナー登録の流れ

携帯トイレ普及のための取組を何かひとつでも行う団体、企業、機関等
【取組例】 携帯トイレの販売を行う、宣言のポスターを掲示しPRする など

取組内容と成果の見込みを様式に記載し、大雪山国立公園連絡協議会へ提出
※様式はHPに掲載 <http://www.daisetsuzan.or.jp/toilet/>

簡単
です！

登録証の交付

大雪山国立公園連絡協議会HPに掲載し、取組をPR！

携帯トイレ普及パートナーに登録をお願いします！

大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナーシップ事業実施規約

大雪山国立公園連絡協議会

平成30年5月11日制定

(目的)

第1条

大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナーシップ事業実施規約（以下「本規約」という。）は、大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナーの登録方法を定め、登録したすべての団体、企業、機関（以下「登録団体等」という。）が遵守すべき事項を定める他、大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナーシップ事業（以下「本事業」という。）するにあたり必要な事項を定めることを目的として制定する。

(事業の趣旨)

第2条

本事業は、大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言の趣旨に則り、大雪山国立公園連絡協議会及び同宣言を大雪山国立公園連絡協議会と共同で行った団体と、団体、企業及び機関（以下「団体等」という。）が相互に協力し、携帯トイレの利用推進を図ることで、雄大で原始的な山岳景観と共存する登山を推進するために実施するものである。

(取組案の提案)

第3条

1 大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナー（以下「パートナー」という。）の登録を求める団体等（以下「登録希望団体等」という。）は、次項に掲げる項目を記載した当該企業等の携帯トイレの利用推進に係る取組（今後実施予定の取組を含む。以下「取組」という。）を作成し、大雪山国立公園連絡協議会長に申請することができる。申請書は、別記様式第1によることとする。ただし、登録希望団体等は、次の各号のいずれにも該当することを要件とする。

(1) 政治団体又は宗教団体でないこと。

(2) 役員等が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）若しくは暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者でないこと。

2 取組には、以下の項目を記載する。

(1) 取組の概要。ただし、今後実施予定の取組については、申請の日から当年度末までに実施予定があるものに限る。

(2) (1) の取組による効果の見込み

(パートナーの登録)

第4条

- 1 大雪山国立公園連絡協議会長は、前条による申請があった場合において、申請書に記載された取組が、次の各号の要件に該当すると認められるときは、その登録希望団体等とパートナーとして登録することができる。
 - (1) 大雪山国立公園における携帯トイレの利用推進に資するものであること
 - (2) 取組の内容が具体的であり、実現性が認められること
- 2 パートナーの登録は、大雪山国立公園連絡協議会長が登録証を発行することにより発効する。

(シンボルマークの使用)

第5条

パートナー企業等は、「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言シンボルマーク使用規約」(以下「シンボルマーク使用規約」という。)に従い、大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言シンボルマークを無償で使用することができる。

(取組実績の報告等)

第6条

- 1 登録団体等は、大雪山国立公園連絡協議会会長が、当年度の取組実績(大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言シンボルマークの使用実績等を含む。)及び取組による効果について、報告をもとめた場合これに回答する必要がある。
- 2 前項に基づき報告された内容は、大雪山国立公園連絡協議会のホームページ、SNS等により、公表することがある。

(登録の期間)

第7条

- 1 第4条第1項の登録の有効期間は、登録した日から当年度末日までとする。ただし、期間満了の2ヶ月前までに特段の意思表示がない場合には、1年間更新する。
- 2 前項の規定は、パートナーの登録をさらに更新する場合にも準用する。

(是正の要求)

第8条

大雪山国立公園連絡協議会長は、登録団体等又はその関係者が、次のいずれかに該当する場合、当該登録団体等に対し、是正を求めることがある。

- (1) 本規約に違反し、またはその疑いがあると認められる場合
- (2) シンボルマーク使用規約に違反し、またはその疑いがあると認められる場合
- (3) その他、本事業の趣旨に反する行為を行い、またはその疑いがあると認めら

れる場合

(パートナーシップの解消等)

第9条

- 1 大雪山国立公園連絡協議会長は、次に掲げる場合には、パートナーの登録を解消することができる。
 - (1) 不正の手段により第4条第1項の締結を行った場合
 - (2) 第6条第1項の報告が行われないなど、登録団体等の取組が不十分であると認められた場合
 - (3) 登録団体等に重大な法令違反又は公序良俗違反が認められた場合
 - (4) 大雪山国立公園連絡協議会長からの是正の要求に応じなかった場合
 - (5) その他、解消に合理的な理由があると大雪山国立公園連絡協議会長が認めた場合
- 2 次に掲げるときには、パートナーシップは効力を失う。
 - (1) 大雪山国立公園連絡協議会長が前項の規定に基づきパートナーの登録を解消する旨、パートナー企業等に伝達したとき
 - (2) 倒産、解散、合併その他の理由により登録団体等が消滅したとき
 - (3) 登録団体等がパートナーの登録の解消を申し出て、大雪山国立公園連絡協議会長との間で合意が得られたとき
- 3 登録団体等は、前項第2号に該当するに至ったときは、その旨を大雪山国立公園連絡協議会長に報告しなければならない。

(規約の改訂等)

第10条

- 1 本規約は、大雪山国立公園連絡協議会により必要に応じて改訂される場合がある。その場合は、改訂後に登録団体等に通知する。
- 2 本規約の改訂により登録団体等に不利益が生じた場合も、大雪山国立公園連絡協議会はその責任を負うものではない。

附則

本規約は、平成30年5月11日から施行する。

平成 30 年 5 月 31 日

大雪山国立公園 登山道関係者のみなさま

大雪山国立公園連絡協議会
(事務局：上川・東川・上士幌自然保護官事務所)

「大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ」の販売に関するご案内

自然公園行政の推進につきましては、日頃より御理解、御協力をいただき、感謝申し上げます。
さて、大雪山国立公園連絡協議会では、携帯トイレの普及を進めるため、平成 29 年度に「大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ」を作成いたしました。

平成 30 年度からは大雪山地域を代表して、平成 29 年度に多くの販売実績があった株式会社りんゆう観光様にメーカーからの仕入れを一括で実施いただくこととなりましたので、お知らせいたします。

携帯トイレの本格的普及を進めるためには、携帯トイレが登山装備品と同様に位置づけられること、また、携帯トイレの普及体制の継続性を確保する必要があります。そのためには、民間の手によって自律的に流通することが重要と考えています。

つきましては、各関係団体・事業者のみなさまにおいて、「大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ」を購入する場合は、下記窓口までご連絡ください。

また、販売いただける可能性のある団体・事業者に周知にご協力いただくとともに、販売の意向を持つ事業者があれば、下記連絡窓口まであわせてご一報をお願いいたします。

大雪山国立公園が抱える山岳地のトイレ問題解決のため、携帯トイレの販売に積極的なご協力をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

大雪山国立公園オリジナル携帯トイレに関する連絡窓口

株式会社りんゆう観光 層雲峡事業所（担当：白石氏）

〒078-1701 北海道上川郡上川町層雲峡

TEL. 01658-5-3031 FAX. 01658-5-3019

※価格（税込み）：1 個 3 5 0 円（送料別途）※最小販売単位：5 個

＜本状連絡先＞

大雪山国立公園連絡協議会事務局

環境省 上川自然保護官事務所 首席自然保護官 榎 厚生

〒078-1741 上川郡上川町中央町 603

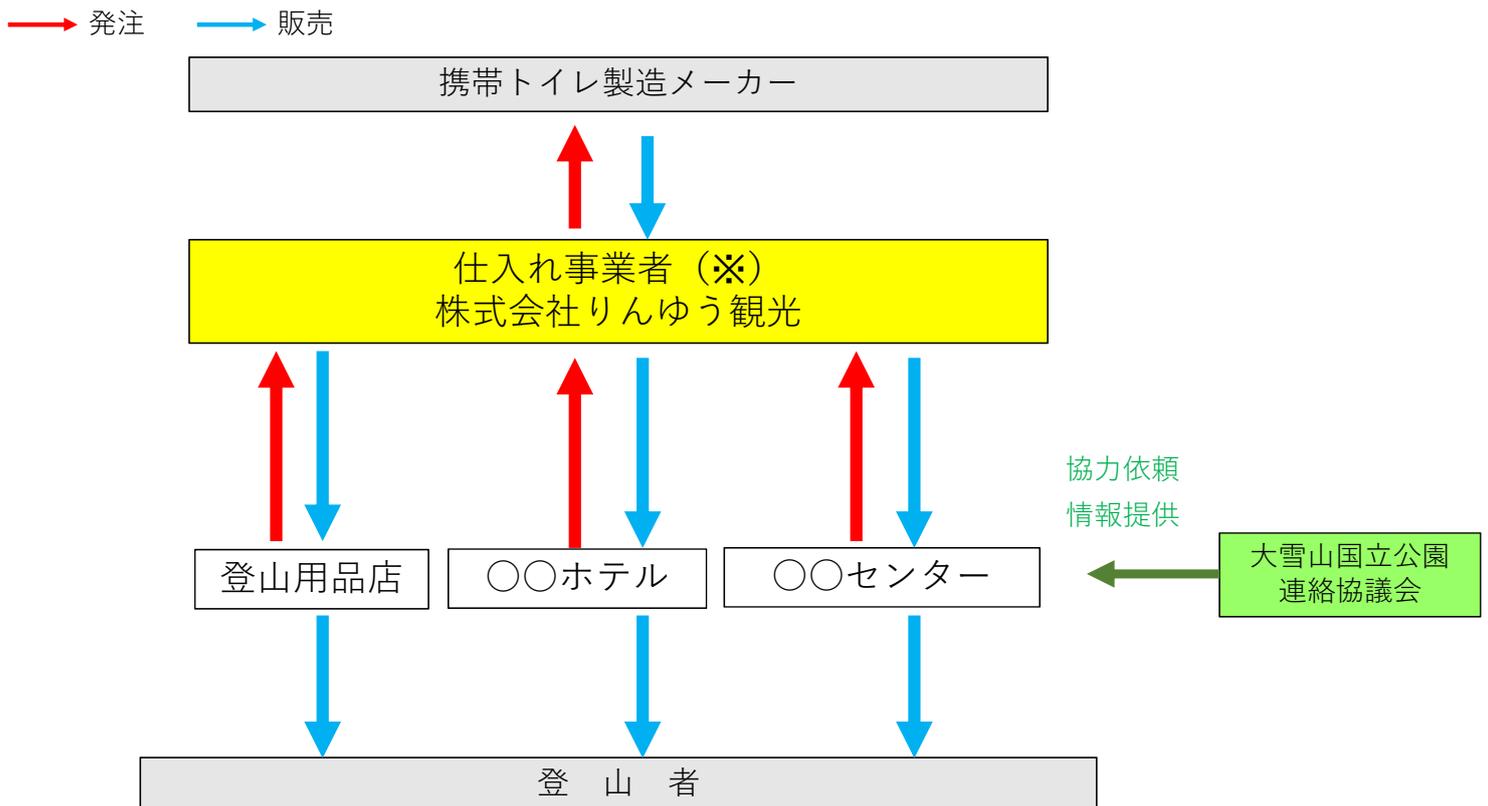
TEL. 01658-2-2574 FAX. 01658-2-2681

MAIL. KOUSEI_MASU@env. go. jp

大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ



大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ販売体制 (平成30年度～)



(※) 例えば、知床国立公園では安田商事株式会社様が、屋久島国立公園では屋久島観光協会様が、仕入れ事業者となっています。

平成 30 年度 大雪山国立公園における主な活動実績

地域政策推進事業

■ 自然観察会

- 1 目的: 山岳トイレや登山道侵食等の問題を認識するという環境保全意識の醸成を図るとともに、高山植物や広大な風景などの魅力をPRする自然観察会を実施。
- 2 対象: 登山初心者を中心とした一般公園利用者
- 3 実施内容: 高山植物の保護・山岳トイレの現状・登山道の荒廃状況等についての事前レクチャー・施設概要説明・維持管理作業及び啓発活動等の実施など、環境保全を中心とした山岳ツアー
- 4 実施結果: 下記のとおり

	コース	実施日	募集期間	募集人数	応募人数	採用人数	実施人数		備考	
							一般人数	ガイド 対応職員数		
①	黒岳～間宮岳～裾合平コース	7/21(土)	7/3(火)～7/12(木)	12	15	12	17	12	佐久間弘氏 職員4名	
②	大雪高原温泉沼めぐり・ヒグマ観察コース	7/28(土)	7/9(月)～7/19(木)	17	30	17	21	17	山本牧氏 職員3名	
③	美瑛富士 山のトイレ問題を学ぶ1	8/4(土)	7/17(火)～7/26(木)	12	17	12	18	12	双樹智道氏 環境省 斎藤明光氏 職員4名	
④	黒岳・お鉢平 山のトイレ問題を学ぶ2	8/25(土)	8/6(月)～8/16(木)	15	15	15			濱田耕二氏	台風の影響により中止
⑤	スノーシューツアーin東川町	1/19(土)	12/18(火)～1/9(水)	15					鳥羽晃一氏	
合計				71	77	56	56	41	15	-

■ 登山道保全技術セミナー

- 1 目 的：登山道の浸食・拡幅・複線化等、登山道の荒廃が大雪山国立公園内において顕在化している一方で、広大かつ山深い大雪山の登山道を行政機関だけで適切な維持管理を実施していくことは限界があることを背景に、ボランティア等による協働型管理の取組みが始まっている。
 このような状況の中、山岳関係者や一般登山者を対象とした登山道保全技術セミナーを実施し、登山道荒廃のメカニズムを理解したうえで、適切な登山道補修整備に従事できる人材育成を図る。
- 2 実 施 者：北海道上川総合振興局が大雪山・山守隊に委託して実施
- 3 協 力 者：黒岳お鉢平：株式会社りんゆう観光、大雪山国立公園上川地区登山道連絡協議会、環境省 上川自然保護官事務所、環境省東川自然保護官事務所、上川中部森林管理署、上川町役場、層雲峡ビジターセンター、おかファーム、層雲峡ホテルほか
 旭岳裾合平：旭岳ロープウェイ、医療法人 社団 創成、環境省上川自然保護官事務所、環境省東川自然保護官事務所、YAMA tune、(株) トップ・クリエーション、おかファームほか
- 4 対 象：一般登山者、山岳会、関係行政機関等の山岳関係者
- 5 内 容：荒廃した登山道区間のうち、実施場所の中からアクセス面、適した補修方法等を考慮して具体的なセミナー実施適地を選定し、導流工、路面保護、法面保護等の保全技術について実践作業を通じて参加者の理解促進及び技術習得を図る。
- 6 実施結果：下記表のとおり

	場所	実施日	参加人数	(内訳)	
				一般登山者 人数	山岳関係者 人数
①	たまには山へ恩返しin黒岳 (黒岳雲の平)	8/18(土)	71	56	15
②	たまには山へ恩返しin旭岳 (旭岳裾合平)	9/1(土)	53	39	14

例年実施しているもの

■ 高山植物保護対策事業（高山植物盗掘防止パトロール及び監視活動）

	実施場所	実施日	協力者(局以外)	合計人数	備考
①	銀泉台～赤岳～小泉岳				実施なし
②	天塩岳往復				実施なし

■ 自然公園施設維持管理

自然公園内に所在する北海道管理の各種施設（公衆トイレ・避難小屋(トイレ含む)ほか）について、適宜維持管理を実施。

参考：平成30年度黒岳トイレ維持管理

供用期間：6/20(水)～10/4(木)

清掃（汲み取り）：7/17～9/21の期間については、当該トイレの維持管理作業をNPOかむいに委託

■ 自然公園利用者指導

自然公園利用者に対し、適正な公園利用や環境保全意識の理解促進を促すため、次のとおり実施するとともに、必要に応じ職員による指導業務を実施。

（高原温泉地区利用者指導業務（受託者：風の便り工房）、旭岳ビジターセンター管理運営委託業務（受託者：東川町）等）

歩道維持管理作業実施報告書

計画者	富良野山岳会
担当者	山名賢一
	電子メール k.yamana@snow.plala.or.jp
	電話番号 090-2699-4331
作業日時	平成30年6月10日(日)
参加人数	26名
施行内容	原始ヶ原・富良野岳 登山道整備作業
<p>実施結果</p> <p>[I] 例年6月第3日曜日に、原始ヶ原・富良野岳の山開きを実施している。 その1週間前にコース整備を実施している。</p> <p>作業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、市道から登山口山小屋まで、大型バスの通行に支障の無いよう道路沿いの支障木除去及び枝払いを、チェーンソーで実施。 2、刈払機でササ刈払い除去。刈払機は個人所有とリースを使用。 3、チェーンソーで風倒木を伐採・除去処理。チェーンソーは個人所有。 4、案内看板の補修整備。 5、崖崩れ等危険箇所・コース案内用赤テープ付け。 <p>参加者名簿 ※参加者には当会で障害保険に加入している。</p> <p>(男) 秋葉・山名・水間・久保・阿部・青木・池内・南部・鈴木・渡邊・中村・大井・兼平・宮本・垣内・</p> <p>(女) 大屋・畑嶋・山本・田島・千葉・平間・渡辺・小川・金一・玉木・近田・ 26名</p> <p>[II] 今後必要な登山道対応 <重要な整備計画></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、原始ヶ原 滝コースの丸太橋(2ヶ所)の整備。 平成28年8月の台風・河川氾濫により丸太橋が流失し、滝コースは通行止めとしている。 橋周辺には適当な立木が無く、今後は「吊り橋」又は「永久橋」の設置が必要である。登山者からの要望もある。 	
記録担当者	山名賢一

2018年12月18日

2018年 山のトイレを考える会からの活動報告

1. 美瑛富士・携帯トイレシステム試行4年目の実施

2017年に引き続き環境省東川自然保護官事務所等と美瑛富士トイレ管理連絡会（北海道の山岳9団体）が協働し、美瑛富士避難小屋の携帯トイレブースの点検パトロールを実施しました。荒天で中止の団体もありましたが、環境省の協力もあり全部で9回実施することができました。

今年も9月5日の台風によってブースが倒壊、9月14日に環境省で再設置しました。

環境省東川自然保護官事務所、北海道の山岳9団体、回収ボックスの維持管理、使用済み携帯トイレの処分を引き受けて頂いた美瑛町と上富良野町の関係者の皆さま、そして涸沢林道のゲート番号問い合わせ時に登山者に携帯トイレの使用を呼びかけていただいた旭川中部森林管理署に感謝申し上げます。



携帯トイレブースの設置を終えて



3年連続でブースが強風で倒壊

[2018年 点検パトロール実施結果]

6月24日（日）	ブース設置（環境省 他）	8月19日（日）	荒天のため中止
7月9日（日）	荒天のため中止	8月20日（月）	日本山岳会北海道支部
7月14日（土）	大雪山国立公園 PV 連絡会	9月2日（日）	道央地区勤労者山岳連盟
7月22日（日）	札幌山岳連盟	9月14日（金）	環境省（ブース倒壊、再設置）
7月29日（日）	北海道山岳連盟	9月19日（水）	北海道山岳ガイド協会
8月4日（土）	道北地区勤労者山岳連盟	9月29日（土）	ブース撤去（環境省）

また、美瑛富士避難小屋に無料の携帯トイレを配備（150個用意）し、携帯トイレを所持していない登山者に使用してもらう試みを行いました。各山岳団体に不足分をその都度補充、113個が持ち出されました。ティッシュや汚物の散乱減少と認知度向上に寄与したと考えています。

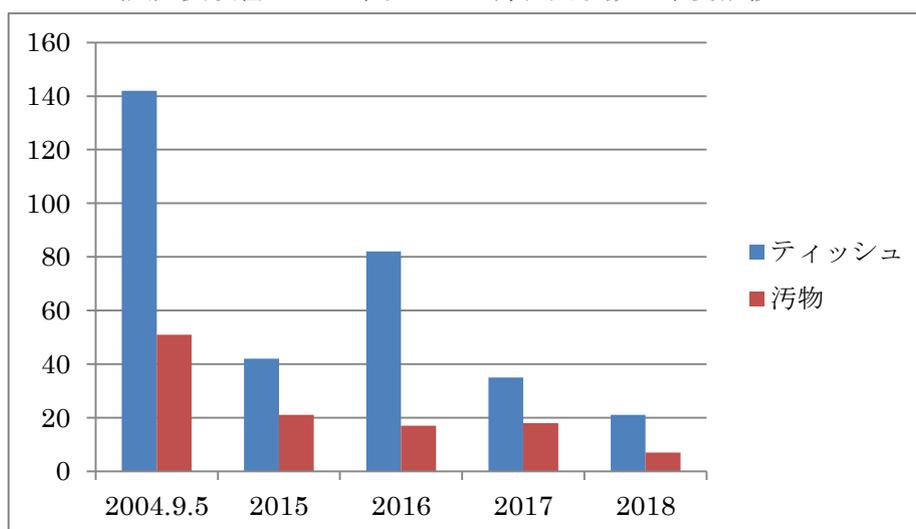
2. 美瑛富士のティッシュと汚物は減ったか？

2015年から試行実施して4年目が終わりました。果たしてティッシュや汚物の散乱は以前と比較して減ったのでしょうか。2004年9月5日に山のトイレを考える会で清掃登山を実施しました。この時はティッシュ142個、汚物51個を回収しました。

今年はティッシュ21個、汚物7個を回収。この4年間の回収数は2004年と比較するとかなり減ってきており、携帯トイレブースや回収ボックスの設置と広報等いろいろな施策の結果と思います。

携帯トイレの所持率を上げるため、使用し易い環境整備と広報そして地道な啓発活動を続けていきます。

(図) 美瑛富士のティッシュと汚物回収数の年度推移



2. トムラウシ南沼汚名返上プロジェクトに協力

1) 十勝総合振興局環境生活課が事務局になって昨年4月に発足した「トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト」の2年目の事業の一つであるアンケート調査に協力しました。

7月28日～29日、トムラウシ南沼でのアンケート調査では19枚回収、携帯トイレブースの使用動向調査も併せて実施しました。

昨年同様、トムラウシ少年グリーンクラブの23人パーティの小中学生10人がテント泊登山者に携帯トイレを配布していました。



トムラウシ南沼のアンケート調査



トムラウシ少年グリーンクラブの皆さんと

2) 大雪山国立公園上川地区登山道維持管理連絡協議会（以下協議会）との協働

協議会にお願いして白雲岳避難小屋用に携帯トイレ250個を考える会から提供しました。必要とする登山者（トムラウシ南沼方面縦走者等）から協力金を頂いて提供し、所持率を向上する試みです。トムラ方面の縦走者は携帯トイレ所持者が多く、白雲岳避難小屋での提供は少なかったようです。

3) 東川町大雪山国立公園保護協会（以下保護協会）との協働

昨年同様、旭岳ロープウェイ姿見駅で、保護協会から登山者等へのレクチャーを受託しているNPO法人大雪山自然学校が啓発用のパネルを掲示、特に縦走登山者（トムラウシ南沼方面等）に対し携帯トイレの所持を呼びかけて頂きました。

3. 大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言について

私たちの念願であった「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が大雪山国立公園連絡協議会と北海道の18山岳団体共同で7月10日、上川町の大雪山のガーデンにて発表されました。この宣言について「山と溪谷社」から投稿依頼があり、8月号に別紙の記事を掲載させていただきました。

4. 2018全道一斉山のトイレデーファイナルを実施

多くの皆さまに支えられ2001年から毎年実施してきた山のトイレデー。「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が発表されたことを契機に今年を最終回としました。

9月2日に北海道の15箇所の登山口で、山のトイレマナー袋やトイレマップを配布、トイレ紙やゴミを拾う清掃登山を行いました。参加者は46名。山のトイレマップ307部、山のトイレマナーガイド194部、山のトイレマナー袋407袋、マナーカード41枚を配布することができました。



ニセコアンヌプリでのトイレデー



利尻山でのトイレデー

(以上)

COLUMN

大雪山国立公園 山のトイレを考える

1市9町というエリアに広がる大雪山国立公園。登山者の誰にも関係がある山のトイレ問題への取り組みを紹介する。
黒尾めぐみ(本誌)構成・文 山のトイレを考える会(写真提供)



美瑛富士避難小屋周辺に散乱する、トイレ紙の回収活動

日 本の国立公園で最も広大な面積を誇る、北海道の大雪山国立公園。道内最高峰の旭岳を擁する大雪山火群をはじめとする山岳地帯である。1934年の制定以降、大自然に触れることのできる場として、多くの観光客や登山者にぎわってきた。その一方で懸念事項になっているのはトイレ問題だ。

90年代の中高年登山ブームによって、大雪山などの有名山岳地へ登山者が集中。トイレ設備が整っていないエリアも多く、トイレ紙の散乱、し尿による水質・土壌の汚染、登山道を外れた場所での用を足すための踏み込みで裸地が拡大するなど、数々の問題が顕在化したのである。

こうした山のトイレ問題を受け、山岳環境の改善をめざして活動する団体がある。札幌市に事務局を置く「山のトイレを考える会」だ。2000年の設立から、清掃登山や登山口でのトイレマナーの呼びかけ活動、意見交換や課題の共有の場としての「山のトイレフォーラム」を開催してきた。

北海道の山岳地帯のなかでも特に深刻なトイレ問題を抱えるのが、トムラウシ・南沼野营地と美瑛富士避難小屋。会では過去に、深刻な状況の場所へのトイレ設置を要請する署名を環境省に提出。しかし、トイレ棟を建てるための費用や維持管理がネックとなり、断念。14年、登山者へ携帯トイレを周知し適切に使用してもらって環境改善をめざす方向へ舵を切ることとなった。そして18年7月10日、環境省、北海



「山のトイレフォーラム」のようす

道、周辺の1市9町で構成される大雪山国立公園連絡協議会と会などの山岳関係18団体から「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が発表された。この宣言では、国立公園内で適切に携帯トイレを使用することのほか、登山者が携帯トイレを使いやすいようブースや回収ボックスの設置を進めること、携帯トイレの普及への協力者を増やすことなどが盛り込まれている。

「山のトイレを考える会」事務局長の仲俣善雄さんは「携帯トイレを使う人も回収する人も気持ちのよい仕組みを構築できるよう、今後も取り組んでいきたい」と話す。登山者の誰にとっても他人事ではない山のトイレ問題。それぞれが考えていく必要があるだろう。

環境省設置の美瑛富士避難小屋のテント型携帯トイレブース。維持管理は、道内の山岳9団体が行っている



山のトイレを考える会

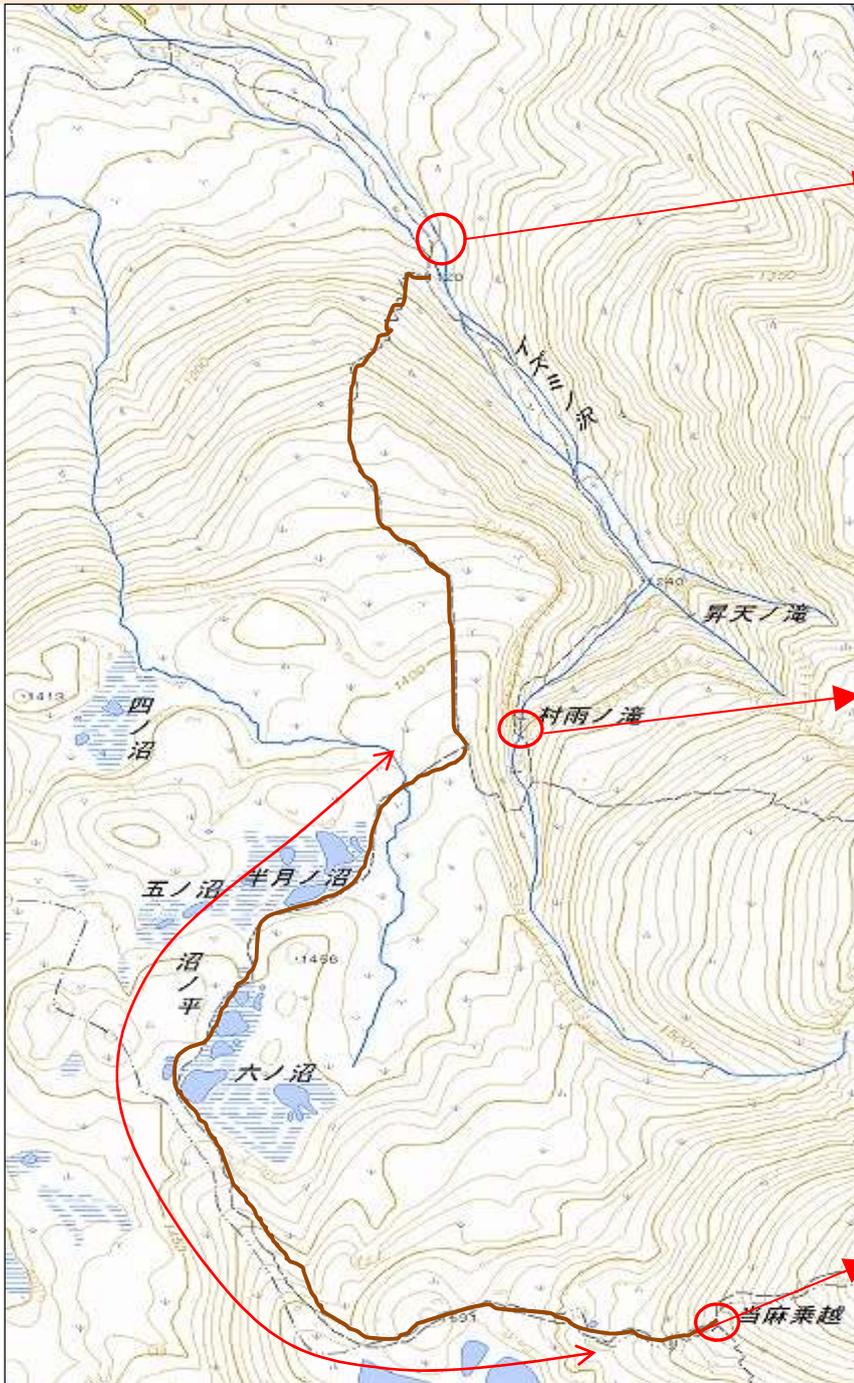
山岳環境の改善をめざして、登山者や山岳ガイド、研究者などの有志が集まり2000年設立。10人の事務局運営員と、132人の個人会員、民間会社、山岳会など14の団体会員からなる。2016年度の日本山岳遺産認定団体に認定。



合同会社 北海道山岳整備

2018年度 活動報告書

今期活動内容
愛山溪・裾合平・当麻乗越・間宮岳・沼の原等 巡視業務
中岳分岐～間宮岳 登山道整備業務
トムラウシカムイ天上 登山道整備業務
美瑛富士携帯トイレブース設置回収業務
トムラウシ南沼植生復元「汚名返上プロジェクト」復元業務
「たまには山へ恩返しin黒岳」技術講師
「たまには山へ恩返しin旭岳」技術講師
「たまには山へ恩返しinトムラウシ」技術講師
東川愛護少年団講習会 講師



イズミノ沢に架かる橋
 昨年からの曲がりが増している。
 ロープ手すりを設置し、歩行は可能。



滑落による死亡事故が発生。
 滝の脇の急斜面についたルートは残雪期は非常に危険な個所
 だった。危険性に関して、関係者は知っていることでも、登山者
 に告知できなかったことが非常に悔やまれる。



当麻乗越の標柱に愛山溪温泉の通行止め情報を表示（環
 境省）。10月に回収。
 英語等4か国語表記で、外国人にも対応した表示板。



一部ササが伸び始めている。

歩行に大きな支障はないが、来期以降の刈り払いが望まれる。

7月中旬の豪雨により、愛山溪温泉までの町道が通行止めになり、今期は開通する
 ことは無かった。その後数回の巡視を行なったが登山道には大きな問題は見られない。来
 期の8月頃に開通予定との情報あり。



7月初旬まではヒグマと遭遇した登山者あり。
 8月以降の巡視でも足跡やフンがあり、気配は多かつ
 た。



全域にわたって刈り払い（機械刈り）が完了。



ピウケナイ沢の渡渉。
昨年までの飛び石が完全に流されていたが、
チェンブロックを使用し大きい石材を使って飛び石を施工。



7月初旬の豪雨により中岳温泉の位置が変わった。
川の流れる位置も変わり、登山道に入り込んでいる場
所もあり、今後の対応が必要。



2016、2017年に行なった侵食防止のヤシネット施工に植生復元を多々確認。2年目の植物もあり、凍上にも耐えたようだ。



7月初旬の豪雨により大きく崩壊した間宮城周辺。距離40mほどが侵食されており、場所によっては1.5mほどの陥没状態になっている。
 侵食箇所の過去の対比を行ない情報発信し、北海道大学の先生に協力を仰ぎ状況判断をしていただき、環境省東川事務所が急きょに施工業務を発注。
 土壌の移動防止施工を行ない、今後流水侵食が起きても土壌流出を防ぐことを想定している。今後もモニタリングをしつつ追加施工を行なっていくことが望まれる。



中岳分岐～間宮岳 登山道補修



・7月初旬の豪雨により大規模に崩壊した登山道。最大1.5mほどが陥没するようになり、垂直に切り立った法面は更なる侵食の可能性が高かった。

・今後流水侵食が起きても大規模な土壌流出を防ぐため、流れ出た土壌を少しでも戻し、今後の崩れと土留めを考えた施工を行った。

・約37mの侵食距離に対し、今期は22mの施工を緊急的に行なった。

土留めやテナーに使用する土砂は、今回の侵食で流され、中岳分岐付近に溜まっているものを使用。

ヤシ土嚢とともに、テナーと呼ばれる強化プラスチックの土留め資材を使用。



人みちと水みちを分離。
水みちには土砂が溜まるように土留めを配置。



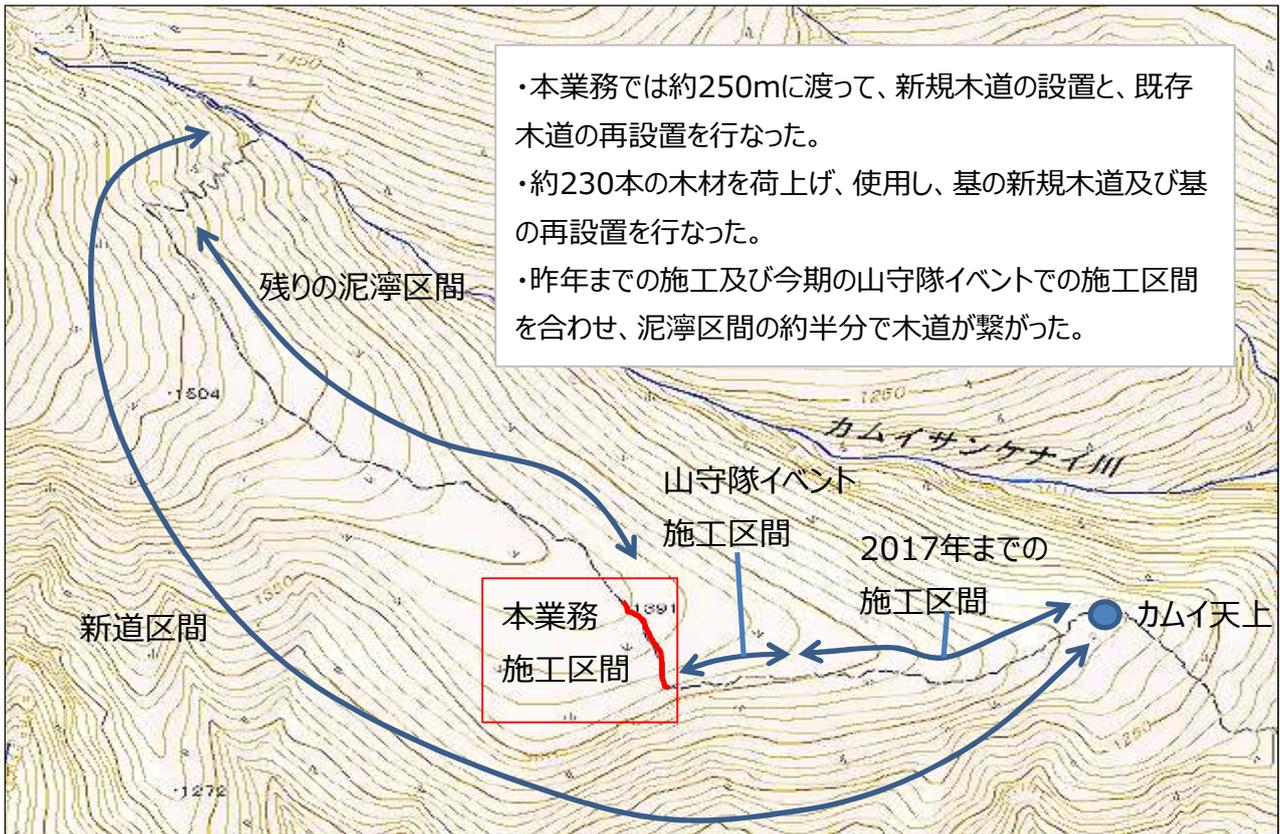
崩れの片側を埋め立てて人みちとした。
人みちは法面の土留めになるように片側に寄せて配置。



今後の流水による土壌流出が土留めで留まるように深さある土留めを配置。

過去の事例から、砂礫の流水侵食箇所に石材や木材などを使用した場合、流水は硬いものを避けて柔らかい場所を侵食することが考えられたため、砂礫を活用できる資材を使用し、浸透を考えた施工とした。できるだけ現地の環境と同じくなるような施工が望ましいと考えた。

トムラウシカムイ天上ぬかるみ防止



今期は降雨が少なく、シーズン中もぬかるむことが少なかったが、ぬかるむことが多い紅葉時期に出会った地元登山者の方からはぬかるみの改善が進んでいるという声を多く聞いた。また「新道区間の上部のぬかるみがひどい」、という声が多かったが、圧倒的に激しいぬかるみだった下部が改善されたことにより上部のぬかるみが目立つようになったと考えられる。昨年までに改善された個所では、法面に植物の復元も見られ、今後の変化が期待できる。

美瑛富士携帯トイレブース設置回収



設置日：2017年6月24日（日）

作業者 合同会社 北海道山岳整備 3名

作業・同行者 環境省東川自然保護官事務所
美瑛山岳会
山のトイレを考える会
朝日新聞旭川市局



撤去日：2017年9月29日（土）

作業者 合同会社 北海道山岳整備

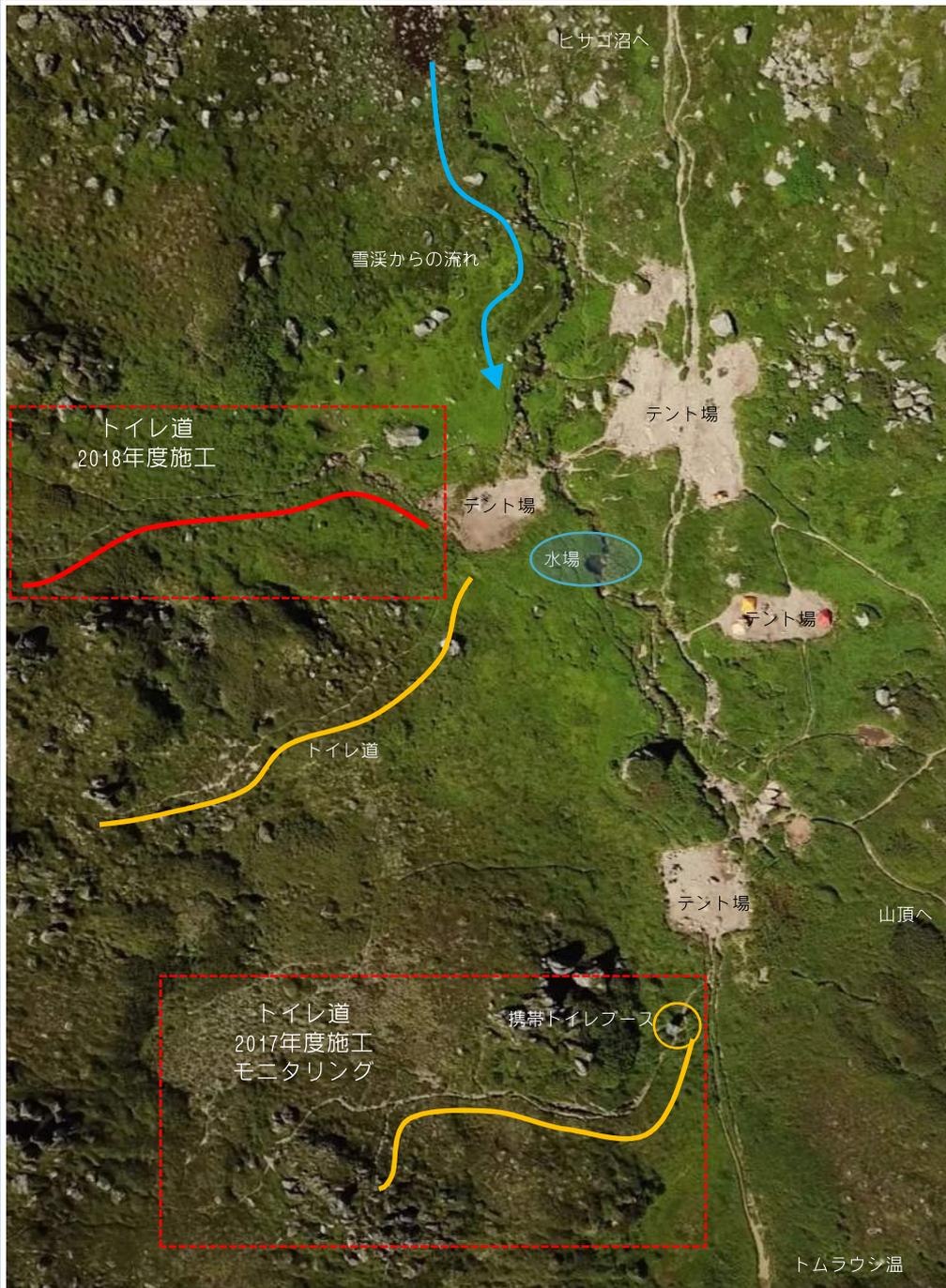
作業・同行者 環境省自然保護官事務所

9月初旬に北海道に上陸した台風により倒壊、9月14日に
代替りのブースを環境省東川自然保護官事務所が設置。

29日に回収。

3年連続で倒壊。テントは強風に弱い。また、携帯トイレブースとしても狭い。
しっかりとしたブースになることが望まれる。

トムラウシ南沼野営指定地植生復元業務



<南沼野営指定地空撮>

・2017年にヤシネットによる植生復元工を行ない、2年目の復元施工と前年のモニタリング。

・夏季、紅葉時期2回のモニタリングと紅葉時期に今期の施工を行なった。

・モニタリングによる前年施工の判断結果から、今期の施工手法を検討し、野営指定地周辺にある数本のトイレ道のうち、1本のルートで施工。

・許可を得てドローンでの記録を行なった。

<今期の施工箇所（トイレ道）>



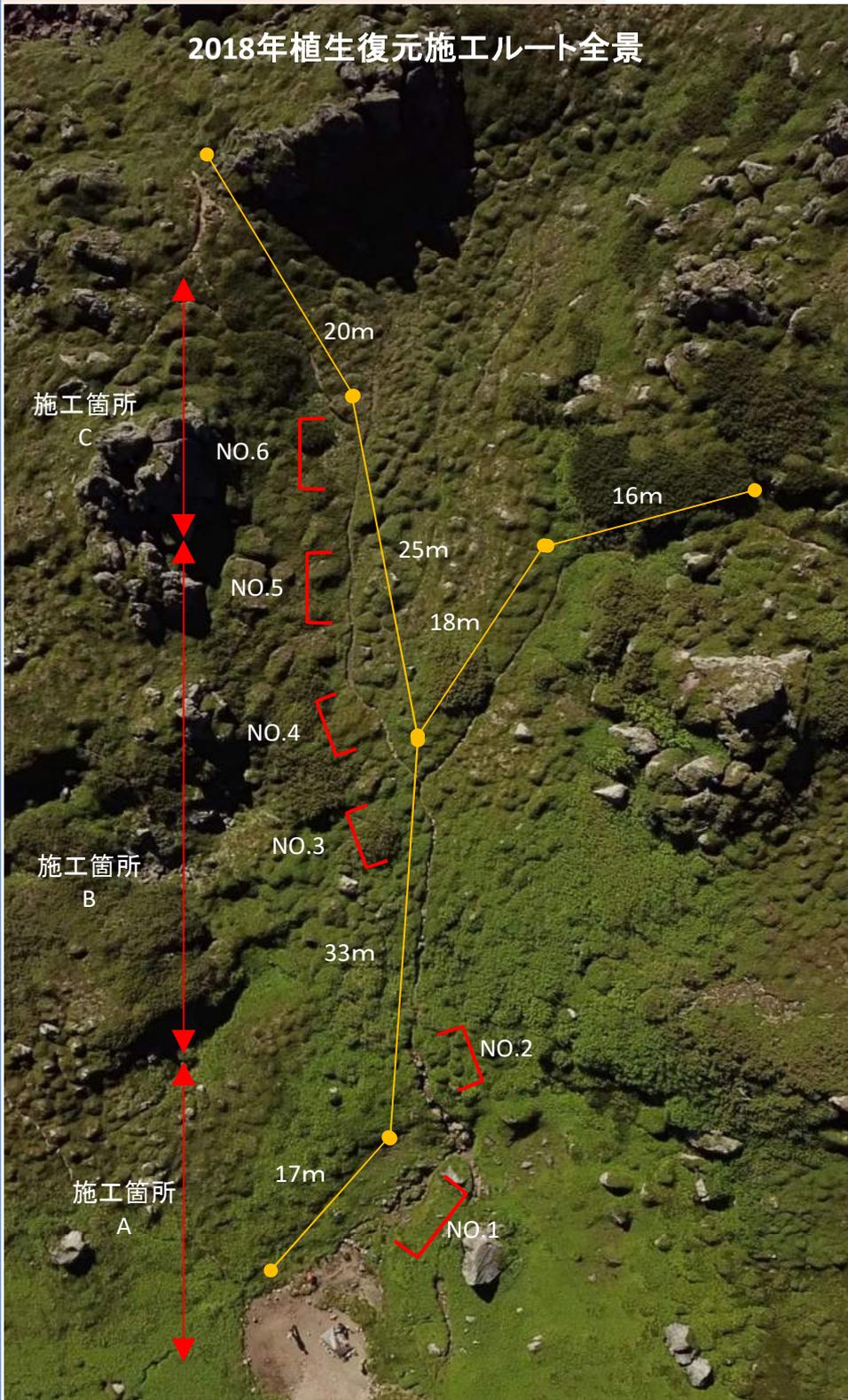
<2017年施工箇所&モニタリング>

・前年度の施工をモニタリングすることで、「何が、どのように、なぜ」変化したのかを記録、検討し、2018年の施工に繋げることを目標とした。

・施工により、復元への変化が起きた場所と、全く変化しなかった場所、以前と同じように侵食が進んだ場所等があり、同じ施工をしても周辺の環境により結果が大きく違うことがわかった。



2018年植生復元施工ルート全景



・ヤシネットに土壌を巻き込んだものを土留めとして使用。



・ヤシネットを何も入れずに丸めたものを土留めとして設置。

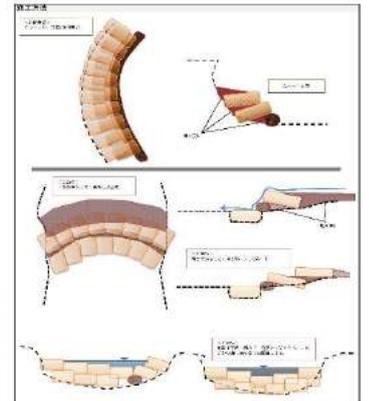
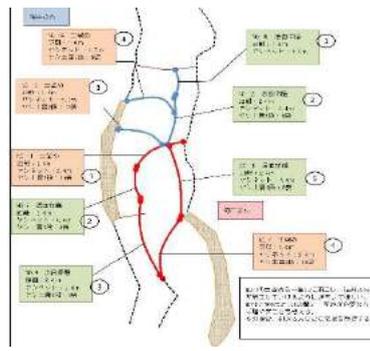


・土壌堆積が起きている場所には、上部で土留めをするとともに、流水と一緒に流れてくる種子を受け止めることを考えてヤシネットを丸めたものを広範囲に設置。

・引っかけた種子からの発芽を期待している。

「たまには山へ恩返しin黒岳」 技術講師

- ・8月18日昨年に引き続き、黒岳（雲の平）で行なわれた整備イベント。
- ・2016年の大規模な侵食があり、昨年は法面保護、今年は路床の保護を行なった。
- 約70人が問題なく作業できるように段取りを行なった。
- ・施工前に、侵食原因を解説。なぜ施工が必要なのかを理解してもらい、作業に当たった。
- ・70名を数班に分け、各班長は前もって下見をし、図面を渡し、参加者が作業内容を理解できるように段取りを行なう。



「たまには山へ恩返しinトムラウシ」 技術講師

- ・7月21.22日トムラウシで行なわれた整備イベント。
- ・カムイ天上上部の泥濘区間に小規模な木道を設置するため、木道組上げ手順や設置場所、設置のコツ等々を指導。
- ・約250m、89基の木道を設置。



「たまには山へ恩返しin旭岳」 技術講師

- ・9月1日に裾合平で行なわれた整備イベント。前もって施工イメージ図を作り、当日は各班長に指示。
55名の作業者を4班に分けて作業。参加者に指示がいきわたるように配慮。
- ・ヤシネットによる法面保護、ジオウェブによる路床保護、木道再設置、崩れた木道の撤去などを指導した。

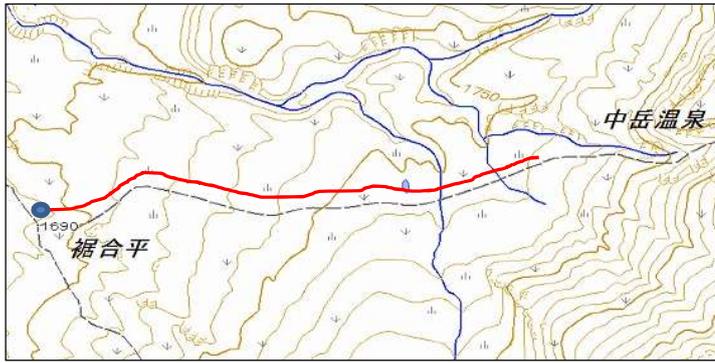
イメージ図



施工後



東川愛護少年団講習会 講師



- ・東川愛護少年団（東川町内中学生、先生、エコツーリズム協議会）との登山道管理に関する講座。
- ・登山道の管理とはゴミ拾いやロープ張りだけでなく、調査・設計・整備・モニタリングなど様々にある。昨年は少年団活動の中で実際の整備を体験してもらい、今期は調査を体験する講座とした。
- ・当日は悪天候のため屋内講習となったが、goproでの動画とドローンでの調査票を見つつ、裾合平分岐～中岳温泉間のすべての木道を調査することができた。
- ・この調査結果は、北海道山岳整備がとりまとめ、後日北海道に提出する予定。
- ※ドローン撮影はエコツーリズム協議会大塚氏と山守隊が行なった。



裾合平 木道調査

Aランク

ほぼ崩れがなく、問題なく歩ける



Bランク

崩れがあり、腐食は進んでいるが気にせずに歩ける



裾合平 木道調査

Cランク

木道の半分以上が崩れ、歩行に危険を感じる。注意しながら歩く状態



Dランク

木道のほとんどが崩れ、危険立ち止まり木道を降りて歩く状態



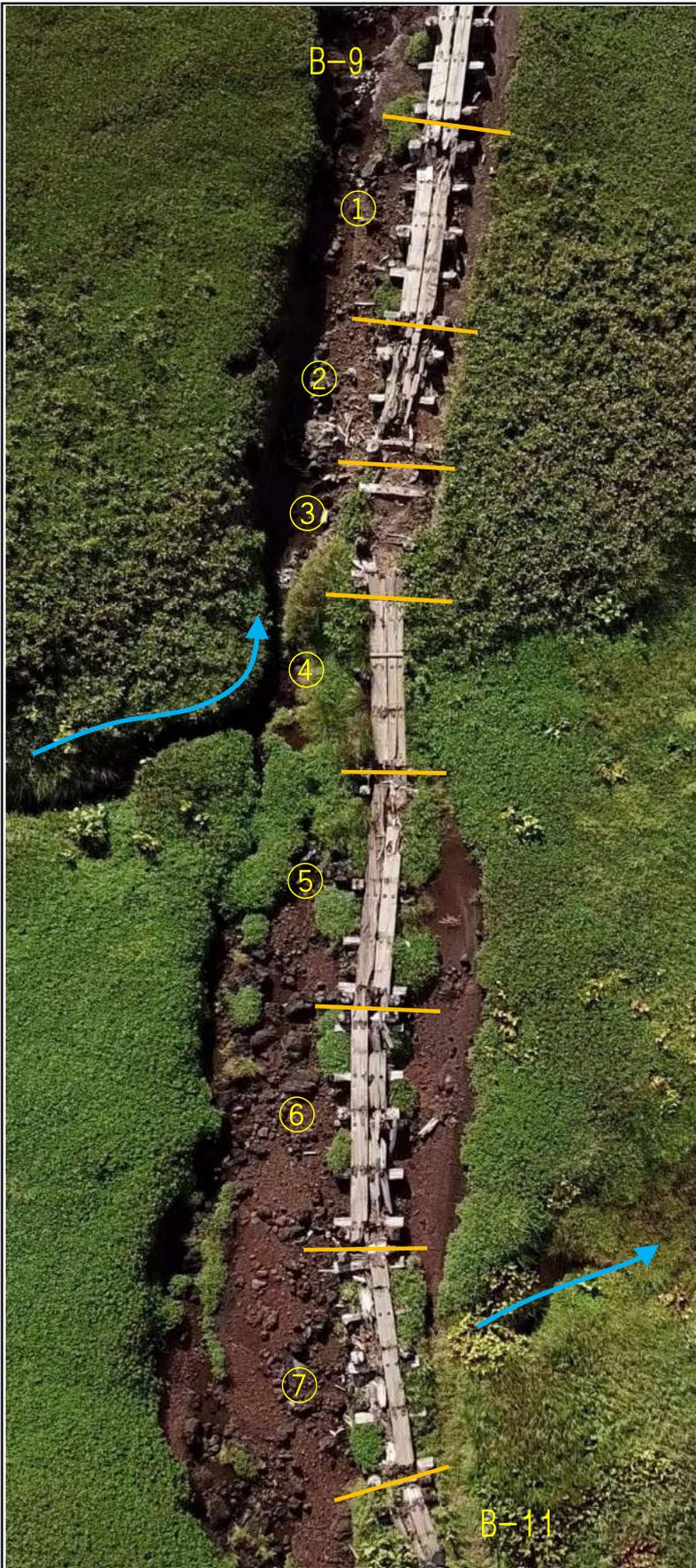
・侵食の程度をランク分けし、動画を見つつ、あてはまるランクに振り分ける。

・問題なし～危険な状態まで5ランク。

・木道3.6m、1.8m含めて169基の調査。



・動画の情報量は極めて多く、現場歩行時に気付かないことでも動画で気が付く事柄もある。しかし、勾配などの情報や危険度、安全性などの感覚的な事柄は実際に現場を経験しなければ理解できない。それらを踏まえて、ツールの一つとして大いに活用すべきと考える。



木道荒廃程度			
①	B	⑤	C
②	D	⑥	C
③	D	⑦	C
④	C		

木道脇の土壌侵食程度			
流水による路床の侵食	大	小	無
凍結融解による法面の侵食	大	小	無
複線化部の侵食	大	小	無
踏圧による侵食	大	小	無
その他			

植生状況		
ササ	○	
チングルマ、ツガザクラ等の 矮性低木	○	
スゲ、イグサ等	○	
シモツケソウ等の落葉低木		
バイケイソウ、シダ類	○	
ナナカマドや ハンノキ		
ハイマツ		
その他		

木道以外の施工物

備考
④地点は小沢が流れ込んでいる。 ⑦地点はもともとの沢筋だった可能性がある。

撮影日	2018. 8. 23	地点	B-10
-----	-------------	----	------

平成 30 年度 活動報告

旭岳ビジターセンター・東川エコツアーリズム推進協議会

高橋可翔

《エコツアーリズム推進協議会での活動》

■ 東川町大雪山愛護少年団

- 東川町大雪山国立公園保護協会からの委託で、東川中学校の団員たちと一緒に旭岳・天人峡地区の清掃や登山道整備活動をおこない、町内の若い世代にも大雪山国立公園の利用と保全に積極的に関わってもらっています。
- 8月に予定していた裾合平での登山道整備活動は、台風の影響により残念ながら実施できず、大雪山山守隊の岡崎さんを講師にお招きし屋内での座学講習となりました。
- その他、当協議会では大雪山山守隊の登山道整備イベントにも参加させていただきました。

《旭岳ビジターセンターでの活動》

■ 残雪期の天女が原湿原・裾合平登山道マーキング

6月上～下旬、残雪期の道迷い遭難が多く発生している登山道に、ピンクテープ等でマーキングを行っています。

■ 天女ヶ原湿原登山道の刈り払い

笹藪が倒れて道が不明瞭となる残雪期と、葦やシダ植物などが生い茂り道に覆いかぶさる7～8月に刈り払いを行いました。

■ 旭岳温泉自然探勝路の整備

旭岳温泉街にある散策コース。バスの待ち時間や観光ついでに散策で訪れる利用者が多いコースのため、誰でも気軽に歩けるようこまめに整備をしています。

刈り払い・倒木処理・マーキングなど。(コース詳細は別紙参照)

- ① 倒木により昨年より通行止めとなっていたクマゲラコース(0.4km)の倒木を処理し、今年10月に開通となりました。
- ② 温泉街クロスカントリースキーコース(ワサビ沼湿原探勝路)の入り口がわかりにくかったため、刈り払いとマーキングを実施しました。
- ③ 9月の台風21号により同上コース上に3カ所の倒木。スキー合宿時期前に、旭岳自然保護監視員により処理済。

◀別紙資料▶ 旭岳温泉街自然探勝路マップ (赤いマークが今期整備を行った個所です)

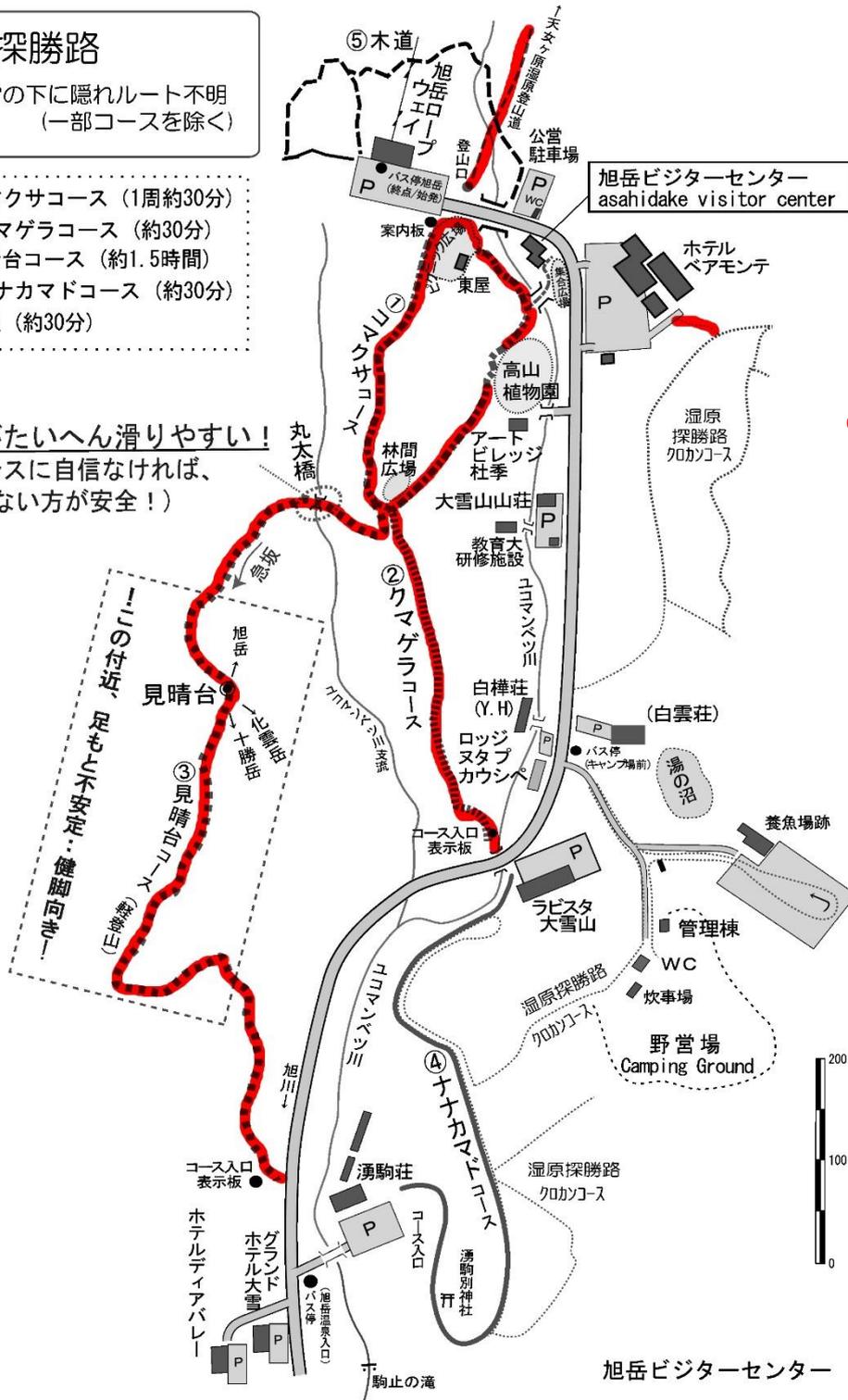
旭岳温泉 探勝路マップ I. 自然探勝路 / II. 湿原探勝路(ワカスキーコース)

I. 自然探勝路

*積雪期、雪の下に隠れルート不明
(一部コースを除く)

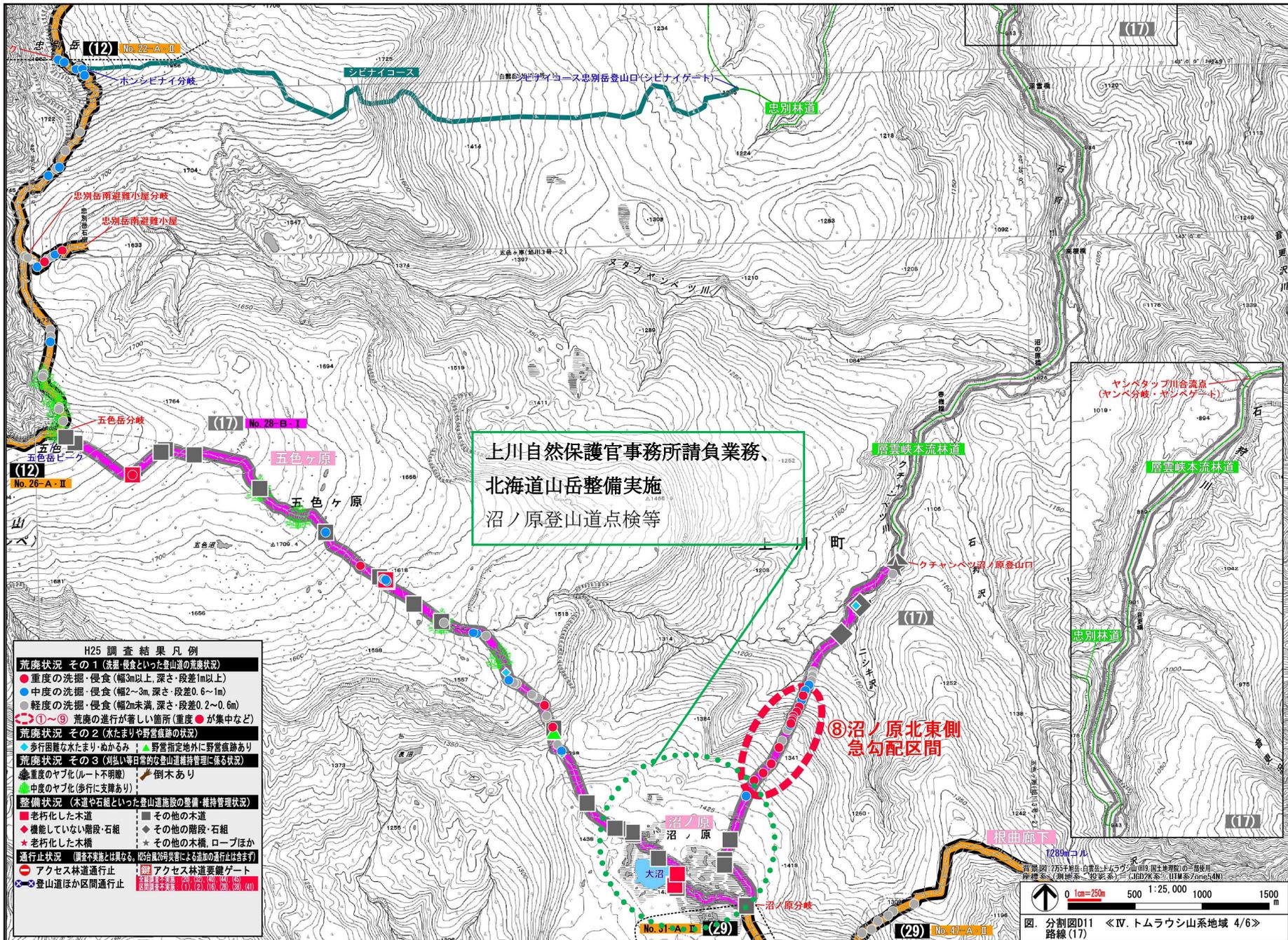
- ①コマクサコース (1周約30分)
- ②クマガゲラコース (約30分)
- ③見晴台コース (約1.5時間)
- ④ナナカマドコース (約30分)
- ⑤木道 (約30分)

丸太橋がたいへん滑りやすい!
(バランスに自信なければ、
通らない方が安全!)

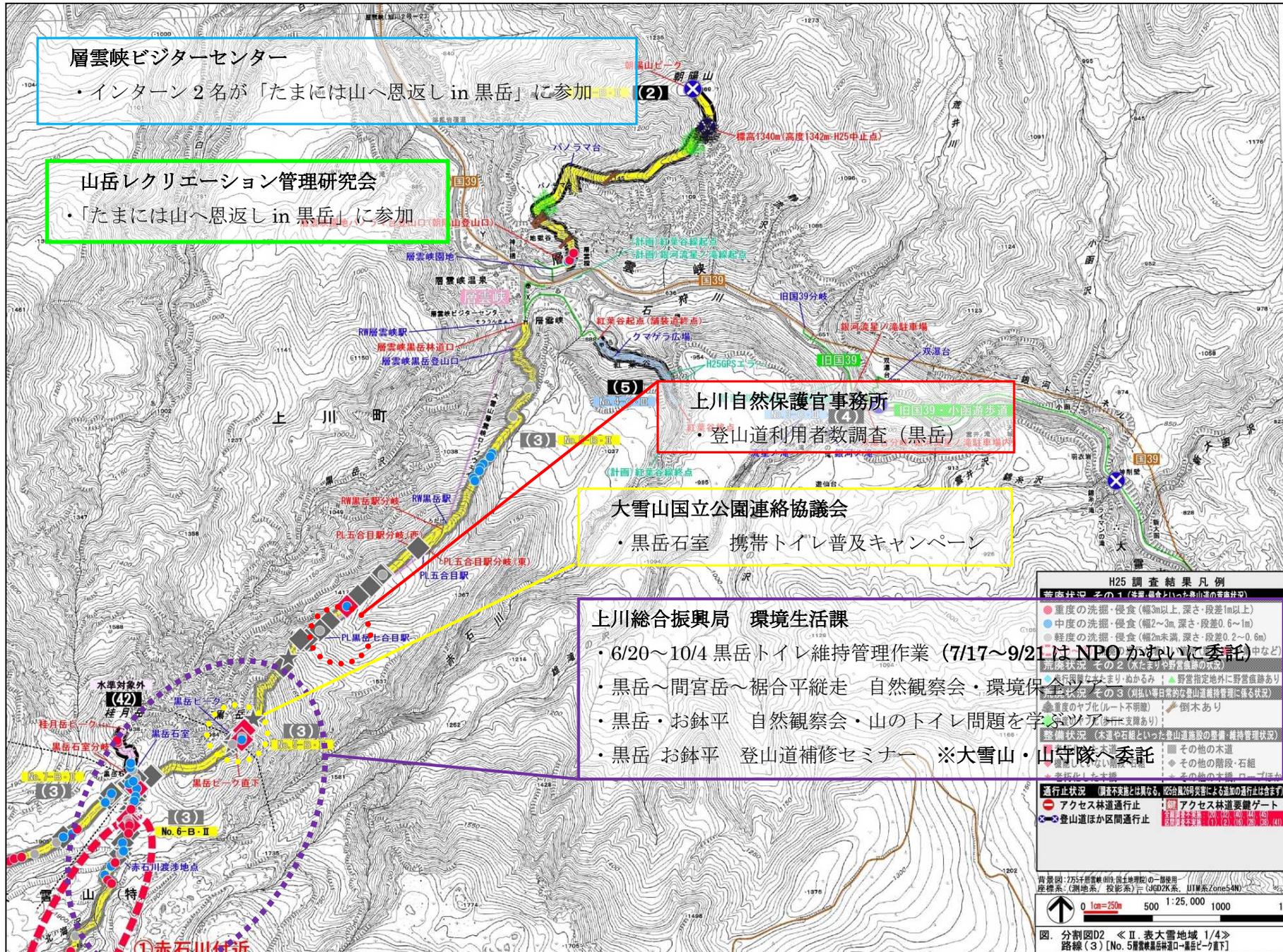


ワサビ沼湿原探勝路
(冬期クロスカントリー
スキーコース)

旭岳ビジターセンター



平成 30 年度 層雲峡地区周辺 作業箇所



平成 30 年度 白雲避難小屋・高原温泉地区周辺 作業箇所

大雪山国立公園パークボランティア連絡会

- ・赤岳、緑岳 高山蝶パトロール
- ・高原温泉マイカー規制ヒグマ対応支援
- ・銀泉台マイカー規制利用者指導
- ・赤岳、緑岳 外来種駆除活動、セイヨウマルハナバチモニタリング

上川総合振興局 環境生活課

- ・高原温泉 自然観察会・ヒグマ観察
- ・高原温泉地区利用者指導業務
(受託者：(有) 風の便り工房)

大雪山国立公園連絡協議会

- ・白雲岳避難小屋
携帯トイレ普及キャンペーン

山のトイレを考える会

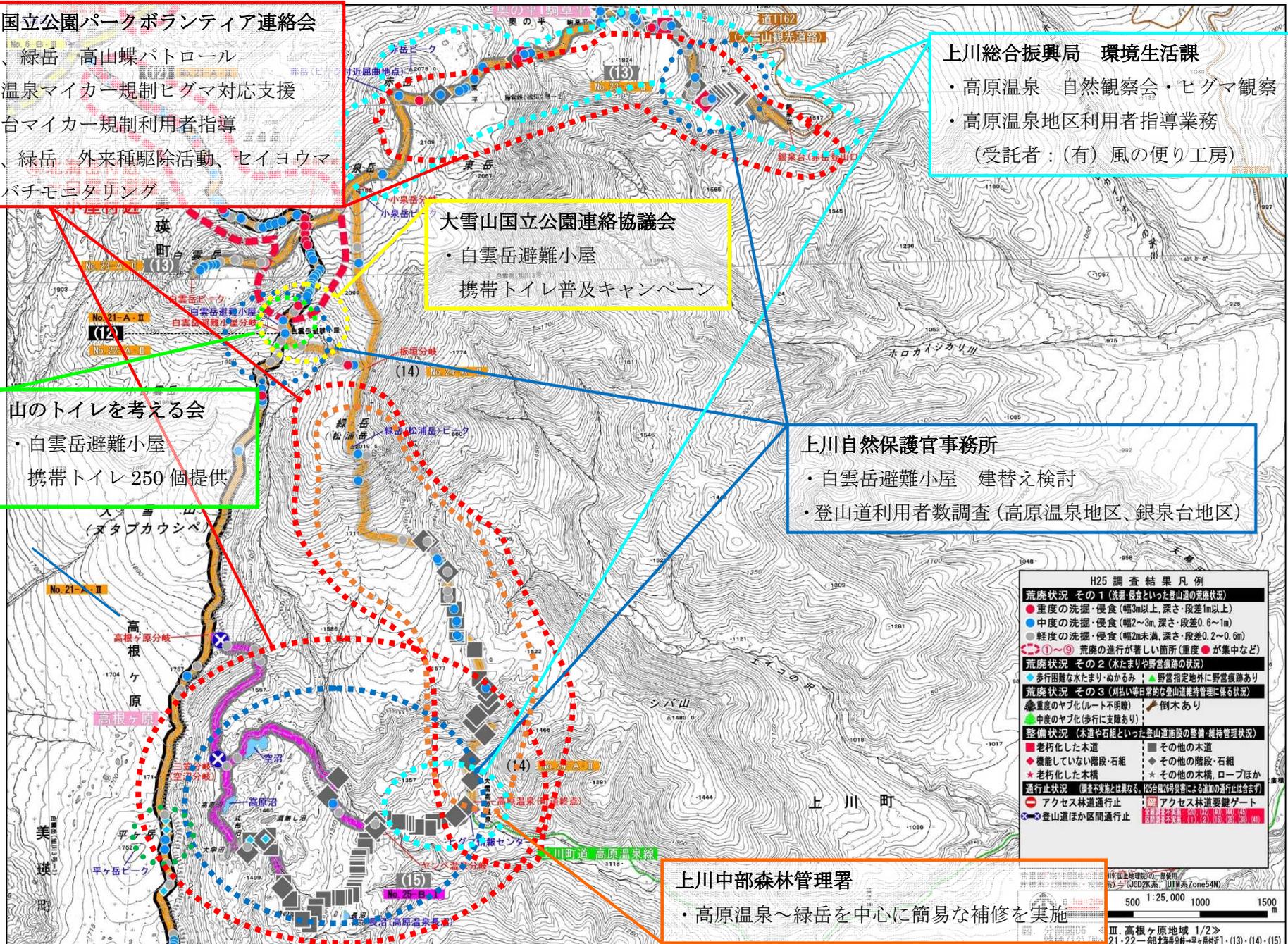
- ・白雲岳避難小屋
携帯トイレ 250 個提供

上川自然保護官事務所

- ・白雲岳避難小屋 建替え検討
- ・登山道利用者数調査(高原温泉地区、銀泉台地区)

上川中部森林管理署

- ・高原温泉～緑岳を中心に簡易な補修を実施

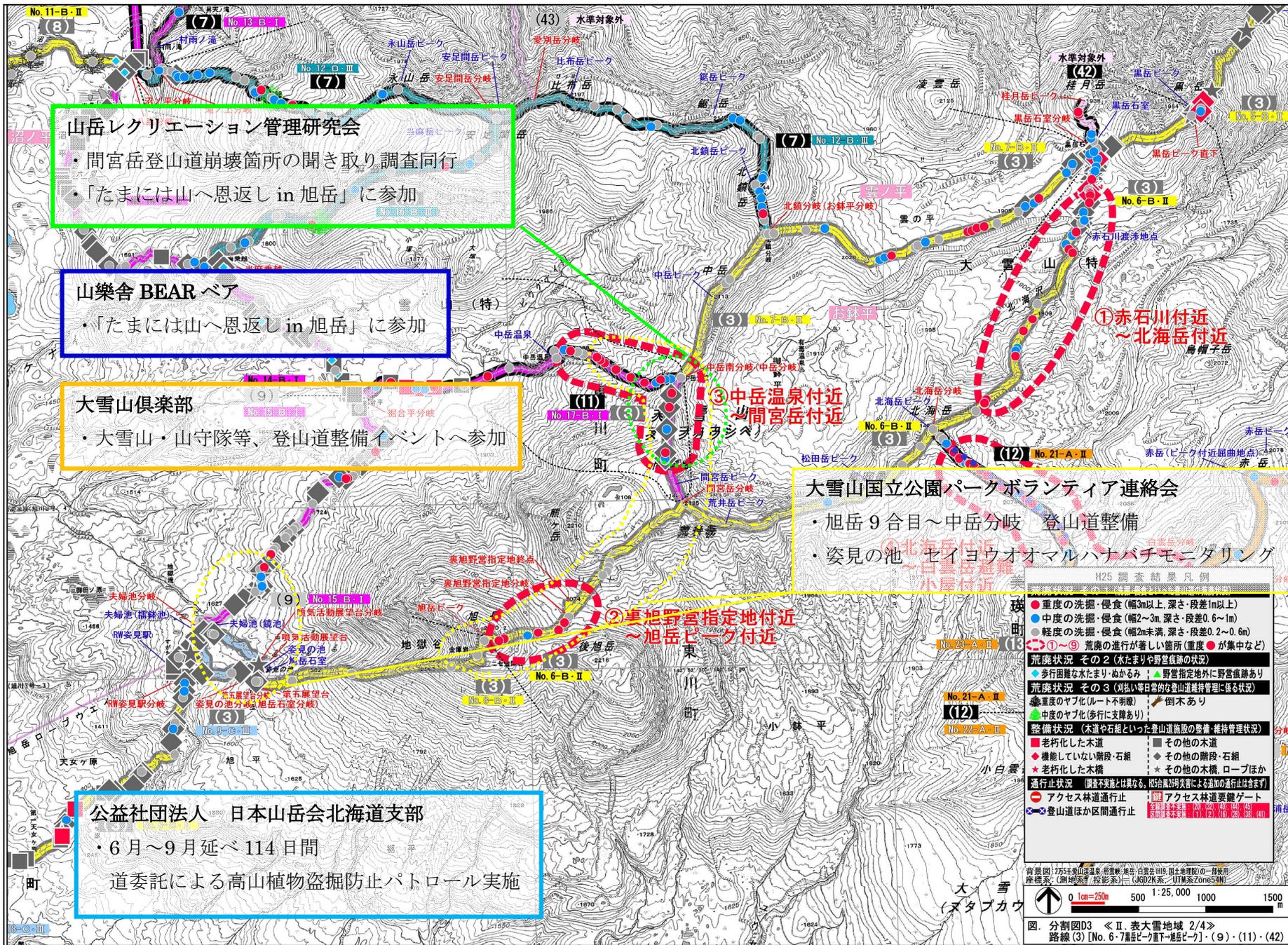


H25 調査結果凡例	
荒廃状況 その1 (洗濯・侵食といった登山道の荒廃状況)	
●	重度の洗濯・侵食(幅3m以上、深さ・段差1m以上)
○	中度の洗濯・侵食(幅2~3m、深さ・段差0.6~1m)
○	軽度の洗濯・侵食(幅2m未満、深さ・段差0.2~0.6m)
①~③	①~③ 荒廃の進行が著しい箇所(重度●が集中など)
荒廃状況 その2 (水たまりや野営痕跡の状況)	
●	歩行困難な水たまり・ぬかるみ
▲	野営指定地外に野営痕跡あり
荒廃状況 その3 (刈払い等日常的な登山道維持管理に係る状況)	
●	重度のヤブ化(ルート不明瞭)；倒木あり
○	中度のヤブ化(歩行に支障あり)；
整備状況 (木道や石組といった登山道施設の整備・維持管理状況)	
■	老朽化した木道
■	その他の木道
◆	機能していない階段・石組
◆	その他の階段・石組
★	老朽化した木橋
★	その他の木橋、ロープほか
通行止状況 (調査の実施とは異なる。H25台風災害等による追加の通行止は含まず)	
○	アクセス林道通行止
○	アクセス林道要領ゲート
○	登山道ほか区間通行止
○	登山道ほか区間通行止

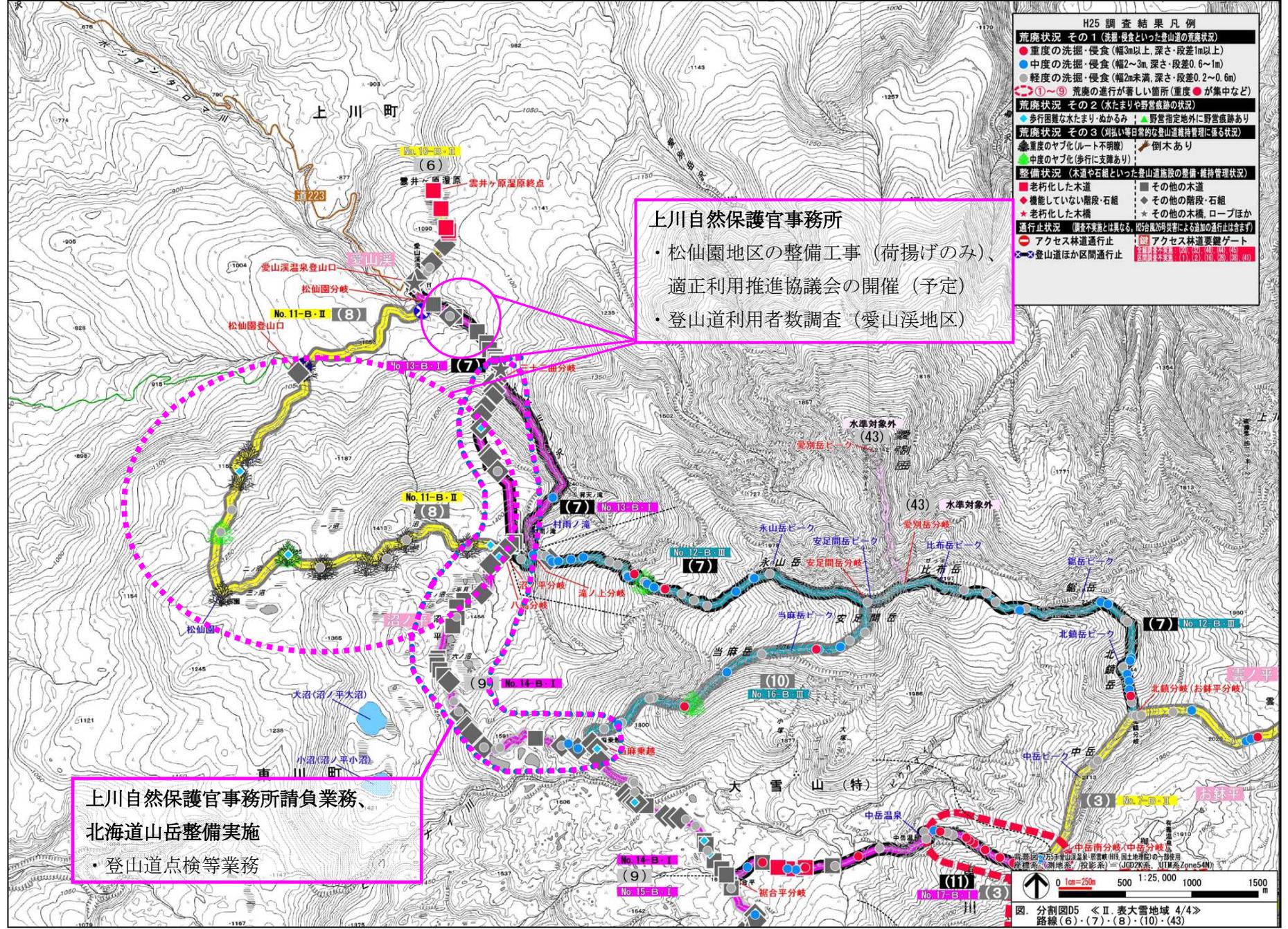
500 1:25,000 1000 1500 m

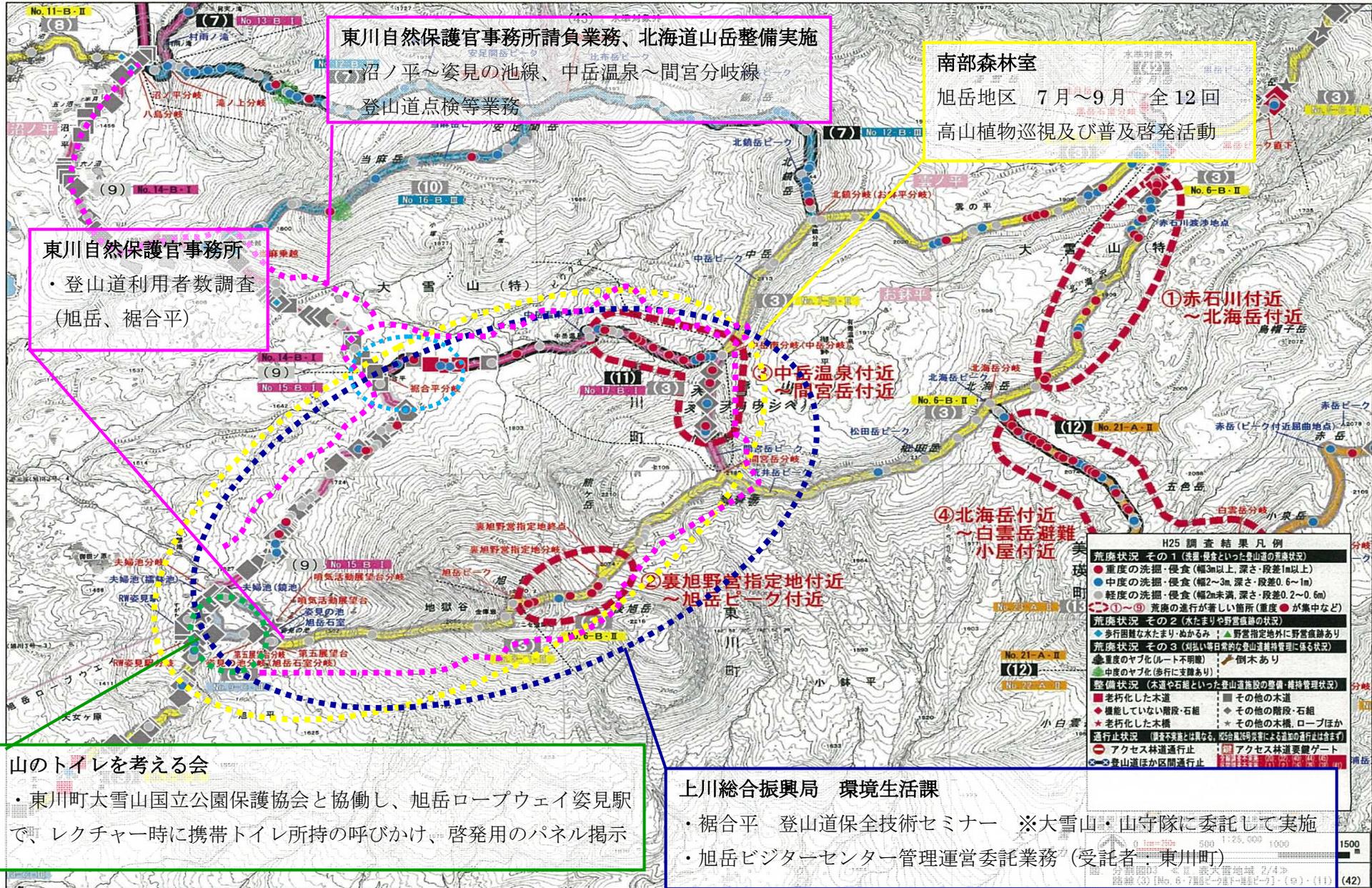
III 高根ヶ原地域 1/2>>
21・22一部北麓分岐～平ヶ岳分岐(13)・(14)・(15)

平成 30 年度 雲の平・北海平 地区周辺 作業箇所



平成 30 年度 愛山溪地区周辺 作業箇所





東川自然保護官事務所請負業務、北海道山岳整備実施
沼ノ平～姿見の池線、中岳温泉～間宮分岐線
登山道点検等業務

南部森林室
旭岳地区 7月～9月 全12回
高山植物巡視及び普及啓発活動

東川自然保護官事務所
・登山道利用者数調査
(旭岳、裾合平)

①赤石川付近
～北海岳付近
鳥帽子岳

③中岳温泉付近
～間宮岳付近

④北海岳付近
～白雲岳付近
小屋付近

②裏旭野宮指定地付近
～旭岳ピーク付近

H25 調査結果凡例

● 重度の洗濯・侵食 (幅3m以上、深さ・段差1m以上)	■ その他の木道
● 中度の洗濯・侵食 (幅2～3m、深さ・段差0.6～1m)	◆ その他の階段・石組
● 軽度の洗濯・侵食 (幅2m未満、深さ・段差0.2～0.6m)	★ その他の木橋、ロープほか
○①～④ 荒廃の進行が著しい箇所 (重度●が集中など)	☆ 倒木あり
○ 荒廃状況 その2 (水たまりや野営痕跡の状況)	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
● 歩行困難な水たまり・ぬかるみ	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
● 荒廃状況 その3 (強い等日常般的登山道維持管理に係る状況)	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
● 重度のヤブ化 (ルート不明瞭)	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
● 中度のヤブ化 (歩行に支障あり)	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
■ 整備状況 (木道や石組といった登山道施設の整備・維持管理状況)	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
■ 老朽化した木道	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
■ 機能していない階段・石組	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
■ 老朽化した木橋	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
○ 通行止状況 (標識不備とは異なる、緊急時等異常による追加の通行止は含まず)	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
○ アクセス林道通行止	▲ 野営指定外に野営痕跡あり
○ 登山道ほか区間通行止	▲ 野営指定外に野営痕跡あり

山のトイレを考える会
・東川町大雪山国立公園保護協会と協働し、旭岳ロープウェイ姿見駅
で、レクチャー時に携帯トイレ所持の呼びかけ、啓発用のパネル掲示

上川総合振興局 環境生活課
・裾合平 登山道保全技術セミナー ※大雪山・山守隊に委託して実施
・旭岳ビジターセンター管理運営委託業務 (受託者：東川町)



東川自然保護官事務所

- ・登山道利用者数調査（十勝岳、美瑛岳、美瑛富士）

旭川山岳会

- ・美瑛富士携帯トイレブース周辺清掃活動

東川自然保護官事務所

- ・美瑛富士携帯トイレブース回収業務請負
- ※北海道山岳整備
- ・美瑛富士携帯トイレブース利用状況調査

上川総合振興局環境生活課

- ・8月 美瑛富士 自然観察会
- 山のトイレを学ぶツアー開催

大雪山国立公園パークボランティア連絡会

- ・美瑛富士携帯トイレブース点検・清掃作業

公益社団法人日本山岳会北海道支部

- ・8月美瑛富士携帯トイレブース点検・清掃活動

山のトイレを考える会

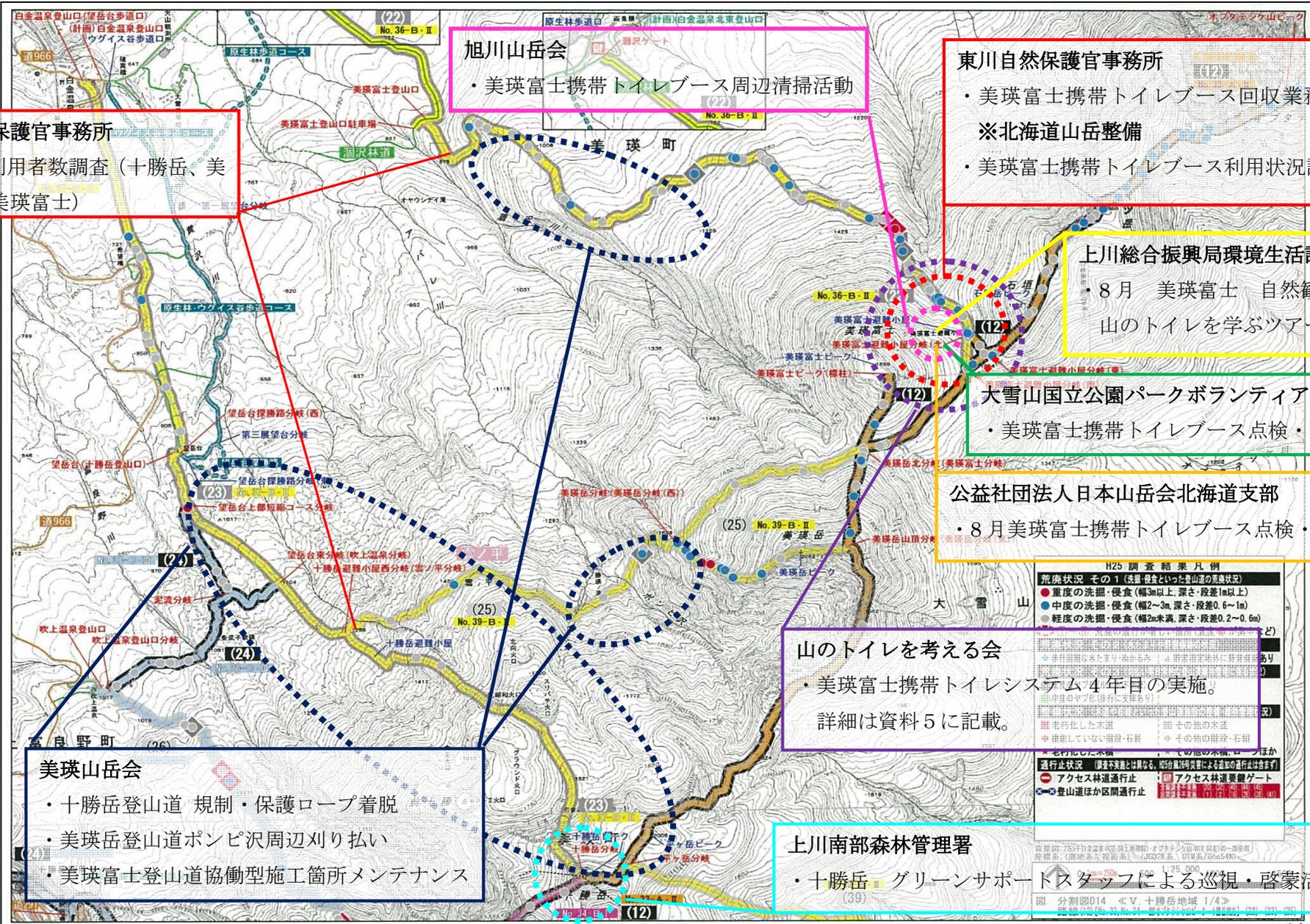
- ・美瑛富士携帯トイレシステム4年目の実施。
- 詳細は資料5に記載。

美瑛山岳会

- ・十勝岳登山道 規制・保護ロープ着脱
- ・美瑛岳登山道ポンピ沢周辺刈り払い
- ・美瑛富士登山道協働型施工箇所メンテナンス

上川南部森林管理署

- ・十勝岳 グリーンサポートスタッフによる巡視・啓蒙活動



H25 調査結果凡例

荒廃状況 その1 (汚濁・侵食といった登山道の環境状況)

- 重度の洗掘・侵食 (幅3m以上、深さ・段差1m以上)
- 中度の洗掘・侵食 (幅2~3m、深さ・段差0.6~1m)
- 軽度の洗掘・侵食 (幅2m未満、深さ・段差0.2~0.6m)

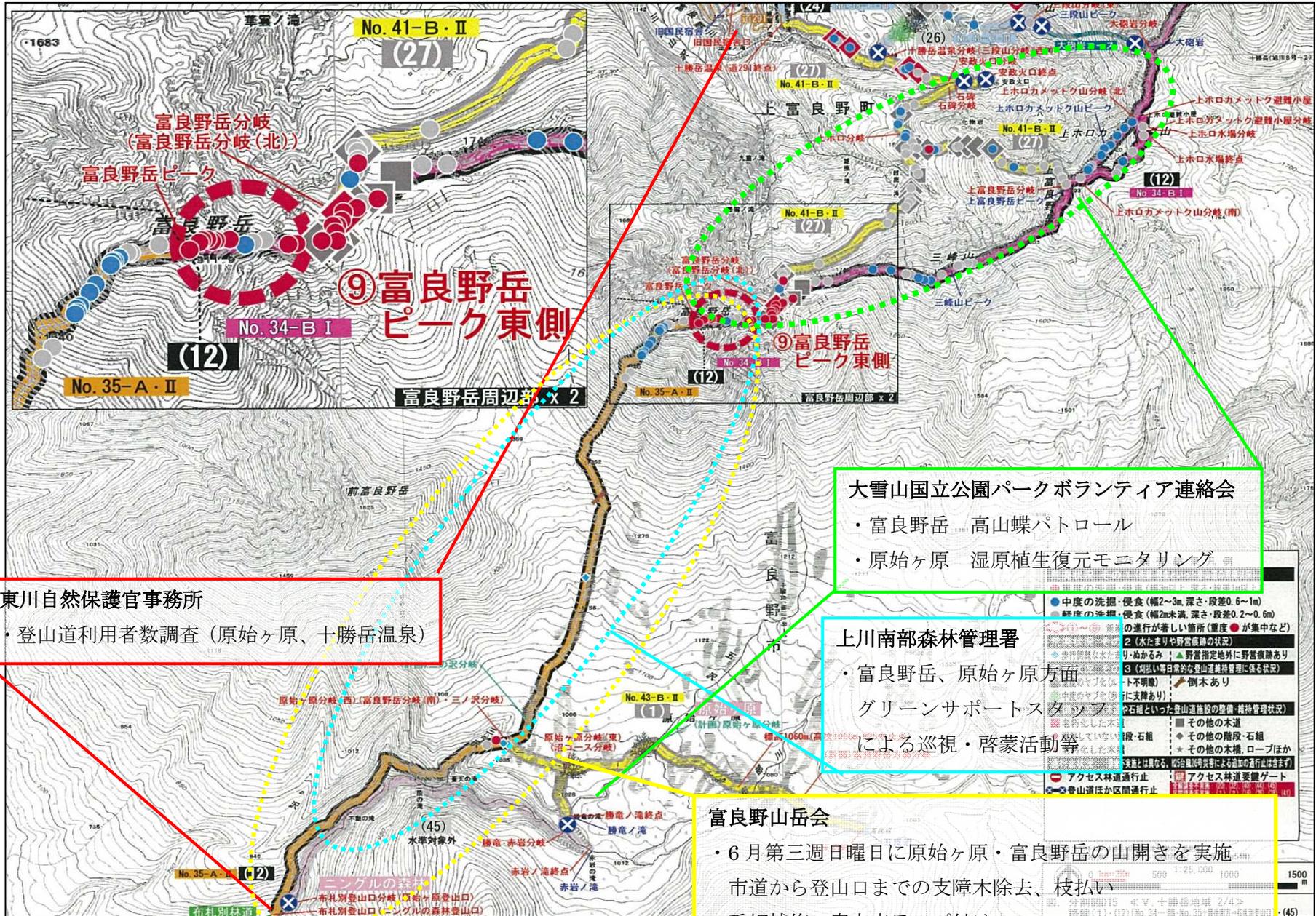
その他

- 中継していない箇所・石積
- 中継している箇所・石積
- 中継していない箇所・石積
- 中継している箇所・石積

通行止状況 (調査対象とは異なる。登山道管理による通行止は含まず)

- アクセス林道通行止
- アクセス林道要路ゲート
- 登山道ほか区間通行止

図 分割図D14 <V> 十勝岳地域 1/4



東川自然保護官事務所
 ・登山道利用者数調査 (原始ヶ原、十勝岳温泉)

大雪山国立公園パークボランティア連絡会
 ・富良野岳 高山蝶パトロール
 ・原始ヶ原 湿原植生復元モニタリング

上川南部森林管理署
 ・富良野岳、原始ヶ原方面
 グリーンサポートス
 による巡視・啓蒙活動等

富良野山岳会
 ・6月第三週日曜日に原始ヶ原・富良野岳の山開きを実施
 市道から登山口までの支障木除去、枝払い
 ・看板補修、案内赤テープ付け

● 中度の洗掘・侵食 (幅2~3m、深さ・段差0.6~1m)	● 軽度の洗掘・侵食 (幅2m未満、深さ・段差0.2~0.6m)
① 通行が著しい箇所 (重量 ● が集中など)	② (水たまりや野営痕跡の状況)
③ (例) 日ごとの日常的な登山道維持管理に係る状況	④ (例) 倒木あり
⑤ (例) 倒木あり	⑥ (例) 倒木あり
⑦ (例) 倒木あり	⑧ (例) 倒木あり
⑨ (例) 倒木あり	⑩ (例) 倒木あり
⑪ (例) 倒木あり	⑫ (例) 倒木あり
⑬ (例) 倒木あり	⑭ (例) 倒木あり
⑮ (例) 倒木あり	⑯ (例) 倒木あり
⑰ (例) 倒木あり	⑱ (例) 倒木あり
⑲ (例) 倒木あり	⑳ (例) 倒木あり
㉑ (例) 倒木あり	㉒ (例) 倒木あり
㉓ (例) 倒木あり	㉔ (例) 倒木あり
㉕ (例) 倒木あり	㉖ (例) 倒木あり
㉗ (例) 倒木あり	㉘ (例) 倒木あり
㉙ (例) 倒木あり	㉚ (例) 倒木あり
㉛ (例) 倒木あり	㉜ (例) 倒木あり
㉝ (例) 倒木あり	㉞ (例) 倒木あり
㉟ (例) 倒木あり	㊱ (例) 倒木あり
㊲ (例) 倒木あり	㊳ (例) 倒木あり
㊴ (例) 倒木あり	㊵ (例) 倒木あり
㊶ (例) 倒木あり	㊷ (例) 倒木あり
㊸ (例) 倒木あり	㊹ (例) 倒木あり
㊺ (例) 倒木あり	㊻ (例) 倒木あり
㊼ (例) 倒木あり	㊽ (例) 倒木あり
㊾ (例) 倒木あり	㊿ (例) 倒木あり